H4-CA-200-R00



浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち プレート間地震の津波評価について (コメント回答)データ集

2021年2月10日

目次

1 その他の検討波源モデルの詳細

1-1	検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定	3
1-2	検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定	35
1-3	検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定	67
1-4	検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定	92

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 1	123
----------------------------------------------	-----

- 2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 140
- 2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 154
- 2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 166

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	126,822	6.4×10 ²²	9.1	3.4	38.0	12.2
(工木子会(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を東へ60kmと したケース	浅部断層	17,098	1.9×10 ²²	-	-	38.0	27.0



↓ 津波断層域の↓ 全面積の約40%

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

													ተታ	长百万	収心	ポモン	F M	- (.		く 子 :	五(4	201	0)	ナル	lcg	STG.	フル	/)											
		西	\triangleleft								のフ	大す	べり	域の	位詞	置を	東^	60	kma	とした	こケ-	-70	の小	断層	層の	すべ	り量	分花	节(m)								\Rightarrow	東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.0	3.9	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.2	2.8	2.8	2.4	2.4	1.9	1.9	1.9	1.9	1.7	1.7	1.2	1.2
	2	4.7	4.7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.0	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.2	3.2	2.8	2.8	2.4	2.4	2.4	1.9	1.9	1.9	1.7	1.7	1.2
20km↓	3	4.7	4.7	4.5	4.5	17.7	17.7	16.1	16.1	15.6	15.2	15.2	14.8	14.3	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.0	12.1	12.9	12.9	11.4	11.4	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	6.8	6.8	<mark>5.0</mark>
	4	4.7	4.7	4.5	4.5	17.7	17.7	16.1	16.1	15.6	15.6	15.2	14.8	14.8	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.1	12.1	14.6	12.9	12.9	11.4	9.7	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	6.8	<mark>5.0</mark>
	5	4.7	4.7	4.5	4.5	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	32.5	32.5	14.8	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1	12.1	25.9	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	16.4	16.4	14.7	14.7
10km↓	6	4.7	4.7	4.5	4.5	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	32.5	14.8	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	12.5	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	16.4	14.7	14.7
	7	0.0	0.0	0.0	0.0	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	34.4	33.3	33.3	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.9	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	16.4	14.7	14.7
0km↓	8	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	38.0	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<mark>12.5</mark>	25.9	25.9	31.3	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	20.7	16.4	14.7	14.7

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースの断層パラメータ								
	設定値							
	面積 [※] (km²)	126,822						
	地震モーメント (Nm)	6.4×10 ²²						
	Mw	9.1						
	平均応力降下量 (MPa)	3.4						
全体	平均すべり量 (m)	12.2						
	最大すべり量 (m)	38.0						
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰						
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0						
	ライズタイム (s)	150						
	面積 [※] (km ²)	109,725						
十立宗王	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²						
工品创度	平均すべり量 (m)	9.9						
	最大すべり量 (m)	38.0						
	面積 [※] (km²)	17,098						
注 立[[新]]	地震モーメント (Nm)	1.9×10 ²²						
1四小四八百	平均すべり量 (m)	27.0						
	最大すべり量 (m)	38.0						

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層
 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

その他の検討波源モデルの詳細 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 1-1 (大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	127,400	6.4×10 ²²	9.1	3.4	38.0	12.3
(エ木子会(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を東へ50kmと したケース	浅部断層	17,675	2.0×10 ²²	-	-	38.0	27.0





検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケース



この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モテルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースの断層パラメータ											
項 目 設定値											
	面積 [※] (km²)	127,400									
	地震モーメント (Nm)	6.4×10 ²²									
	Mw	9.1									
	平均応力降下量 (MPa)	3.4									
全体	平均すべり量 (m)	12.3									
	最大すべり量 (m)	38.0									
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰									
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0									
	ライズタイム (s)	150									
	面積** (km²)	109,725									
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²									
土即如旧	平均すべり量 (m)	9.9									
	最大すべり量 (m)	38.0									
	面積* (km²)	17,675									
(半式)系 困	地震モーメント (Nm)	2.0×10 ²²									
间(四小瓦)	平均すべり量 (m)	27.0									
	最大すべり量 (m)	38.0									



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	128,027	6.5×10 ²²	9.1	3.5	38.0	12.4
(エ木子会(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を東へ40kmと したケース	浅部断層	18,303	2.0×10 ²²	-	-	38.0	26.9



↓ 津波断層域の ↓ 全面積の約40%

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

													15	七百万	11乂1//.	ドて、	, ,,,,,	<u> </u>	エハ	\ <u>+</u> :	五(4	201	.0)-	ᆔᄱ	ICA	S C	.ノル	/)											
		西	\triangleleft								のフ	大す	べり	域の	位置	置を	東^	40	kma	とした	-ケ-	-ス(の小	断層	層の	すべ	り量	分花	戶 (m)								\Rightarrow	東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	4.2	4.2	4.0	4.0	3.9	3.9	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.9	2.5	2.5	2.1	2.1	1.7	1.7	1.7	1.7	1.5	1.5	1.1	1.1
	2	4.2	4.2	4.0	4.0	3.9	3.9	3.6	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.5	2.5	2.1	2.1	2.1	1.7	1.7	1.7	1.5	1.5	1.1
20km↓	3	4.2	4.2	4.0	4.0	17.7	17.7	16.1	16.1	15.6	15.2	15.2	14.8	14.3	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	12.1	12.1	12.9	12.9	11.4	11.4	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	6.8	6.8	<mark>5.</mark> 0
	4	4.2	4.2	4.0	4.0	17.7	17.7	16.1	16.1	15.6	15.6	15.2	14.8	14.8	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	12.5	12.1	14.6	12.9	12.9	11.4	9.7	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	6.8	<mark>5.0</mark>
	5	4.2	4.2	4.0	4.0	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	32.5	32.5	14.8	3.3	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	12.5	25.9	25.9	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	16.4	16.4	14.7	<mark>6.8</mark>
10km↓	6	4.2	4.2	4.0	4.0	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	32.5	14.8	3.3	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	12.5	26.9	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	16.4	14.7	<mark>6.8</mark>
	7	0.0	0.0	0.0	0.0	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	34.4	33.3	33.3	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	26.9	25.9	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	16.4	14.7	<mark>6.8</mark>
0km↓	8	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	38.0	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	26.9	25.9	25.9	31.3	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	20.7	16.4	14.7	<mark>6.8</mark>

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの断層パラメータ								
	設定値							
	面積 [※] (km²)	128,027						
	地震モーメント (Nm)	6.5×10 ²²						
	Mw	9.1						
	平均応力降下量 (MPa)	3.5						
全体	平均すべり量 (m)	12.4						
	最大すべり量 (m)	38.0						
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰						
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0						
	ライズタイム (s)	150						
	面積* (km²)	109,725						
十立宗王	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²						
王即四周	平均すべり量 (m)	9.9						
	最大すべり量 (m)	38.0						
	面積* (km²)	18,303						
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.0×10 ²²						
四川四次	平均すべり量 (m)	26.9						
	最大すべり量 (m)	38.0						

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
Ŕ	検討波源モデルC	全体	128,598	6.6×10 ²²	9.1	3.5	38.0	12.4
Ŧ	(工木子会(2016)手法による デル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
7 L	<すべり域の位置を東へ30kmと たケ−ス	浅部断層	18,873	2.1×10 ²²	-	-	38.0	26.9



↓ 津波断層域の∫ 全面積の約40%

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース



1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの断層パラメータ								
	設定値							
	面積 [※] (km²)	128,598						
	地震モーメント (Nm)	6.6×10 ²²						
	Mw	9.1						
	平均応力降下量 (MPa)	3.5						
全体	平均すべり量 (m)	12.4						
	最大すべり量 (m)	38.0						
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰						
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0						
	ライズタイム (s)	150						
	面積 [※] (km²)	109,725						
十立宗国	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²						
土即如旧	平均すべり量 (m)	9.9						
	最大すべり量 (m)	38.0						
	面積** (km²)	18,873						
洋鸟系属	地震モーメント (Nm)	2.1×10 ²²						
间"四"百天"	平均すべり量 (m)	26.9						
	最大すべり量 (m)	38.0						

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	129,091	6.6×10 ²²	9.1	3.5	38.0	12.5
(エ木子会(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を東へ20kmと したケース	浅部断層	19,366	2.1×10 ²²	-	-	38.0	27.0



検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

西 个													、 L ノ	10	- \-		`丁.	<u>ل</u> الا	-01	$\mathbf{U}_{\mathbf{J}}$		ILCO.	v a c	- ノ ハ	//											
西 ⇔ の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの小断層のすべり量分布 (m)															\Rightarrow	東																				
深度40km↓ 1 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓ 1 3.7 3.	3.7 3.	.6 3.6	5 3.5	3.5	3.2	3.1	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.6	2.3	2.3	1.9	1.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.0	1.0
2 3.7 3.1	3.7 3.	.6 3.6	3.5	3.5	3.2	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.6	2.6	2.3	2.3	1.9	1.9	1.9	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.0
20km↓ 3 3.7 3.1	3.7 3.	.6 3.6	5 <mark>-17.7</mark>	17.7	16.1	16.1	15.6	15.2	15.2	14.8	<mark>14.3</mark>	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	12.5	12.1	12.1	12.9	12.9	11.4	11.4	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	6.8	<mark>6.8</mark>	1.0
4 3.7 3.	8.7 3.	.6 3.6	<mark>17.7</mark>	17.7	16.1	16.1	15.6	15.6	15.2	14.8	<mark>14.8</mark>	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	12.5	12.5	12.1	14.6	12.9	12.9	11.4	9.7	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	<mark>6.8</mark>	1.0
5 3.7 3.	8.7 3.	.6 3.6	5 <mark>17.7</mark>	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	32.5	32.5	<mark>14.8</mark>	2.9	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.5	12.5	26.9	25.9	25.9	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	16.4	16.4	<mark>6.8</mark>	1.4
10km↓ 6 3.7 3.	3.7 3.	.6 3.6	<mark>17.7</mark>	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	32.5	14.8 <mark></mark>	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6	2.6	2.5	12.7	26.9	26.9	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	16.4	<mark>6.8</mark>	1.4
7 0.0 0.	0.0 0.	.0 0.0) <mark>17.7</mark>	38.0	38.0	34.4	34.4	34.4	33.3	33.3	<mark>15.2</mark>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	26.9	26.9	25.9	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	16.4	<mark>6.8</mark>	0.0
0km↓ 8 0.0 0.	0.0 0.	.0 0.0	2 <mark>18.2</mark>	38.0	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	<mark>15.2</mark>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	27.2	26.9	25.9	25.9	31.3	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	20.7	16.4	<mark>6.8</mark>	0.0

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの断層パラメータ										
	設定値									
	面積 [※] (km²)	129,091								
	地震モーメント (Nm)	6.6×10 ²²								
	Mw	9.1								
	平均応力降下量 (MPa)	3.5								
全体	平均すべり量 (m)	12.5								
	最大すべり量 (m)	38.0								
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰								
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0								
	ライズタイム (s)	150								
	面積** (km²)	109,725								
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²								
土即如旧	平均すべり量 (m)	9.9								
	最大すべり量 (m)	38.0								
	面積* (km²)	19,366								
(半立(1年))日	地震モーメント (Nm)	2.1×10 ²²								
间"四"百天"	平均すべり量 (m)	27.0								
	最大すべり量 (m)	38.0								

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	129,534	6.7×10 ²²	9.1	3.5	38.0	12.6
(エネ子会(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を東へ10km したケース	送部断層	19,810	2.2×10 ²²	-	-	38.0	27.1



↓ 津波断層域の∫ 全面積の約40%

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース



1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モテルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの断層パラメータ										
	設定値									
	面積 [※] (km²)	129,534								
	地震モーメント (Nm)	6.7×10 ²²								
	Mw	9.1								
	平均応力降下量 (MPa)	3.5								
全体	平均すべり量 (m)	12.6								
	最大すべり量 (m)	38.0								
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰								
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0								
	ライズタイム (s)	150								
	面積* (km²)	109,725								
十立宗国	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²								
土即如旧	平均すべり量 (m)	9.9								
	最大すべり量 (m)	38.0								
	面積 [※] (km²)	19,810								
注实账屑	地震モーメント (Nm)	2.2×10 ²²								
1四4日天(平均すべり量 (m)	27.1								
	最大すべり量 (m)	38.0								



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を基準位置としたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量

断	層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル		全体	129,927	6.7×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.6
(土木子会(2016 モデル))于法による	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を したケース	基準位置と	浅部断層	20,202	2.2×10 ²²	-	-	38.0	27.2



検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケース

			西	\Diamond								ወ;	大す	べり	域0)位t	置を	基準	唐 位	置と	した	:ケー	ースの)/ĺ\	断層	目のす	すべり)量;	分布	ī (r	n)							ſ	⇒ į	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	2.9	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.0	2.0	1.7	1.7	1.4	1.4	1.4	1.4	1.2	1.2	0.9	0.9
甌		2	3.4	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.0	2.0	1.7	1.7	1.7	1.4	1.4	1.4	1.2	1.2	0.9
<u>E</u>	20km↓	3	3.4	3.4	3.3	3.3	17.7	17.7	16.1	16.1	15.6	15.2	15.2	14.8	<mark>14.3</mark>	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	12.7	12.5	12.1	12.1	12.9	12.9	11.4	11.4	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	<mark>6.8</mark>	1.2	0.9
		4	3.4	3.4	3.3	3.3	17.7	17.7	16.1	16.1	15.6	15.6	15.2	14.8	14.8	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	12.7	12.5	12.5	12.1	14.6	12.9	12.9	11.4	<mark>9.7</mark>	9.7	9.7	9.7	7.7	7.7	1.2	0.9
龃		5	3.4	3.4	3.3	3.3	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	32.5	32.5	<mark>14.8</mark>	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	12.7	26.9	26.9	25.9	25.9	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	16.4	7.7	1.2	1.2
灩	10km↓	6	3.4	3.4	3.3	3.3	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	32.5	14.8	2.7	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	12.7	27.2	26.9	26.9	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	20.7	7.7	1.2	1.2
魚		7	0.0	0.0	0.0	0.0	17.7	38.0	38.0	34.4	34.4	34.4	33.3	33.3	<mark>15.2</mark>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	27.2	26.9	26.9	25.9	25.9	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	24.4	20.7	7.7	0.0	0.0
П	0km↓	8	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	38.0	38.0	38.0	34.4	34.4	33.3	33.3	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1	27.2	27.2	26.9	25.9	25.9	31.3	31.3	31.3	27.7	27.7	24.4	20.7	7.7	0.0	0.0
∇	・すべり号分	布の	来已	+ -=	口、古公	百工二	<u>"</u> Ш.У	のタ		南にも	ர். சு	加したい	に市仏		5/-17	il the	30万	1=7	心宁	R 売/目		海港	市山 /日川	1-12	ŦħĠ	Q∕∓∃	-⊼≣л	÷												

検討波源モデルC(十木学会(2016)手法によるモデル)

・9へり重分布の番号は上記波源モテル図の各小断層に対し西側から果側に順に1列から38列まで設定。 陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10km の位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、

この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデルC
(土木学会(2016)手法によるモデル)
の大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	129,927
	地震モーメント (Nm)	6.7×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.5
全体	平均すべり量 (m)	12.6
	最大すべり量 (m)	38.0
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²
工中四11月	平均すべり量 (m)	9.9
	最大すべり量 (m)	38.0
	面積** (km²)	20,202
注动账属	地震モーメント (Nm)	2.2×10 ²²
	平均すべり量 (m)	27.2
	最大すべり量 (m)	38.0



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波	源モデルC	全体	130,296	6.8×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.7
(エ本子 モデル)	- 云(2016) 手法による	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべりり したケース	或の位置を西へ10kmと く	浅部断層	20,571	2.3×10 ²²	-	-	38.0	27.3



l	」津波断層域の
	全面積の約40%

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース



1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの断層パラメータ									
	設定値								
	面積 [※] (km²)	130,296							
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²							
	Mw	9.2							
	平均応力降下量 (MPa)	3.5							
全体	平均すべり量 (m)	12.7							
	最大すべり量 (m)	38.0							
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰							
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0							
	ライズタイム (s)	150							
	面積** (km²)	109,725							
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²							
土即四川昌	平均すべり量 (m)	9.9							
	最大すべり量 (m)	38.0							
	面積** (km²)	20,571							
洋河形园	地震モーメント (Nm)	2.3×10 ²²							
高/1四小D之/	平均すべり量 (m)	27.3							
	最大すべり量 (m)	38.0							

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	130,639	6.8×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.7
(エ木子会(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を西へ20kmと したケース	浅部断層	20,915	2.3×10 ²²	-	-	38.0	27.3



検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの小断層のすべり量分布(m) 西 🗇 ⇒東 1 2 37 38 20 21 22 29 10 12 13 14 15 16 18 19 23 24 25 26 27 28 30 31 32 33 34 35 36 深度40km↓ 陸側口 2.2 1.2 0.8 0.8 3.1 3.1 3.0 3.0 2.6 2.5 2.4 2.3 2.3 2.3 2.2 2.2 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.0 2.0 2.0 2.1 1.6 1.6 1.2 1.2 2.9 2.4 1.8 1.8 30km↓ 24 26 25 25 24 23 2.3 2.2 2.2 2.1 20 20 21 2. 1.8 1.6 3.1 3.1 3.0 3.0 2.2 2.1 2.1 2.1 21 20 1.6 0.8 9.7 9.7 9.7 3.1 3.0 3.0 7 17.7 16.1 16.1 15.6 15.2 15.2 14.8 14. 2.3 2.3 2.3 2.2 2.2 2.1 2.1 2.1 12.7 12.7 12.5 12.1 12.1 12.9 12.9 11.4 11.4 77 3.1 1.1 0.8 20km↓ 2.1 12.7 3.1 3.0 3.0 2.3 2.3 2.2 2.2 3.1 15.6 14.8 14.8 2.3 2.2 2.1 11.4 9.7 9.7 9.7 7.7 4 17.7 17.7 16.1 16. 15. 15.2 12 14 6 12.9 12. 9.7 1.2 0.8 海溝軸 5 3.1 3.1 3.0 3.0 14. 2.4 2.3 2.3 2.3 2.2 2.2 2.2 2.1 13 1.2 2.1 13 3.1 3.0 2.3 2.3 2.3 2.3 2.2 9.7 3.1 3.0 14.8 2.4 2.2 10km↓ 6 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 9 0.0 15.2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 97 0.0 00 0 (Û 0kmJ ・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの断層パラメータ							
	項目	設定値					
	面積 [※] (km²)	130,639					
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²					
	Mw	9.2					
	平均応力降下量 (MPa)	3.5					
全体	平均すべり量 (m)	12.7					
	最大すべり量 (m)	38.0					
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰					
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0					
	ライズタイム (s)	150					
	面積 [※] (km²)	109,725					
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²					
土 司 凶) 冒	平均すべり量 (m)	9.9					
	最大すべり量 (m)	38.0					
	面積** (km²)	20,915					
洋河形园	地震モーメント (Nm)	2.3×10 ²²					
置(1位4日次)	平均すべり量 (m)	27.3					
	最大すべり量 (m)	38.0					



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

その他の検討波源モデルの詳細 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 1-1 (大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量

断層モデル	,	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	130,961	6.9×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.8
(エネ子会(2016)手法によっ モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を西へ30km したケース	送送了。	21,237	2.4×10 ²²	-	-	38.0	27.4



全面積の約40%

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース



Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの断層パラメータ						
	設定値					
	面積 [※] (km²)	130,961				
	地震モーメント (Nm)	6.9×10 ²²				
	Mw	9.2				
	平均応力降下量 (MPa)	3.5				
全体	平均すべり量 (m)	12.8				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰				
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0				
	ライズタイム (s)	150				
	面積** (km²)	109,725				
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²				
工中四11月	平均すべり量 (m)	9.9				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	面積** (km²)	21,237				
洋鸟系	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²				
高川四川方	平均すべり量 (m)	27.4				
	最大すべり量 (m)	38.0				

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	131,156	6.9×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.8
(土木子云(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を西へ40kmと、 したケース	浅部断層	21,432	2.4×10 ²²	-	-	38.0	27.6



検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース



1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの断層パラメータ						
	設定値					
	面積 [※] (km²)	131,156				
	地震モーメント (Nm)	6.9×10 ²²				
	Mw	9.2				
	平均応力降下量 (MPa)	3.5				
全体	平均すべり量 (m)	12.8				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰				
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0				
	ライズタイム (s)	150				
	面積* (km²)	109,725				
十立派王	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²				
工中回门目	平均すべり量 (m)	9.9				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	面積 [※] (km²)	21,432				
(半式)形 屛	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²				
高/1四小口文/	平均すべり量 (m)	27.6				
	最大すべり量 (m)	38.0				

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

その他の検討波源モデルの詳細 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 1-1 (大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検	討波源モデルC	全体	130,901	6.9×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.8
E	エ木子会(2016)手法による デル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大 した	すべり域の位置を西へ50kmと こケース	浅部断層	21,176	2.4×10 ²²	-	-	38.0	27.6





検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース



1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの断層パラメータ						
	設定値					
	面積 [※] (km²)	130,901				
	地震モーメント (Nm)	6.9×10 ²²				
	Mw	9.2				
	平均応力降下量 (MPa)	3.5				
全体	平均すべり量 (m)	12.8				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰				
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0				
	ライズタイム (s)	150				
	面積** (km²)	109,725				
十立宗王	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²				
工中四周	平均すべり量 (m)	9.9				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	面積** (km²)	21,176				
(半式)形 屛	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²				
高/1四小口文/	平均すべり量 (m)	27.6				
	最大すべり量 (m)	38.0				

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	130,620	6.8×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.8
(エネ子会(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を西へ60kmと したケース	浅部断層	20,896	2.4×10 ²²	-	-	38.0	27.6



検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース



1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの断層パラメータ						
	設定値					
	面積 [※] (km²)	130,620				
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²				
	Mw	9.2				
	平均応力降下量 (MPa)	3.5				
全体	平均すべり量 (m)	12.8				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰				
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0				
	ライズタイム (s)	150				
	面積** (km²)	109,725				
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²				
土即四川昌	平均すべり量 (m)	9.9				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	面積* (km²)	20,896				
治营業	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²				
冒(1四4m <i>天</i>)	平均すべり量 (m)	27.6				
	最大すべり量 (m)	38.0				

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量

断層モ	デル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	-1	全体	130,844	6.9×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.8
(エ木子会(2016)手法 モデル)	ゴレムタ	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を西へ7 したケース	'0kmと	浅部断層	21,120	2.4×10 ²²	-	-	38.0	27.6





・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。各列はw,eに2列に分割。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。
 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの断層パラメータ						
	設定値					
	面積 [※] (km²)	130,844				
	地震モーメント (Nm)	6.9×10 ²²				
	Mw	9.2				
	平均応力降下量 (MPa)	3.5				
全体	平均すべり量 (m)	12.8				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰				
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0				
	ライズタイム (s)	150				
	面積 [※] (km ²)	109,725				
十立宗国	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²				
工即则眉	平均すべり量 (m)	9.9				
	最大すべり量 (m)	38.0				
	面積* (km²)	21,120				
注 立[[新]]	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²				
间"四"百天"	平均すべり量 (m)	27.6				
	最大すべり量 (m)	38.0				

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

その他の検討波源モデルの詳細 1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定 1-1 (大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデルC	全体	130,993	6.9×10 ²²	9.2	3.5	38.0	12.8
(土木子云(2016)手法による モデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	38.0	9.9
大すべり域の位置を西へ80kmと したケース	浅部断層	21,269	2.4×10 ²²	-	-	38.0	27.7



津波断層域の 全面積の約40%

検討波源モデルC (土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

ightarrow	西、今の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの小断層のすべり量分布(m)																																			
5 36 37	35	3 3	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		深度40km↓
.1 1.1 0.8	.2 1.1	1.2	1.2	1.2	1.6	1.6	1.8	1.8	2.1	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	2.4	2.4	2.5	2.6	2.8	2.8	2.9	2.9	3.0	3.0	1	30km↓
.2 1.1 1.1	.2 1.2	1.2	1.6	1.6	1.6	1.8	1.8	2.1	2.1	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.6	2.8	2.8	2.9	2.9	3.0	3.0	2	
.2 1.1 1.1	.2 1.2	1.6	9.7	9.7	11.4	11.4	12.9	12.9	12.1	12.1	12.5	12.7	12.7	13.1	13.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	14.3	14.8	15.2	15.2	15.6	16.1	16.1	17.7	17.7	2.9	2.9	3.0	3.0	3	20km↓
.2 1.2 1.1	.6 1.2	1.6	9.7	9.7	11.4	12.9	12.9	14.6	12.1	12.5	12.5	12.7	12.7	13.1	13.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	14.8	14.8	15.2	15.6	15.6	16.1	16.1	17.7	17.7	2.9	2.9	3.0	3.0	4	
.2 1.2 1.1	.6 1.2	1.6	11.4	24.4	27.7	27.7	31.3	25.9	25.9	26.9	26.9	27.2	28.1	28.1	13.6	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	14.8	32.5	32.5	33.3	34.4	34.4	38.0	38.0	<mark>17.7</mark>	2.9	2.9	3.0	3.0	5	
.6 1.2 1.1	.6 1.6	1.8	<mark>11.4</mark>	27.7	27.7	31.3	31.3	25.9	26.9	26.9	27.2	27.2	28.1	28.1	13.6	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	14.8	32.5	33.3	33.3	34.4	34.4	38.0	38.0	17.7	2.9	2.9	3.0	3.0	6	10km↓
).0 0.0 0.0	.0 0.0	0.0	<mark>12.9</mark>	27.7	31.3	31.3	25.9	25.9	26.9	26.9	27.2	27.2	28.1	29.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	33.3	33.3	34.4	34.4	34.4	38.0	38.0	<mark>17.7</mark>	0.0	0.0	0.0	0.0	7	
0.0 0.0 0.0	.0 0.0	0.0	<mark>12.9</mark>	31.3	31.3	31.3	25.9	25.9	26.9	27.2	27.2	28.1	28.1	29.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	33.3	33.3	34.4	34.4	38.0	38.0	38.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8	0km↓
.2 .2 .0).0	.6 1.2 .6 1.2 .6 1.6 .0 0.0	1.6 1.6 1.8 0.0	9.7 11.4 11.4 12.9 12.9	9.7 24.4 27.7 27.7 31.3	11.4 27.7 27.7 31.3 31.3	12.9 27.7 31.3 31.3 31.3	12.9 31.3 31.3 25.9 25.9	14.6 25.9 25.9 25.9 25.9	12.1 25.9 26.9 26.9 26.9	12.5 26.9 26.9 26.9 27.2	12.5 26.9 27.2 27.2 27.2	12.7 27.2 27.2 27.2 28.1	12.7 28.1 28.1 28.1 28.1	13.1 28.1 28.1 29.1 29.1	13.1 13.6 13.6 13.6 13.6	2.2 2.2 2.2 0.0 0.0	2.2 2.2 2.2 0.0 0.0	2.2 2.2 2.2 0.0 0.0	2.2 2.2 2.2 0.0 0.0	2.2 2.3 2.3 0.0 0.0	2.3 2.4 2.4 0.0 0.0	14.8 14.8 14.8 15.2 15.2	14.8 32.5 32.5 33.3 33.3	15.2 32.5 33.3 33.3 33.3	15.6 33.3 33.3 34.4 34.4	15.6 34.4 34.4 34.4 34.4	16.1 34.4 34.4 34.4 38.0	16.1 38.0 38.0 38.0 38.0	17.7 38.0 38.0 38.0 38.0	17.7 17.7 17.7 17.7 17.7 18.2	2.9 2.9 2.9 0.0 0.0	2.9 2.9 2.9 0.0 0.0	3.0 3.0 3.0 0.0 0.0	3.0 3.0 3.0 0.0 0.0	4 5 6 7 8	<u>10km</u> ↓ 0km↓

検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル)

・すべり量分布の番号は上記波源モテル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、

この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-1 検討波源モデルCのパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの断層パラメータ											
	設定値										
	面積 [※] (km²)	130,993									
	地震モーメント (Nm)	6.9×10 ²²									
	Mw	9.2									
	平均応力降下量 (MPa)	3.5									
全体	平均すべり量 (m)	12.8									
	最大すべり量 (m)	38.0									
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰									
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0									
	ライズタイム (s)	150									
	面積** (km²)	109,725									
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²									
工中四11月	平均すべり量 (m)	9.9									
	最大すべり量 (m)	38.0									
	面積** (km²)	21,269									
洋鸟系	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²									
四川ロズ	平均すべり量 (m)	27.7									
	最大すべり量 (m)	38.0									

検討波源モデルC



検討波源モデルC(土木学会(2016)手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	7.7×10 ²²	9.2	3.4	36.6	10.7
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.2×10 ²²	9.1	3.5	36.6	9.5
大すべり域の位置を東へ60kmと したケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	36.6	14.5



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケース

												傾	記りり	 皮 <i> <i> </i></i>	、七ア	· <i>W</i> (1) (日4	ト)伊	<i> </i>	山口	乳の	洋冰	文行	生甲	现	于江	5100	72-	ヒナノ	レ)									
	西 ⇔ の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースの小断層のすべり量分布 (m)																⇒	東																						
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1	1.1
臣通		2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
<u>El</u>	20km↓	3	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	14.6	14.6	<mark>14.3</mark>	<mark>13.8</mark>	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.7	11.7	12.5	12.5	11.0	11.0	9.3	9.3	<mark>9.3</mark>	7.4	7.4	6.6	6.6	<mark>4.8</mark>
		4	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	15.0	14.6	14.3	14.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	11.7	14.1	12.5	12.5	11.0	9.3	9.3	<mark>9.3</mark>	9.3	7.4	7.4	6.6	<mark>4.8</mark>
瓃		5	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	31.3	31.3	14.3 ⁻	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.8	2.8	11.7	25.0	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	20.0	15.8	15.8	14.1	14.1
澌	10km↓	6	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	31.3	<mark>14.3</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	12.1	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	20.0	15.8	14.1	14.1
魚		7	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9	2.8	12.1	25.0	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	15.8	14.1	14.1
Л	0km↓	8	4.3	4.3	4.1	4.1	17.5	36.6	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	12.1	25.0	25.0	30.1	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	20.0	15.8	14.1	14.1
\sim						_																																		

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10km の位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、

この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。
1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケースの断	行層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	7.7×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.4
全体	平均すべり量 (m)	10.7
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.2×10 ²²
土印如门眉	平均すべり量 (m)	9.5
	最大すべり量 (m)	36.6
浅部断層	面積** (km²)	34,655
	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
	平均すべり量 (m)	14.5
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ60kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を東へ50kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	7.8×10 ²²	9.2	3.5	36.6	10.9
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.3×10 ²²	9.1	3.5	36.6	9.6
大すべり域の位置を東へ50kmと したケース	浅部断層	34,655	2.6×10 ²²	-	-	36.6	14.9



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケース



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケースの断	i層パラメータ
	1

	設定値		
	面積 [※] (km²)	144,379	
	地震モーメント (Nm)	7.8×10 ²²	
	Mw	9.2	
	平均応力降下量 (MPa)	3.5	
全体	平均すべり量 (m)	10.9	
	最大すべり量 (m)	36.6	
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰	
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0	
	ライズタイム (s)	150	
	面積** (km²)	109,725	
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.3×10 ²²	
土山四川昌	平均すべり量 (m)	9.6	
	最大すべり量 (m)	36.6	
浅部断層	面積** (km²)	34,655	
	地震モーメント (Nm)	2.6×10 ²²	
	平均すべり量 (m)	14.9	
	最大すべり量 (m)	36.6	



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ50kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.0×10 ²²	9.2	3.5	36.6	11.0
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.3×10 ²²	9.1	3.6	36.6	9.7
大すべり域の位置を東へ40kmと したケース	浅部断層	34,655	2.7×10 ²²	-	-	36.6	15.3



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) 西 🗇 の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの小断層のすべり量分布(m) 東 \Box 2 21 22 29 1 12 18 19 20 23 24 25 26 27 28 30 38 10 13 14 15 16 31 32 33 34 35 36 37 深度40km↓ 陸側口 3.1 3.1 3.0 3.0 3.0 2.9 2.9 2.8 2.8 2.6 2.2 4.3 4.3 4.1 4. 3.6 3.5 3.4 3.4 3.2 3.2 3.2 3.1 2.7 2.9 2.6 2.2 1.7 30kmJ 43 4.1 40 36 34 3.2 3.2 3.1 3.1 3.1 3.0 3.0 3.0 2.9 2.9 2.8 2.8 27 26 2.6 2.2 22 2.2 4.1 3.2 3.2 3.1 3.1 3.0 3.0 2.9 9.3 9.3 9.3 74 14.6 14.6 14.3 13. 3.2 3.0 2.9 2.8 11. 7 11.7 12.5 12.5 11.0 11.0 6.6 4.3 4. 20km↓ 2.8 12. 3.2 3.2 3.2 3.1 3.1 3.1 3.0 3.0 2.9 9 Λ 43 43 4.1 4.1 15 (1/ 6 14 14.3 2.9 11.7 14 9 海溝軸 5 4.3 4.3 4.1 4.1 14. 3.4 3.2 3.2 3.2 3.1 3.1 3.1 3.0 3.0 2.9 2.8 12. 2.9 12 3.2 3.2 3.4 3.2 3.2 3.1 3.1 3.0 3.0 2.9 6 4.3 4.1 10km↓ 4.3 4.3 4.1 4. 14. 3.4 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3. 3.1 3.0 2.9 2.9 6. 0km. Û

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。
 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの断	「層パラメータ

	設定値	
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.0×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.5
全体	平均すべり量 (m)	11.0
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.3×10 ²²
土山四川昌	平均すべり量 (m)	9.7
	最大すべり量 (m)	36.6
浅部断層	面積* (km²)	34,655
	地震モーメント (Nm)	2.7×10 ²²
	平均すべり量 (m)	15.3
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.1×10 ²²	9.2	3.6	36.6	11.2
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.4×10 ²²	9.1	3.6	36.6	9.8
大すべり域の位置を東へ30kmと したケース	浅部断層	34,655	2.7×10 ²²	-	-	36.6	15.7



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの断	行層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.1×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.6
全体	平均すべり量 (m)	11.2
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.4×10 ²²
土山四川眉	平均すべり量 (m)	9.8
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積** (km²)	34,655
洋河形屋	地震モーメント (Nm)	2.7×10 ²²
1001001/音	平均すべり量 (m)	15.7
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.2×10 ²²	9.2	3.6	36.6	11.4
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.4×10 ²²	9.1	3.6	36.6	9.9
大すべり域の位置を東へ20kmと したケース	浅部断層	34,655	2.8×10 ²²	-	-	36.6	16.0



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

												俠	記りり	 皮 <i> <i> </i></i>	して	· <i>W</i> (1) (日4	ト)伊	<i> </i>	山口	乳の	洋冰	文行	『土甲	 	于江	よし	19-	ヒナノ	レ)									
	西 <□ 西 /□ の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの小断層のすべり量分布 (m)																		東																					
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1	1.1
副		2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
ι <u>Σι</u> ι	20km↓	3	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	14.6	14.6	<mark>14.3</mark>	<mark>13.8</mark>	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	12.1	11.7	11.7	12.5	12.5	11.0	11.0	9.3	9.3	9.3	7.4	7.4	6.6	<mark>6.6</mark>	1.1
		4	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	15.0	14.6	<mark>14.3</mark>	14.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	12.1	12.1	11.7	14.1	12.5	12.5	11.0	9.3	9.3	9.3	9.3	7.4	7.4	<u>6.6</u>	1.1
ᅖ		5	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	31.3	31.3	14.3 ⁻	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	12.1	25.9	25.0	25.0	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	20.0	15.8	15.8	<mark>6.6</mark>	1.6
瀆	10km↓	6	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	31.3	14.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	12.2	25.9	25.9	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	20.0	15.8	<mark>6.6</mark>	1.6
漁		7	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	2.9	12.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	15.8	<mark>6.6</mark>	1.6
Л	0km↓	8	4.3	4.3	4.1	4.1	17.5	36.6	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	12.2	26.2	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	20.0	15.8	<mark>6.6</mark>	1.6
\sim									1.11/10/17			10.1.1											- 1 /0.1			- /-														

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10km の位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、

この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの断	f層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.2×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.6
全体	平均すべり量 (m)	11.4
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.4×10 ²²
土印印印	平均すべり量 (m)	9.9
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積 [※] (km²)	34,655
洋动形园	地震モーメント (Nm)	2.8×10 ²²
	平均すべり量 (m)	16.0
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.3×10 ²²	9.2	3.7	36.6	11.5
(日本海浦の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.5×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.0
大すべり域の位置を東へ10kma したケース	浅部断層	34,655	2.8×10 ²²	-	-	36.6	16.4



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの断	i層パラメータ

	設定値	
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.3×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.7
全体	平均すべり量 (m)	11.5
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.5×10 ²²
土山(山))冒	平均すべり量 (m)	10.0
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積* (km²)	34,655
注剑胀屑	地震モーメント (Nm)	2.8×10 ²²
	平均すべり量 (m)	16.4
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を基準位置としたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.4×10 ²²	9.2	3.7	36.6	11.6
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.5×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.0
大すべり域の位置を基準位置と したケース	浅部断層	34,655	2.9×10 ²²	-	-	36.6	16.7



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケース

検討波源セナル①(日本海溝の仏域の津波特性再現于法によるセナル)																																								
	西 <															I	⇒ !	東																						
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1	1.1
副		2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
ι <u>κι</u>	20km↓	3	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	14.6	14.6	14.3	<mark>13.8</mark>	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	12.2	12.1	11.7	11.7	12.5	12.5	11.0	11.0	9.3	9.3	9.3	7.4	7.4	<mark>6.6</mark>	1.6	1.1
		4	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	15.0	14.6	14.3	14.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9	12.2	12.1	12.1	11.7	14.1	12.5	12.5	11.0	9.3	9.3	<mark>9.3</mark>	9.3	7.4	<mark>7.4</mark>	1.6	1.1
盄		5	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	31.3	31.3	<mark>14.3</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	12.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	20.0	15.8	7.4	1.6	1.6
灩	10km↓	6	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	31.3	14.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	12.2	26.2	25.9	25.9	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	20.0	<mark>7.4</mark>	1.6	1.6
魚		7	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	33.2	32.1	32.1	14.6	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	12.2	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	<mark>7.4</mark>	1.6	1.6
л	0km↓	8	4.3	4.3	4.1	4.1	17.5	36.6	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	12.7	26.2	26.2	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	20.0	7.4	1.6	1.6
V																																								

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータ

	設定値				
	面積*(km²)	144,379			
	地震モーメント (Nm)	8.4×10 ²²			
	Mw	9.2			
	平均応力降下量 (MPa)	3.7			
全体	平均すべり量 (m)	11.6			
	最大すべり量 (m)	36.6			
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰			
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0			
	ライズタイム (s)	150			
	面積* (km²)	109,725			
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	5.5×10 ²²			
土 即 四 1 周	平均すべり量 (m)	10.0			
	最大すべり量 (m)	36.6			
	面積** (km²)	34,655			
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.9×10 ²²			
高川四小四大	平均すべり量 (m)	16.7			
	最大すべり量 (m)	36.6			



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.5×10 ²²	9.2	3.8	36.6	11.8
(日本海海の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.5×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.1
大すべり域の位置を西へ10kmと したケース	浅部断層	34,655	2.9×10 ²²	-	-	36.6	17.0



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの断	f層パラメータ

	設定値				
	面積 [※] (km²)	144,379			
	地震モーメント (Nm)	8.5×10 ²²			
	Mw	9.2			
	平均応力降下量 (MPa)	3.8			
全体	平均すべり量 (m)	11.8			
	最大すべり量 (m)	36.6			
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰			
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0			
	ライズタイム (s)	150			
	面積** (km²)	109,725			
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.5×10 ²²			
土山(山))冒	平均すべり量 (m)	10.1			
	最大すべり量 (m)	36.6			
	面積** (km²)	34,655			
准剑新国	地震モーメント (Nm)	2.9×10 ²²			
	平均すべり量 (m)	17.0			
	最大すべり量 (m)	36.6			



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

その他の検討波源モデルの詳細 1 検討波源モデル1のパラメータスタディモデルの設定 1-2 (大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.6×10 ²²	9.2	3.8	36.6	11.9
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.6×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.2
大すべり域の位置を西へ20kmと したケース	浅部断層	34,655	3.0×10 ²²	-	-	36.6	17.2



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

												俠	いり	文	セア	-11(1	$\mathcal{O}($	日4	ト)世	洅 0,	山	乳の	洋冰	文行	生世		于冱	5100	12-	ヒナノ	レ)									
			西	\triangleleft								のフ	たす	べり	域の	位間	置を	西へ	20	km	としす	こケ-	-70	の小	断層	層の	すべ	り量	分花	न (m)									東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Û	30km↓	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1	1.1
郾		2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
<u>Eli</u>	20km↓	3	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	14.6	14.6	<mark>14.3</mark>	13.8	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	12.2	12.2	12.1	11.7	11.7	12.5	12.5	11.0	11.0	9.3	9.3	9.3	7.4	7.4	1.6	1.6	1.1
		4	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	15.0	14.6	14.3	<u>14.3</u>	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	12.2	12.2	12.1	12.1	11.7	14.1	12.5	12.5	11.0	9.3	9.3	<mark>9.3</mark>	<mark>9.3</mark>	7.4	1.7	1.6	1.1
龃		5	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	31.3	31.3	<mark>14.3</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	12.7	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	20.0	7.4	1.7	1.6	1.6
灩	10km↓	6	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	31.3	14.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	12.7	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	9.3	1.7	1.6	1.6
魚		7	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	33.2	32.1	32.1	14.6	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	12.7	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	9.3	1.7	1.6	1.6
Л	0km↓	8	4.3	4.3	4.1	4.1	17.5	36.6	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	12.7	27.1	26.2	26.2	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	<mark>9.3</mark>	1.7	1.6	1.6
\sim																																								

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの断層パラメータ

	設定値				
	面積*(km²)	144,379			
	地震モーメント (Nm)	8.6×10 ²²			
	Mw	9.2			
	平均応力降下量 (MPa)	3.8			
全体	平均すべり量 (m)	11.9			
	最大すべり量 (m)	36.6			
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰			
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0			
	ライズタイム (s)	150			
	面積** (km²)	109,725			
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.6×10 ²²			
土山(山))冒	平均すべり量 (m)	10.2			
	最大すべり量 (m)	36.6			
	面積** (km²)	34,655			
准剑新国	地震モーメント (Nm)	3.0×10 ²²			
	平均すべり量 (m)	17.2			
	最大すべり量 (m)	36.6			



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.6×10 ²²	9.2	3.8	36.6	12.0
(ロ本)海海の広域の洋波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.6×10 ²²	9.1	3.8	36.6	10.2
大すべり域の位置を西へ30kmと したケース	浅部断層	34,655	3.0×10 ²²	-	-	36.6	17.5



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法による	るモデル)
の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの断	「層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.6×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.8
全体	平均すべり量 (m)	12.0
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將屋	地震モーメント (Nm)	5.6×10 ²²
土印約7月	平均すべり量 (m)	10.2
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積** (km²)	34,655
注剑新属	地震モーメント (Nm)	3.0×10 ²²
	平均すべり量 (m)	17.5
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
ļ	検討波源モデル①	全体	144,379	8.7×10 ²²	9.2	3.9	36.6	12.1
	(日本海海の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.6×10 ²²	9.1	3.8	36.6	10.3
	大すべり域の位置を西へ40kmと Jたケース	浅部断層	34,655	3.1×10 ²²	-	-	36.6	17.7



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース

												颅	記り)	 皮 <i> </i>	、七ア	· <i>M</i> (1) (日4	ト)伊	<i> </i>	山口	蚁の	洋汕	文行	1/土甲	 	于冱	5100	12-	ヒナノ	レ)									
	西 <□ の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの小断層のすべり量分布 (m)															ſ		東																						
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1	1.1
副		2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
ι <u>Σι</u> ι	20km↓	3	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	14.6	14.6	<mark>14.3</mark>	<mark>13.8</mark>	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	12.7	12.2	12.2	12.1	11.7	11.7	12.5	12.5	11.0	11.0	9.3	9.3	9.3	7.4	1.7	1.6	1.6	1.1
		4	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	15.0	14.6	14.3	14.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	12.7	12.2	12.2	12.1	12.1	11.7	14.1	12.5	12.5	11.0	9.3	9.3	9.3	<mark>9.3</mark>	1.7	1.7	1.6	1.1
ᅖ		5	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	31.3	31.3	14.3 ⁻	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	12.7	27.1	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	20.0	9.3	1.7	1.7	1.6	1.6
瀆	10km↓	6	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	31.3	14.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	12.7	27.1	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	9.3	2.2	1.7	1.6	1.6
魚		7	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	13.1	27.1	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	11.0	2.2	1.7	1.6	1.6
Л	0km↓	8	4.3	4.3	4.1	4.1	17.5	36.6	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	13.1	27.1	27.1	26.2	26.2	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	30.1	26.7	26.7	11.0	2.2	1.7	1.6	1.6
\sim															_																									

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの断	i層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.7×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.9
全体	平均すべり量 (m)	12.1
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.6×10 ²²
土山(山))冒	平均すべり量 (m)	10.3
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積* (km²)	34,655
洋河形网	地震モーメント (Nm)	3.1×10 ²²
	平均すべり量 (m)	17.7
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.6×10 ²²	9.2	3.8	36.6	12.0
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.6×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.2
大すべり域の位置を西へ50kmと したケース	浅部断層	34,655	3.0×10 ²²	-	-	36.6	17.5



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によ	るモデル)
の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの断	宿パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.6×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.8
全体	平均すべり量 (m)	12.0
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.6×10 ²²
土山(山))冒	平均すべり量 (m)	10.2
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積** (km²)	34,655
准剑新国	地震モーメント (Nm)	3.0×10 ²²
	平均すべり量 (m)	17.5
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
ļ	検討波源モデル①	全体	144,379	8.6×10 ²²	9.2	3.8	36.6	11.8
	(日本海海の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.5×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.1
	大すべり域の位置を西へ60kmと Jたケース	浅部断層	34,655	3.0×10 ²²	-	-	36.6	17.4



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース

												筷	記す)	皮 湯	・七ア	・ル(1	.) (日4	く、海) (挿	까지	乳の	浑冰	文符	"王₽	现	于江		291	ヒナノ	レ)									
	西 <															[\Rightarrow	東																						
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Û	30km↓	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1	1.1
甌		2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
<u>Ε</u>	20km↓	3	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	14.6	14.6	14.3	<mark>13.8</mark>	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.0	12.7	12.2	12.2	12.1	11.7	11.7	12.5	12.5	11.0	11.0	9.3	<mark>9.3</mark>	<mark>9.3</mark>	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
		4	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	15.0	14.6	14.3	<mark>14.3</mark>	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	12.7	12.2	12.2	12.1	12.1	11.7	14.1	12.5	12.5	11.0	9.3	9.3	<mark>9.3</mark>	2.2	. 1.7	1.7	1.6	1.1
龃		5	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	31.3	31.3	14.3 ⁻	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	12.7	27.1	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	26.7	26.7	23.5	23.5	<mark>9.3</mark>	2.2	1.7	1.7	1.6	1.6
灩	10km↓	6	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	31.3	<mark>14.3</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	12.7	27.1	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	23.5	<mark>11.0</mark>	2.2	2.2	1.7	1.6	1.6
魚		7	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	13.1	27.1	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	<mark>11.0</mark>	2.6	2.2	1.7	1.6	1.6
Л	0km↓	8	4.3	4.3	4.1	4.1	17.5	36.6	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	<mark>14.6</mark>	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	<mark>13.1</mark>	27.1	27.1	26.2	26.2	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	30.1	26.7	<mark>12.5</mark>	2.6	2.2	1.7	1.6	1.6
\sim																																								

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法による	るモデル)
の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの断	層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.6×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.8
全体	平均すべり量 (m)	11.8
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.5×10 ²²
土山(山))冒	平均すべり量 (m)	10.1
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積* (km²)	34,655
注剑胀屑	地震モーメント (Nm)	3.0×10 ²²
	平均すべり量 (m)	17.4
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①	(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり)域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル①	全体	144,379	8.6×10 ²²	9.2	3.8	36.6	11.9
(日本海溝の広域の津波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.6×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.1
大すべり域の位置を西へ70kmと したケース	浅部断層	34,655	3.0×10 ²²	-	-	36.6	17.5



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケース



1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①
(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)
の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの断層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.6×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.8
全体	平均すべり量 (m)	11.9
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十四新國	地震モーメント (Nm)	5.6×10 ²²
土山四)眉	平均すべり量 (m)	10.1
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積** (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	3.0×10 ²²
	平均すべり量 (m)	17.5
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
ł	検討波源モデル①	全体	144,379	8.6×10 ²²	9.2	3.8	36.6	12.0
Ē	(日本)海南の広域の洋波特性 再現手法によるモデル)	主部断層	109,725	5.6×10 ²²	9.1	3.7	36.6	10.2
Ī	たすべり域の位置を西へ80kmと ♪たケース	浅部断層	34,655	3.1×10 ²²	-	-	36.6	17.7



検討波源モデル① (日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

												筷	記す)	皮	して	-11(1	.) (日4	、海) (浦	까지	曳の	浑冰	文符	"王₽	现	于江		2-67	ヒナノ	レ)									
	西 ⇔ の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの小断層のすべり量分布 (m) ⇒															\Rightarrow	東																							
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Û	30km↓	1	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1	1.1
副		2	4.3	4.3	4.1	4.1	4.0	4.0	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.6	2.6	2.2	2.2	2.2	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
<u>Eli</u>	20km↓	3	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	14.6	14.6	14.3	13.8	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	12.7	12.7	12.2	12.2	12.1	11.7	11.7	12.5	12.5	11.0	11.0	9.3	<mark>9.3</mark>	2.2	1.7	1.7	1.6	1.6	1.1
		4	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	17.1	15.5	15.5	15.0	15.0	14.6	14.3	14.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	12.7	12.7	12.2	12.2	12.1	12.1	11.7	14.1	12.5	12.5	11.0	9.3	<mark>9.3</mark>	2.2	2.2	1.7	1.7	1.6	1.1
龃		5	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	31.3	31.3	14.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	13.1	27.1	27.1	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	26.7	26.7	23.5	<mark>11.0</mark>	2.2	2.2	1.7	1.7	1.6	1.6
灩	10km↓	6	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	31.3	14.3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	13.1	27.1	27.1	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	30.1	30.1	26.7	26.7	<mark>11.0</mark>	2.6	2.2	2.2	1.7	1.6	1.6
魚		7	4.3	4.3	4.1	4.1	17.1	36.6	36.6	33.2	33.2	33.2	32.1	32.1	14.6	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	13.1	28.0	27.1	26.2	26.2	25.9	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	26.7	<mark>12.5</mark>	2.6	2.6	2.2	1.7	1.6	1.6
Л	0km↓	8	4.3	4.3	4.1	4.1	17.5	36.6	36.6	36.6	33.2	33.2	32.1	32.1	14.6	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	13.1	28.0	27.1	27.1	26.2	26.2	25.9	25.0	25.0	30.1	30.1	30.1	12.5	2.9	2.6	2.2	1.7	1.6	1.6
\sim															_																									

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-2 検討波源モデル①のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル①	
(日本海溝の広域の津波特性再現手法による	るモデル)
の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの断	層パラメータ

	設定値	
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	8.6×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.8
全体	平均すべり量 (m)	12.0
	最大すべり量 (m)	36.6
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	5.6×10 ²²
土山(山))冒	平均すべり量 (m)	10.2
	最大すべり量 (m)	36.6
	面積** (km²)	34,655
注剑胀屑	地震モーメント (Nm)	3.1×10 ²²
	平均すべり量 (m)	17.7
	最大すべり量 (m)	36.6



検討波源モデル①(日本海溝の広域の津波特性再現手法によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層



1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
1	検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
4	(日本海溝の呂城県の津波特 生評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	18.5	8.2
ĺ	大すべり域の位置を東へ40kmと 」たケース	浅部断層	34,655	2.2×10 ²²	-	-	37.0	13.0



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

	検討波源セナル②(日本海海の呂城県の津波特性評価手法1によるセナル)																																						
	西 <>の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの小断層のすべり量分布 (m)															[東																					
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	8.4	8.4	8.2	8.2	7.9	7.9	7.2	7.0	6.8	6.7	6.7	6.4	6.3	6.3	6.1	6.1	6.1	5.9	5.9	5.9	5.7	5.7	5.6	5.6	5.4	5.8	5.1	5.1	4.3	4.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.1	3.1	2.2	2.2
	2	8.4	8.4	8.2	8.2	7.9	7.9	7.2	7.0	7.0	6.8	6.7	6.7	6.4	6.3	6.1	6.1	6.1	5.9	5.9	5.9	5.7	5.7	5.6	5.6	5.4	5.8	5.8	5.1	5.1	4.3	4.3	4.3	3.4	3.4	3.4	3.1	3.1	2.2
20km↓	3	8.4	8.4	8.2	8.2	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	6.8	6.8	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3	3.1
	4	8.4	8.4	8.2	8.2	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	15.9	<mark>15.4</mark>	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	12.3	12.3	12.3	12.3	9.7	9.7	8.7	6.3
	5	8.4	8.4	8.2	8.2	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	6.8	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1	8.0	15.9	15.4	15.4	18.5	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	12.3	9.7	9.7	8.7	<mark>8.7</mark>
10km↓	6	8.4	8.4	8.2	8.2	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	7.0	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1	8.1	15.9	15.9	15.4	18.5	18.5	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	12.3	9.7	8.7	<mark>8.7</mark>
	7	8.4	8.4	8.2	8.2	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.2	7.0	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.1	8.1	15.9	<mark>15.9</mark>	<u>15.4</u>	15.4	18.5	18.5	16.4	16.4	14.5	<mark>14.5</mark>	12.3	9.7	8.7	8.7
0km↓	8	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1														17.4

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1に の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの圏	よるモデル) 「層パラメータ
項 目	設定値

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	当らな
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²
土山(川)昌	平均すべり量 (m)	8.2
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積* (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.2×10 ²²
高川四川方	平均すべり量 (m)	13.0
	最大すべり量 (m)	37.0



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量

断層	モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②		全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海溝の呂城県の 性評価手法1によるモ))津波特 デル)	主部断層	109,725	4.5×10 ²²	9.0	3.0	18.5	8.1
大すべり域の位置を東へ したケース	∖30kmと	浅部断層	34,655	2.3×10 ²²	-	-	37.0	13.2



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース

																		杉	信夕	打沢	医源	ΞŦ	デノ	12	2)	(日	本	、海	:溝	ወፑ	室坝	成呉	₹Ø,)津	波	寺作	生評	平伯	盱	法	1(こよ	31	ミデ	.ル))												
				Ī	西	\triangleleft													の;	大	₫╱	じ	域	の1	立置	を	東	A.	301	кm	121	した	ケ	ーブ	くの	<u>ا</u> را	断層	国 の	す	κŋ)量	分礼	冇	(n	า)									Ę	>	東		
- [深度		1		2	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 3															34	35	3	6	37	38	3																															
1	40km		w	e	w e	w	e w	e e	w e	w	е	w	e v	v e	W	еv	v e	w	еN	w e	e w	е	w	e w	е	we	e w	е	w (e w	l e	we	e w	/ e	w e	W	еN	<i>w</i> e	w	e w	/ e	w e	W	e١	<i>w</i> e	w	<mark>e w</mark>	е	w e	w	e	w e	w e	e w	еN	w e	w	е
	30km	1	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0	7.0 6	5.8 6.8	6.6	6.6	6.5 6.5	6.5	6.5	6.2 6	.2 6.'	1 6.1	6.1	5.1 5.9	9 5.9	5.9 5	5.9 5.9	9 5.9	5.7 5	5.7 5.	.7 5.7	5.7	5.7 5.	.5 5.5	5.5 5.	5 5.5	5.5	5.5 5.	5 5.3	5.3 5.	.6 5.6	5.0 5.	.0 5.0	5.0	4.2 4.2	2 4.2	4.2 3.3	3 3.3	3.3 3	.3 3.3	3.3	3.3 3.3	3.0	3.0 3.0	3.0	2.2 2.2	2.2	2.2
Ä		2	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0	7.0 6	5.8 6.8	6.8	6.8	5.6 6.6	6.5	6.5	6.5 6	.5 6.2	2 6.2	6.1	5.1 5.9	9 5.9	5.9 5	5.9 5.9	9 5.9	5.7 5	5.7 5.	7 5.7	5.7 5	5.7 5.	.5 5.5	5.5 5.	5 5.5	5.5	5.5 5.	5 5.3	5.3 5.	.6 5.6	5.6 5.	.6 5.0	5.0	5.0 5.0	4.2	4.2 4.2	2 4.2	4.2 4	.2 3.3	3.3	3.3 3.3	3.3	3.3 3.0	3.0	3.0 3.0	2.2	2.2
	20km	3	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0	7.0 7	7.0 7.0	6.8	6.8	5.6 6.6	6.6	6.6	9.4 9	.4 9.1	1 9.1	9.1	9.1 8.8	8 8.8	8.8 8	3.8 8.6	5 8.6	8.6 8	8.6 8.	.3 8.3	8.3 8	3.3 8.	.3 8.3	8.1 8.	1 8.1	8.1	8.0 8.	0 7.7	7.7 7.	.7 7.7	8.2 8.	2 8.2	8.2	7.2 7.2	2 7.2	7.2 6.1	1 6.1	6.1 6	.1 6.1	6.1	4.9 4.9	4.9	4.9 4.3	4.3	4.3 4.3	3 3.1	3.1
_[4	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0	7.0 7	7.0 7.0	6.8	6.8	5.8 6.8	6.6	6.6	9.4 9	.4 9.4	4 9.4	9.1	9.1 8.8	8 8.8	8.8 8	3.8 8.6	5 8.6	8.6 8	8.6 8.	.6 8.6	8.3 8	3.3 8.	.3 8.3	8.1 8.	1 8.1	8.1	8.0 <mark>15.</mark>	9 <mark>15.9</mark> 1	5.9 <mark>15</mark> .	. <mark>4</mark> 15.4	18.5 <mark>18</mark> .	5 16.4	16.4 1	6.4 16.4	4 <mark>14.5</mark> 1	4.5 <mark>12.5</mark>	3 12.3 ⁻	12.3 12	.3 12.3	12.3 1	<mark>2.3</mark> 12.3	9.7	9.7 9.7	9.7	8.7 8.7	6.3	3.1
計		5	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.7	7.7 7	7.0 7.0	7.0	7.0	5.8 6.8	6.6	6.6	9.6 9	.6 9.4	4 9.4	9.4	9.4 9.7	1 9.1	8.8 8	3.8 8.8	8 8.8	8.6 8	8.6 8.	.6 8.6	8.6 8	3.6 8.	.3 8.3	8.3 8.	3 8.1	8.1	8.0 <mark>15.</mark>	9 15.9 1	5.9 15.	4 15.4	15.4 15.	4 18.5	18.5 1	6.4 16.4	16.4	6.4 14. <mark>5</mark>	5 14.5 ⁻	14.5 14	.5 12.3	12.3 1	2.3 12.3	9.7	9.7 9.7	9.7	8.7 8.7	8.7	4.3
₽ #	10km	6	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.7	7.7 7	7.0 7.0	7.0	7.0	5.8 6.8	6.8	6.8	9.6 9	.6 9.4	4 9.4	9.4	9.4 9.7	1 9.1	8.8 8	3.8 8.8	8 8.8	8.8 {	8.8 8.	.6 8.6	8.6 8	3.6 8.	.3 8.3	8.3 8.	3 8.1	8.1	8.1 <mark>16.</mark>	1 15.9 1	5.9 15.	.9 15.9	15.4 15.	4 18.5	18.5 1i	8.5 18.5	5 16.4 1	6.4 16.4	4 16.4 ⁻	14.5 14	.5 14.5	14.5 <mark>1</mark>	2.3 12.3	12.3 1.	2.3 9.7	9.7	8.7 8.7	8.7	4.3
		7	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.7	7.7 7	7.0 7.0	7.0	7.0	7.0 7.0	6.8	6.8	9.9 9	.9 9.0	5 9.6	9.4	9.4 9.1	1 9.1	9.1 9	9.1 8.8	8.8	8.8 {	8.8 8.	8 8.8	8.6 8	3.6 8.	.6 8.6	8.3 8.	3 8.1	8.1	8.1 <mark>16.</mark>	1 15.9 1	5.9 <mark>15</mark> .	.9 15.9	15.4 15.	4 15.4	15.4 1	8.5 18.9	5 18.5 1	8.5 16.4	4 16.4 ⁻	16.4 16	.4 14.5	14.5 1	4.5 14.5	12.3 12	2.3 9.7	9.7	8.7 8.7	/ <mark>8.7</mark>	4.3
۶Į	0km	8	8.2	8.2	8.2 8.	2 7.9	7.9 7.	9 7.9	7.9 7.	9 7.7	7.7	7.7	7.7 7	7.7 7.3	7 7.0	7.0	7.0 7.0	6.8	6.8	9.9 9	.9 9.0	5 9.6	9.4	9.4 9.1	1 9.1	9.1 9	9.1 9.1	1 9.1	8.8 {	8.8 8.9	8 8.8	8.6 8	3.6 8.	.6 8.6	8.3 8.	3 8.3	8.3	8.1 <mark>32</mark> .	2 32.2 3	2.2 31.	.8 31.8	30.7 30.	7 30.7	30.7 3	7.0 37.0	37.0 3	7.0 37.0	0 37.0	<mark>82.8</mark> 32	.8 32.8	32.8 2	8.9 28.9	24.6 24	4.6 19.4	19.4 1	7.4 17.4	17.4	4.3
		すべ	n4	る	の番	い (1)	t F	記法	沉頂 Ŧ	:===`I	し叉	10	冬川	\⊮F	層に	-44	,而	個け	NAI	审但		順に	-1万	Iti	338	同日	手で	設守	E. 4	조제	$ t \pm v $		- 27	列に	分宝	L B	を相目	から	海津	庙山	间亿	1行	から	8/7	まで	設定	2										_	

9、ワカカ市の留号は上記波線モデル図の各小阁層に対し四側から果例に順に19から38列まで設定。各列はW, 8に29小に方割。 陸側から海海軸側に11から817まで設定。 - 駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位置	検討波源モデル② 成県の津波特性評価手法1に 置を東へ30kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.5×10 ²²
土山四川昌	平均すべり量 (m)	8.1
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積* (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.3×10 ²²
1四1日文/	平均すべり量 (m)	13.2
	最大すべり量 (m)	37.0



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
1	検討波源モデル② (ロナ海港の宮城県の港湾は	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
ľ	(日本海溝の呂城県の津波特 生評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.4×10 ²²	9.0	3.0	18.5	8.1
ĺ	大すべり域の位置を東へ20kmと 」たケース	浅部断層	34,655	2.3×10 ²²	-	-	37.0	13.4



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

										1	 	波》	泉七	テル	(2)	(日)	不汨	即	の名	·城,	県の	津冰	艾 特	作王計	半個	= 1/2	51(ادلا	St:	テル)								
	西 ⇔ の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの小断層のすべり量分布 (m)																[⇒	東_																				
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	8.0	8.0	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.6	6.4	6.3	6.3	6.1	5.9	5.9	5.8	5.8	5.8	5.6	5.6	5.6	5.4	5.4	5.3	5.3	5.1	5.5	4.9	4.9	4.1	4.1	3.3	3.3	3.3	3.3	2.9	2.9	2.1	2.1
	2	8.0	8.0	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.6	6.6	6.4	6.3	6.3	6.1	5.9	5.8	5.8	5.8	5.6	5.6	5.6	5.4	5.4	5.3	5.3	5.1	5.5	5.5	4.9	4.9	4.1	4.1	4.1	3.3	3.3	3.3	2.9	2.9	2.1
20km↓	3	8.0	8.0	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.4	6.4	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3	3.1
	4	8.0	8.0	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1	8.1	<mark>15.9</mark>	<mark>15.9</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>18.5</mark>	<mark>16.4</mark>	<mark>16.4</mark>	14.5	12.3	12.3	<mark>12.3</mark>	<mark>12.3</mark>	9.7	9.7	<mark>8.7</mark>	3.1
	5	8.0	8.0	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.4	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1	15.9	<mark>15.9</mark>	15.4	15.4	18.5	<u> 16.4</u>	16.4	14.5	14.5	<mark>12.3</mark>	12.3	9.7	9.7	<mark>8.7</mark>	4.3
10km↓	6	8.0	8.0	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.6	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1	<mark>16.1</mark>	<mark>15.9</mark>	15.9	15.4	18.5	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	<mark>14.5</mark>	12.3	12.3	9.7	<mark>8.7</mark>	4.3
	7	8.0	8.0	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.8	6.6	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.1	<mark>16.1</mark>	<mark>15.9</mark>	15.9	15.4	15.4	<mark>18.5</mark>	18.5	16.4	16.4	<mark>14.5</mark>	<mark>14.5</mark>	12.3	9.7	<mark>8.7</mark>	4.3
0km↓	8	8.0	8.0	7.7	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	32.2	32.2	31.8	30.7	30.7	37.0	37.0	37.0	32.8	32.8	28.9	24.6	19.4	17.4 ⁻	4.3

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。
1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位置	成県の津波特性評価手法1に 置を東へ20kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km ²)	109,725
十立宗国	地震モーメント (Nm)	4.4×10 ²²
工中的同	平均すべり量 (m)	8.1
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積** (km²)	34,655
洋河形园	地震モーメント (Nm)	2.3×10 ²²
四川四大/	平均すべり量 (m)	13.4
	最大すべり量 (m)	37.0

検討波源モデル2



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

主部断層:深さ10km以深の断層 浅部断層:深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.4×10 ²²	9.0	3.0	18.5	8.0
大すべり域の位置を東へ10kmと したケース	浅部断層	34,655	2.4×10 ²²	-	-	37.0	13.6



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース

																				杉	(美)	寸测	安》	亰⁻	EЭ	ール	/2)	(E	37	ドコ	事況	冓(りと	式	城!	県(のシ	聿	波	寺'	生語	评(価	手》	去	1(こよ	3	Eテ	ル)														
					西	<	7														の	大	す	べ!	り垣	或0	った	٢Ę	宣を	īす	₹^	1	0k	m	۱Ł	.U1	こと	τ-	-ス	ற	יןין	新	層(の	す^	い	量	分	行	(n	n)										ſ	⇒	亨	良		
	深度		1	1	2		3	4	4	5	Т	6		7	8		9	Т	10	1	1	12	2	13		14	1	5	1(6	17	T	18	1	9	2	.0	21		22	2	3	24	1	25	2	6	27	2	8	29	3	30	3	1	32	3	3	34	3!	5	36	3	7	38	5
7	40km		w	е	w	e v	v e	W	е	we	e v	v e	w	е	w	e	w	e v	v e	w	е	w	e١	NE	e v	/ e	w	е	W	e	w e	a N	v e	W	e	W	е	w	еl	<i>v</i> e	W	е	W	e١	<i>w</i> e	W	е	w e	w	е	we	e w	e	w	e	<i>w</i> e	w	e	<u>м</u> е	w	e	w e	w	е	w	e
	30km	1	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.4 7	7.4 7	.4 7.4	4 6.7	6.7	6.5	6.5	6.3	5.3 E	.2 6.	6.2	6.2	5.9	5.9	5.8 5	5.8 5	.8 5.1	3 5.6	5.6	5.6	5.6	5.6 5	5.6 5	.5 5.!	.5 5.5	5 5.5	5 5.5	5.5	5.3	5.3	5.3 5.	3 5.2	5.2	5.2	5.2	5.0 5.	0 5.4	5.4	4.7 4	.7 4.7	4.7	4.0 4	4.0 4.0	0 4.0	3.2	3.2	3.2 3.2	2 3.2	3.2	3.2 3.2	2 2.8	2.8	2.8 2.	.8 2.1	2.1	2.1	2.1
Ĭ		2	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.4 7	7.4 7	.4 7.4	4 6.7	6.7	6.5	6.5	6.5	5.5 e	.3 6.	6.2	6.2	6.2	6.2	5.9 5	5.9 5	.8 5.1	3 5.6	5.6	5.6	5.6	5.6 5	j.6 5	.5 5.1	.5 5.5	5 5.5	5 5.5	5.5	5.3	5.3	5.3 5.	3 5.2	5.2	5.2	5.2	5.0 5.	0 5.4	5.4	5.4 5	.4 4.7	4.7	4.7 4	4.7 4.0	0 4.0	4.0	4.0	4.0 4.1	0 3.2	3.2	3.2 3.2	2 3.2	3.2	2.8 2.	.8 2.8	2.8	2.1	2.1
	20km	3	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.4 7	7.4 7	.4 7.4	4 6.7	6.7	6.7	6.7	6.5	5.5 e	.3 6.	6.3	6.3	9.4	9.4	9.1 9	9.1 9.	.1 9.	8.8	8.8	8.8	8.8	8.6 8	3.6 8	.6 8.0	.6 8.3	3 8.5	3 8.3	8.3	8.3	8.3	8.1 8.	1 8.1	8.1	8.0	8.0	7.7 7.	7 7.7	7.7	8.2 8	.2 8.2	8.2	7.2 7	7.2 7.2	2 7.2	6.1	6.1	6.1 6.	1 6.1	6.1	4.9 4.9	4.9	4.9	4.3 4.	.3 4.3	4.3	3.1	3.1
_		4	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.4 7	7.4 7	.4 7.4	4 6.7	6.7	6.7	6.7	6.5	6.5 E	.5 6.	6.3	6.3	9.4	9.4	9.4 9).4 9.	.1 9.	8.8	8.8	8.8	8.8	8.6 8	3.6 8	.6 8.0	.6 8.6	5 8.f	6 8.3	8.3	8.3	8.3	8.1 8.	1 8.1	<mark>16.1</mark>	15.9 1	5.9 1	5.9 15.	9 15.4	<mark>15.4</mark>	18.5 18	.5 16.4	16.4 1	16.4 16	5.4 14.	5 14.5	12.3	<mark>12.3</mark> 1	<mark>2.3</mark> 12.	3 12.3	12.3 1	2.3 12.3	3 <u>9.7</u>	9.7	9.7 9.	.7 8.7	4.3	3.1	3.1
∃ # E		5	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.4 7	7.4 7	.4 7.4	4 7.4	7.4	6.7	6.7	6.7	5.7 E	.5 6.	6.3	6.3	9.6	9.6	9.4 9	9.4 9	.4 9.4	1 9.1	9.1	8.8	8.8	8.8 8	3.8 8	.6 8.0	.6 8.6	5 8.f	6 8.6	8.6	8.3	8.3	8.3 8.	3 8.1	<mark>16.1</mark>	15.9 1	5.9 1	5.9 15.	9 15.4	15.4	15.4 15	.4 18.5	18.5 1	16.4 16	5.4 16.4	4 16.4	14.5	<mark>14.5</mark> 1	<mark>4.5</mark> 14.	5 12.3	12.3 1	2.3 12.3	3 9.7	9.7	9.7 9.	.7 8.7	4.3	4.3	4.3
₽	10km	6	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.4 7	7.4 7	.4 7.4	4 7.4	7.4	6.7	6.7	6.7	5.7 E	.5 6.	6.5	6.5	9.6	9.6	9.4 9	9.4 9	.4 9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8 8	3.8 8	.8 8.1	.8 8.6	5 8.f	6 8.6	8.6	8.3	8.3	8.3 8.	3 8.1	<mark>16.1</mark>	16.1 1	6.1 1	5.9 15.	9 15.9	15.9	15.4 15	.4 18.5	18.5 1	18.5 18	3.5 16.4	4 16.4	16.4	<mark>16.4</mark> 1	<mark>4.5</mark> 14.	5 14.5	14.5 1	2.3 12.3	3 12.3	12.3	9.7 9.	.7 8.7	4.3	4.3	4.3
~		7	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.4 7	7.4 7	.4 7.4	4 7.4	7.4	6.7	6.7	6.7	5.7 E	.7 6.	6.5	6.5	9.9	9.9	9.6	9.6 9	.4 9.4	9.1	9.1	9.1	9.1	8.8 8	3.8 8	.8 8.1	.8 8.8	3 8.8	8 8.6	8.6	8.6	8.6	8.3 8.	3 8.1	<mark>16.1</mark>	16.1 1	6.1 1	5.9 15.	9 15.9	15.9	15.4 15	.4 15.4	15.4 1	18.5 18	3.5 <mark>18.</mark> 5	5 18.5	16.4	<mark>16.4</mark> 1	6.4 16. [,]	4 14.5	14.5 1	<mark>4.5</mark> 14.5	5 <mark>12.3</mark>	12.3	9.7 9.	.7 8.7	4.3	4.3	4.3
ŀ	0km	8	7.8	7.8	7.8	7.8	7.6 7.	6 7.6	7.6	7.6 7	7.6 7	.4 7.4	4 7.4	7.4	7.4	7.4	6.7	5.7 C	.7 6.	6.5	6.5	9.9	9.9	9.6	9.6 9	.4 9.4	4 9.1	9.1	9.1	9.1	9.1 9).1 8	.8 8.(.8 8.8	3 8.8	8 8.6	8.6	8.6	8.6	8.3 8.	3 8.3	33.3	32.2 3	32.2 33	2.2 32.	2 31.8	31.8	30.7 30	.7 30.7	30.7	37.0 37	7.0 37.0	0 37.0	37.0	37.0 3	2.8 32.	8 32.8	32.8 2	8.9 28.9	24.6	24.6 1	9.4 19.	4 17.4	4.3	4.3	4.3
	• •	すべ	り5) 布	う の	香石	引は	上言	己波	源	Eデ	ĨIJ	যত)各	小心	断層	副こ	対	,元	側	から	東	[]](;	順	1	列	から	38	3列	ま7	恋設	定	。名	·列	は	w.e	e(E)	2列	15	行害	l. ß	幸伹	ーから	ら海	濜	鮋倜	III(こ	1行	から	8行	まて	~i	定。	,												_

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位話	成県の津波特性評価手法1に 置を東へ10kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.4×10 ²²
工中四11官	平均すべり量 (m)	8.0
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積* (km²)	34,655
注实系列	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²
四川四大/	平均すべり量 (m)	13.6
	最大すべり量 (m)	37.0

検討波源モデル2



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を基準位置としたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海通の呂城県の津波特) 性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.4×10 ²²	9.0	2.9	18.5	8.0
大すべり域の位置を基準位置と したケース	浅部断層	34,655	2.4×10 ²²	-	-	37.0	13.8



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

										- 1	(欠す)	心风	宗 て	テル	(2)		不追	り、時	リと	小水り	長の	洋池	又行	1土吉	₩1Щ	ナカ	7 1	ICD.	9t	アル)								
		西	$\langle \Box$								<u></u>	大す	べり	域(D位i	置を	基述	11日本	置と	した	ケ-	-スの)/]\	断層	副の	すべり)量;	分布	ī (r	n)			_				[\Rightarrow	東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.6	7.6	7.4	7.4	7.2	7.2	6.5	6.3	6.1	6.0	6.0	5.8	5.7	5.7	5.5	5.5	5.5	5.3	5.3	5.3	5.2	5.2	5.1	5.1	4.9	5.3	4.6	4.6	3.9	3.9	3.1	3.1	3.1	3.1	2.8	2.8	2.0	2.0
	2	7.6	7.6	7.4	7.4	7.2	7.2	6.5	6.3	6.3	6.1	6.0	6.0	5.8	5.7	5.5	5.5	5.5	5.3	5.3	5.3	5.2	5.2	5.1	5.1	4.9	5.3	5.3	4.6	4.6	3.9	3.9	3.9	3.1	3.1	3.1	2.8	2.8	2.0
20km↓	3	7.6	7.6	7.4	7.4	7.2	7.2	6.5	6.5	6.3	6.1	6.1	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3	3.1
	4	7.6	7.6	7.4	7.4	7.2	7.2	6.5	6.5	6.3	6.3	6.1	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.3	8.1	<mark>16.1</mark>	15.9	<mark>15.9</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>18.5</mark>	<mark>16.4</mark>	<mark>16.4</mark>	14.5	12.3	12.3	12.3	<mark>12.3</mark>	9.7	<mark>9.7</mark>	4.3	3.1
	5	7.6	7.6	7.4	7.4	7.2	7.2	7.2	6.5	6.5	6.3	6.1	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.3	16.1	15.9	<mark>15.9</mark>	15.4	15.4	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	12.3	9.7	9.7	4.3	4.3
10km↓	6	7.6	7.6	7.4	7.4	7.2	7.2	7.2	6.5	6.5	6.3	6.3	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	16.1	16.1	15.9	15.9	15.4	<mark>18.5</mark>	18.5	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	12.3	9.7	4.3	4.3
	7	7.6	7.6	7.4	7.4	7.2	7.2	7.2	6.5	6.5	6.5	6.3	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	16.1	16.1	<mark>15.9</mark>	15.9	15.4	<mark>15.4</mark>	18.5	18.5	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	<mark>9.7</mark>	4.3	4.3
0km↓	8	7.6	7.6	7.4	7.4	7.4	7.2	7.2	7.2	6.5	6.5	6.3	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3														19.4	4.3	4.3

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータ

	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.4×10 ²²
土山四川昌	平均すべり量 (m)	8.0
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積 [※] (km²)	34,655
准剑新国	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²
	平均すべり量 (m)	13.8
	最大すべり量 (m)	37.0



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.9
大すべり域の位置を西へ10kmと したケース	浅部断層	34,655	2.4×10 ²²	-	-	37.0	13.9



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース

																			検	討	波	源	!E	テノ	1	2)	([17	下行	事だ	冓の) 돈	己圹	戓隽	₹Ø,)津	波	特	性	眫	曲	手法	去 :	1 (5	3Ŧ	テ	ル)													
				Þ	Ь	\leftarrow													0	ワナ	<u>२</u> व	トベ	(Ŋ:	域(の	Ϋ́	置を	を世	ΞΛ	\1	0k	m	IL	た	ケ	-7	ての	小	断	層($\mathcal{D}\overline{\mathfrak{s}}$	すべ	り	量分	分才	Б	(m)									ſ	\Rightarrow	亰	Ē	
[深度	Π	1		2	3		4	5		6		7	8		9	· 1	0	11		12	1	3	14		15	1	6	17	T	18	1	9	20		21	22		23	24	1	25	26	5	27	28		29	30		31	32		33	34	3	5	36	3	7	38
<u>∧ </u>	40km↓		we	e w	e	W	e١	v e	w	e	we	w	е	W	еl	v e	W	е	we	e w	/ e	W	е	we	e w	/ e	W	е	w e	e v	v e	w	е	w	e v	/ e	w	e w	e	W	e v	v e	W	еv	v e	W	e w	e e	W	e w	v e	W	e w	e	w e	w	e	<i>w</i> e	w	e v	N e
<u></u>	30km↓	1	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.	2 7.0	7.0	7.0 7	.0 6.4	1 6.4	6.2	6.2	5.0 6.	.0 5.	5.9	5.9 5	5.9 5.	.7 5.7	5.5	5.5	5.5 5	5.5 5.	.4 5.4	5.4	5.4	5.4 5	5.4 5	.2 5.2	5.2	5.2	5.2	5.2 5	.0 5.0	5.0	5.0 5.	0 5.0	5.0	5.0 4	1.8 4.8	5.1	5.1	1.5 4.5	4.5	4.5 3.	8 3.8	3.8	3.8 3.	.0 3.0	3.0	3.0 3.	0 3.0	3.0 3.	.0 2.7	2.7	2.7 2.	7 2.0	2.0 2	2.0 2.0
<u>원</u>		2	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.	2 7.0	7.0	7.0 7	.0 6.4	4 6.4	6.2	6.2	5.2 6.	.2 6.	6.0	5.9 5	5.9 5.	.9 5.9	5.7	5.7	5.5 5	5.5 5.	.4 5.4	5.4	5.4	5.4 5	5.4 5	.2 5.2	5.2	5.2	5.2	5.2 5	.0 5.0	5.0	5.0 5.	0 5.0	5.0	5.0 4	1.8 4.8	5.1	5.1	.1 5.1	4.5	4.5 4.	5 4.5	3.8	3.8 3.	.8 3.8	3.8	3.8 3.	0 3.0	3.0 3.	.0 3.0	3.0	2.7 2.	7 2.7	2.7 2	2.0 2.0
_	20km↓	3	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.2	7.0	7.0	7.0 7	.0 6.4	1 6.4	6.4	6.4	5.2 6.	.2 6.	6.0	6.0 6	5.0 9	.4 9.4	9.1	9.1	9.1 9	9.1 8.	.8 8.8	8.8	8.8	8.6 8	3.6 8	J.6 8.6	8.3	8.3	8.3 8	3.3 8	.3 8.3	8.1 8	3.1 8.	1 8.1	8.0	8.0	7.7 7.7	7.7	7.7 8	1.2 8.2	8.2	8.2 7.	2 7.2	7.2	7.2 6.	.1 6.1	6.1	6.1 6.	1 6.1	4.9 4.	.9 4.9	4.9	4.3 4.	3 4.3	4.3 3	3.1 3.1
_ [4	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.2	7.0	7.0	7.0 7	.0 6.4	1 6.4	6.4	6.4	5.2 6.	.2 6.1	6.2	6.0 6	5.0 9	.4 9.4	9.4	9.4	9.1 9	9.1 8.	.8 8.8	8.8	8.8	8.6 8	3.6 8	J.6 8.6	8.6	8.6	8.3 8	3.3 8	.3 8.3	8.1 <mark>1</mark> 6	5.1 16.	1 16.1	15.9 1	5.9 19	5.9 15.9	15.4	15.4 18	18.5	<mark>16.4</mark> 1	6.4 <mark>16</mark> .	4 16.4	14.5 1·	<mark>4.5</mark> 12	.3 12.3	12.3 1	<mark>2.3</mark> 12.	<mark>3</mark> 12.3	12.3 <mark>12</mark> .	.3 9.7	9.7	<mark>9.7</mark> 4.	9 4.3	4.3 3	3.1 3.1
計		5	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.3	7.0	7.0	7.0 7	.0 7.0	7.0	6.4	6.4	5.4 6.	.4 6.	6.2	6.0 6	5.0 9.	.6 9.6	9.4	9.4	9.4 9	9.4 9.	.1 9.1	8.8	8.8	8.8 8	3.8 8	J.6 8.6	8.6	8.6	8.6 8	3.6 8	.3 8.3	8.3 <mark>1</mark> 6	5.7 16.	1 16.1	15.9 1	5.9 19	5.9 15.9	15.4	15.4 1	.4 15.4	18.5 1	8.5 16.	4 16.4	16.4 1	<mark>6.4</mark> 14.	.5 14.5	14.5 1	<mark>4.5</mark> 12.	<mark>3 12.3</mark>	12.3 12.	.3 9.7	9.7	<mark>9.7</mark> 4.	9 4.3	4.3	4.3 4.3
県	10km↓	6	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.	7.0	7.0	7.0 7	.0 7.0	7.0	6.4	6.4	5.4 6.	.4 6.	6.2	6.2 6	5.2 9.	.6 9.6	9.4	9.4	9.4 9	9.4 9.	.1 9.1	8.8	8.8	8.8 8	3.8 8	9.8 8.8	8.6	8.6	8.6 8	3.6 8	.3 8.3	8.3 16	5.7 16.	1 16.1	16.1 1	6.1 15	5.9 15.9	15.9	15.9 1	.4 15.4	18.5 1	8.5 18.	5 18.5	16.4 1	<mark>6.4</mark> 16.	.4 16.4	14.5 1	<mark>4.5</mark> 14.	<mark>5 14.5</mark>	12.3 12.	.3 12.3	12.3	<mark>9.7</mark> 4.	9 4.3	4.3 4	4.3 4.3
7		7	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.2	7.0	7.0	7.0 7	.0 7.0	7.0	6.4	6.4	5.4 6.	.4 6.	6.4	6.2 6	5.2 9	.9 9.9	9.6	9.6	9.4 9	9.4 9.	.1 9.1	9.1	9.1	8.8 8	3.8 8	8.8	8.8	8.8	8.6 8	3.6 8	.6 8.6	8.3 <mark>1</mark> 6	5.7 16.	1 16.1	16.1 1	6.1 15	5.9 15.9	15.9	15.9 1!	.4 15.4	<mark>15.4</mark> 1	5.4 18.	5 18.5	18.5 1	<mark>8.5</mark> 16	.4 16.4	16.4 1	<mark>6.4</mark> 14.	5 14.5	14.5 14.	.5 12.3	12.3	<mark>9.7</mark> 4.	9 4.3	4.3	4.3 4.3
₽	0km↓	8	7.5 7	.5 7.5	5 7.5	7.2	7.2	7.2 7.2	2 7.2	7.2	7.0 7	.0 7.0	7.0	7.0	7.0	5.4 6.	.4 6	6.4	6.2 6	5.2 9	.9 9.9	9.6	9.6	9.4	9.4 9.	.1 9.1	9.1	9.1	9.1 9).1 e	3.8 8.0	8.8	8.8	8.6 8	3.6 8	.6 8.6	8.3 33	3.3 33.		32.2 3	32.2 32	2.2 32.2	31.8	31.8 30	0.7 30.7	30.7 3	0.7 37.	0 37.0	37.0 3	7.0 37	.0 37.0	32.8 3	2.8 32.	8 32.8	28.9 28.	.9 24.6	24.6 1	<mark>9.4</mark> 4.	9 4.3	4.3	4.3 4.3
	• 0	トベー	つ分	布σ)番	号()	t ŀ	記》	支源	iŦ5	řル	図の)各	小財	沂厦	1 (- 5	対し	,西(訓か	らす	巨個	(_)	盾に	1列	ーか	63	8列	11:7	~設	定	。各	.列((tv	v.el	-2	列に	分割		陸個	ーから	ら海	諸	由但	1(-1	行力	1168	行	まで	设定	2											

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位言	成県の津波特性評価手法1に 置を西へ10kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
土山四川昌	平均すべり量 (m)	7.9
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積 [※] (km²)	34,655
洋鸟形网	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²
四川四大/	平均すべり量 (m)	13.9
	最大すべり量 (m)	37.0

検討波源モデル2



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.9
大すべり域の位置を西へ20kma したケース	浅部断層	34,655	2.4×10 ²²	-	-	37.0	14.1

□□ 波源域(津波断層域)	
↓ 大すべり域(平均すべり量の2×0.95倍=(1.9倍))	津波断層域の
┃ ■■■ 超大すべり域(平均すべり量の4×0.95倍=(3.8倍))	全面積の約20%
背景領域	
基本すべり域	

検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

										木	 	版	泉モ	テル	(2)	(日	本泊	師	の呂	城	県の	津洲	 支 特	作生計	半価	手況	51(CT,	5£.	テル)								
	_	西	\Diamond								のフ	たす	べり	域の	位置	置を	西へ	20	km	とした	こケ-	-70	の小	断層	層の	すべ	り量	分在	Б (<u>m)</u>								\Rightarrow	東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9	6.9	6.2	6.0	5.9	5.7	5.7	5.5	5.4	5.4	5.2	5.2	5.2	5.1	5.1	5.1	4.9	4.9	4.9	4.9	4.7	5.0	4.4	4.4	3.7	3.7	3.0	3.0	3.0	3.0	2.6	2.6	1.9	1.9
	2	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9	6.9	6.2	6.0	6.0	5.9	5.7	5.7	5.5	5.4	5.2	5.2	5.2	5.1	5.1	5.1	4.9	4.9	4.9	4.9	4.7	5.0	5.0	4.4	4.4	3.7	3.7	3.7	3.0	3.0	3.0	2.6	2.6	1.9
20km↓	3	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9	6.9	6.2	6.2	6.0	5.9	5.9	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3	3.1
	4	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9	6.9	6.2	6.2	6.0	6.0	5.9	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	8.3	<mark>16.1</mark>	<mark>16.1</mark>	<mark>15.9</mark>	<mark>15.9</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>18.5</mark>	<mark>16.4</mark>	<u>16.4</u>	<mark>14.5</mark>	12.3	12.3	<mark>12.3</mark>	<mark>12.3</mark>	<mark>9.7</mark>	4.9	4.3	3.1
	5	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9	6.2	6.2	6.0	5.9	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	16.7	16.1	15.9	15.9	15.4	15.4	18.5	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	12.3	<mark>9.7</mark>	4.9	4.3	4.3
10km↓	6	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9	6.2	6.2	6.0	6.0	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	<mark>16.7</mark>	<mark>16.1</mark>	16.1	15.9	15.9	15.4	18.5	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	12.3	4.9	4.3	4.3
	7	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9	6.2	6.2	6.2	6.0	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	16.7	16.1	16.1	15.9	15.9	15.4	15.4	18.5	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	<mark>14.5</mark>	12.3	4.9	4.3	4.3
0km↓	8	7.3	7.3	7.0	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9	6.2	6.2	6.0	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	33.3	33.3	32.2	32.2	31.8	30.7	30.7	37.0	37.0	37.0	32.8	32. <mark>8</mark>	28.9	<mark>24.6</mark>	4.9	4.3	4.3

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位置	成県の津波特性評価手法1に 置を西へ20kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
二 二 四 四 四 四	平均すべり量 (m)	7.9
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積* (km²)	34,655
洋河新南	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²
	平均すべり量 (m)	14.1
	最大すべり量 (m)	37.0

検討波源モデル2



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.8
大すべり域の位置を西へ30kmと したケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	37.0	14.3



検討波源モテル(2) (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース

																	7	険	寸测	支 测	泉モ	テ	ル(2)	([17	下泪	鈩漳	毒の)宮	城	県(D沣	認	特	性調	半伯	助手	法	1(こよ	ЗŦ	テノ	ル)												
				Þ	5 ·	\ominus												の	大	व /	べり	域	, שי	位記	置を	を西	50	.3(Jkr	nŁ	11	こク	;	スの)小	断	菌の)す/	べり	量;	分花	त	(m)									\Rightarrow	東	Ē	
[深度	П	1		2	3	4		5	6	·	7	8		9	10		11	12		13	14	4	15	1	6	17	1	8	19	2	0	21	22	2	23	24	25	2	26	27	28	2	29	30	3.	1	32	33	3	34	35	36	3	7	38
∧ I	40km↓		we	e w	е	w e	W	e w	/ e	we	w	е	we	e w	е	we	e w	v e	W	e v	/ e	W	еN	<i>w</i> e	W	e	w e	w	е	we	e w	e١	<i>w</i> e	w	e w	e	w e	we	e w	е	w e	w	<mark>e w</mark>	e	w e	w	e v	N e	wε	e w	e v	v e	wε	w	e v	v e
Ë[30km↓	1	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.7 6.7	6.7 6	.7 6.1	6.1	5.9 5	5.9 5.3	5.7	5.6	5.6 5	.6 5.6	5.4	5.4 5	.3 5.3	5.3	5.3	5.1 5.1	1 5.1	5.1	5.1 5.	.1 5.0	5.0	5.0 5	5.0 5.0	5.0	4.8 4.8	4.8	4.8 4.	7 4.7	4.7 4.	7 4.6 4	.6 4.9	4.9	4.3 4.3	8 4.3	4.3 3.7	7 3.7	3.7 3.	7 2.9	2.9 2	2.9 2.9	2.9 2	.9 2.9	2.9 2	2.6 2.6	2.6 2	.6 1.9	1.9 1	.9 1.9
逊[2	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.7 6.7	6.7 6	.7 6.1	6.1	5.9 5	5.9 5.9	5.9	5.7 5	5.7 5.	.6 5.6	5.6	5.6 5	.4 5.4	5.3	5.3	5.1 5.1	1 5.1	5.1	5.1 5.	.1 5.0	5.0	5.0 5	6.0 5.0	5.0	4.8 4.8	4.8	4.8 4.	7 4.7	4.7 4.	7 4.6 4	.6 4.9	4.9	4.9 4.9	4.3	4.3 4.3	3 4.3	3.7 3.	7 3.7	3.7 🗧	3.7 3.7	2.9 2	.9 2.9	2.9 2	2.9 2.9	2.6 2	.6 2.6	2.6 1	.9 1.9
_	20km↓	3	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.7 6.7	6.7 6	.7 6.1	6.1	6.1 6	5.1 5.9	5.9	5.7 5	5.7 5	.7 5.7	9.4	9.4 9	.1 9.1	9.1	9.1	8.8 8.1	8 8.8	8.8	8.6 8.	.6 8.6	8.6	8.3 8	8.3 8.3	8.3	8.3 8.3	8.1	8.1 8.	1 8.1	8.0 8.	7.7	.7 7.7	7.7	8.2 8.2	8.2	3.2 7.2	2 7.2	7.2 7.	2 6.1	6.1 €	5.1 6.1	6.1 6	.1 4.9	4.9 4	1.9 4.9	4.3 4	.3 4.3	4.3 3	3.1 3.1
_[4	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.7 6.7	6.7 6	.7 6.1	6.1	6.1 6	5.1 5.9	5.9	5.9 5	5.9 5	.7 5.7	9.4	9.4 9	.4 9.4	9.1	9.1	8.8 8.	8 8.8	8.8	8.6 8.	.6 8.6	5 8.6	8.6 8	8.6 8.3	8.3	8.3 <mark>16.</mark>	16.1 1	6.1 16.	1 16.1	15.9 15.	9 15.9 15	.9 15.4	15.4	8.5 18.	5 <mark>16.4</mark> 1	5.4 <mark>16.4</mark>	4 16.4 1	14.5 14.	5 12.3	12.3 12	2.3 12.3	12.3 12		3 <mark>12.3</mark> 9	<mark>).7</mark> 4.9	4.9 4	.9 4.3	4.3 3	3.1 3.1
計		5	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.7 6.7	6.7 6	.7 6.7	6.7	6.1 6	5.1 6.1	6.1	5.9 5	5.9 5	.7 5.7	9.6	9.6 9	.4 9.4	9.4	9.4	9.1 9.1	1 8.8	8.8	8.8 8.	.8 8.6	5 8.6	8.6 8	8.6 8.6	8.6	8.3 <mark>16.</mark>	16.7 1	6.7 16.	1 16.1	15.9 15.	9 15.9 15	.9 <mark>15.</mark> 4	15.4 1	5.4 15.4	18.5	3.5 <mark>16.4</mark>	4 16.4 1	16.4 16.	4 14.5	14.5 1 ²	4.5 14.5	12.3 12	3 12.3	3 12.3 9	<mark>).7</mark> 4.9	4.9 4	.9 4.3	4.3 4	1.3 4.3
県	10km↓	6	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.7 6.7	6.7 6	.7 6.7	6.7	6.1 6	5.1 6.1	6.1	5.9 5	5.9 5	.9 5.9	9.6	9.6 9	.4 9.4	9.4	9.4	9.1 9.1	1 8.8	8.8	8.8 8.	.8 8.8	8.8	8.6 8	8.6 8.6	8.6	8.3 <mark>16.1</mark>	16.7 1	6.7 16.	1 16.1	16.1 16.	1 15.9 15	.9 15.9	15.9	5.4 15.4	1 <mark>18.5</mark> 1	3.5 <mark>18.</mark> 5	5 18.5 1	16.4 16.	4 16.4	16.4 1 [,]	4.5 14.5	14.5 14	.5 12.3	s 12.3 12	2.3 6.1	4.9 4	.9 4.3	4.3 4	1.3 4.3
_		7	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.7 6.7	6.7 6	.7 6.7	6.7	6.1 6	5.1 6.1	6.1	6.1 6	5.1 5.	.9 5.9	9.9	9.9 9	.6 9.6	9.4	9.4	9.1 9.1	1 9.1	9.1	8.8 8.	3.8 8.	8.8	8.8 8	8.8 8.6	8.6	8.6 <mark>17.2</mark>	16.7 1	6.7 16.	1 16.1	16.1 16.	15.9 15	.9 15.9	15.9	5.4 15.4	15.4 1	5.4 <mark>18.</mark> 5	5 18.5 1	18.5 18.	5 16.4	16.4 16	5.4 16.4	14.5 14	<mark>5</mark> 14.5	3 14.5 12	2.3 6.1	4.9 4	.9 4.3	4.3 4	1.3 4.3
V	0km↓	8	7.1 7	7.1 7.1	7.1	6.9 6.9	6.9	6.9 6.	.9 6.9	6.7 6	.7 6.7	6.7	6.7 6	5.7 6.1	6.1	6.1 6	5.1 5	.9 5.9	9.9	9.9 9	.6 9.6	9.4	9.4	9.1 9.1	1 9.1	9.1	9.1 9.	.1 8.8	8.8	8.8 8	8.8 8.6	8.6	8.6 <mark>34.4</mark>	33.3 3	3.3 33.		32.2 32.3	2 32.2 32	.2 31.8	31.8	0.7 30.7	30.7 3	D.7 37.0) 37.0 E	37.0 37.	D 37.0	37.0 32	2.8 32.8	32.8 32	8 28.9	28.9 24	.6 6.1	4.9 4	.9 4.3	4.3 4	1.3 4.3
	• 9	たべ	り分	布の)番;	寻は.	上記	波	原モ	デル	図の)各	小渺	層	にす	tし更	5 便	から	東	則(こ	順(13ء	列カ	53	8列	まて	設	定。	各?	列(よ	w,e	e(22	列(分	割。	陸側	から	海溝	軸侧	則(こ)	1行/	58	行ま	Fで言	錠	。										

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位置	検討波源モデル② 成県の津波特性評価手法1に 置を西へ30kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
土山(四))冒	平均すべり量 (m)	7.8
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積* (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
	平均すべり量 (m)	14.3
	最大すべり量 (m)	37.0



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海海の呂城県の津波特) 性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.8
大すべり域の位置を西へ40kmと したケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	37.0	14.4



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

										木		波》	原モ	デル	2	(日	本治	 事 溝	の宮	城	県の	津派	支特	性評	平価	手泛	51	によ	るモ	デル)								
		西	$\langle \neg$								のフ	とす	べり	或の	位置	置を	西へ	40	kma	とした	こケ	-7	の小	断層	層の	すべ	り量	分花	帀 (m)							I		東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.0	7.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.0	5.8	5.6	5.5	5.5	5.3	5.2	5.2	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.8	4.2	4.2	3.6	3.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	1.8	1.8
	2	7.0	7.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.0	5.8	5.8	5.6	5.5	5.5	5.3	5.2	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.8	4.8	4.2	4.2	3.6	3.6	3.6	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	1.8
20km↓	3	7.0	7.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.6	5.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3	3.1
	4	7.0	7.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.8	5.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	<mark>16.7</mark>	16.1	<mark>16.1</mark>	15.9	<mark>15.9</mark>	15.4	<mark>18.5</mark>	<mark>16.4</mark>	<mark>16.4</mark>	14.5	12.3	12.3	12.3	<mark>12.3</mark>	4.9	4.9	4.3	3.1
	5	7.0	7.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.6	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	16.7	16.7	<mark>16.1</mark>	15.9	<mark>15.9</mark>	15.4	15.4	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	12.3	4.9	4.9	4.3	4.3
10km↓	6	7.0	7.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.8	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	<mark>16.7</mark>	16.7	<mark>16.1</mark>	16.1	<mark>15.9</mark>	15.9	15.4	<mark>18.5</mark>	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3 ⁻	6.1	4.9	4.3	4.3
	7	7.0	7.0	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	6.0	5.8	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	17.2	16.7	<mark>16.1</mark>	16.1	<mark>15.9</mark>	<u>15.9</u>	<mark>15.4</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>18.5</mark>	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	<mark>14.5</mark>	6.1	4.9	4.3	4.3
0km↓	8	7.0	7.0	6.7	6.7	6.7	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	34.4	33.3	33.3	32.2	32.2	31.8	30.7	30.7	37.0	37.0	37.0	32.8	32.8	28.9	6.1	4.9	4.3	4.3

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位言	検討波源モデル② 成県の津波特性評価手法1に 置を西へ40kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十四新國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
土山四川昌	平均すべり量 (m)	7.8
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積* (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
	平均すべり量 (m)	14.4
	最大すべり量 (m)	37.0



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量

	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.8
浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	37.0	14.3
	全体 主部断層 浅部断層	面積 (km ²) 全体 144,379 主部断層 109,725 浅部断層 34,655	面積 (km²) M₀ (Nm) 全体 144,379 6.8×10 ²² 主部断層 109,725 4.3×10 ²² 浅部断層 34,655 2.5×10 ²²	面積 (km ²) M ₀ (Nm) Mw 全体 144,379 6.8×10 ²² 9.2 主部断層 109,725 4.3×10 ²² 9.0 浅部断層 34,655 2.5×10 ²² -	面積 (km ²) M ₀ (Nm) Mw Δσ (MPa) 全体 144,379 6.8×10 ²² 9.2 3.0 主部断層 109,725 4.3×10 ²² 9.0 2.9 浅部断層 34,655 2.5×10 ²² - -	面積 (km ²) M ₀ (Nm) Mw Δσ (MPa) 最大 すべり量(m) 全体 144,379 6.8×10 ²² 9.2 3.0 37.0 主部断層 109,725 4.3×10 ²² 9.0 2.9 18.5 浅部断層 34,655 2.5×10 ²² - - 37.0



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース

																		木	剣	寸沥	安派	泉Ŧ	テ	ル	(2)	(H.	本	海	溝(ወ¦	名)	成り	県(D泪	≛沢	狩	뱀	評伯	曲	手法	去 1	L (c	5	3Ŧ	テノ	レ)														
				世	9	\Diamond													の	大	م	χŗ)域	ர்ற	位	置	を	西	<u>∿5</u>	50l	ĸn	nŁ	した	こク	;	20)/]	、断	層	の	すべ	り	量分	分右	<u>ج</u> (m)										\Rightarrow	亰	良		
Γ	深度	П	1		2	3		4	5		6	7		8	g		10	1	11	12		13	1	4	15		16	1	7	18		19	20)	21	2	2	23	24	ŀ	25	26	;	27	28	2	29	30	3	31	32	<u>:</u> _	33	34		35	36	3	7	38	3
γĽ	40km↓		w e	w	е	we	e w	/ e	w	e v	v e	W	e v	v e	w	e	<i>w</i> e	W	е	W	e v	v e	W	е	we	e v	v e	w	е	w e	e v	v e	w	еN	v e	w	e	w e	W	e v	v e	W	e v	v e	W	e w	е	we	e w	e	W	e v	l e	w (e w	v e	w e	w	e	w	е
	30km↓	1	7.1 7.	.1 7.1	7.1	6.9 6	5.9 6.	.9 6.9	6.7	6.7 6	.7 6.7	6.0	6.0 5	5.9 5.9	5.7	5.7	5.6 5.	6 5.6	5.6	5.4	5.4 5	5.2 5.	2 5.2	5.2	5.1	5.1 5	.1 5.1	5.1	5.1	4.9 4	4.9 4.	.9 4.9	4.9	4.9 ·	4.8 4.	3 4.8	4.8	4.7 4.7	7 4.7	4.7 4	4.6 4.6	4.9	4.9 4	.3 4.3	4.3	4.3 3.6	5 3.6	3.6	8.6 2.9	2.9	2.9	2.9 2	.9 2.9	2.9 2	2.9 2.	.6 2.6	2.6 2	.6 1.9	1.9	1.9	1.9
Ĥ	2 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71															2.6 2	.6 2.6	2.6	1.9	1.9																																									
	2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2															4.3 4	.3 4.3	4.3	3.1	3.1																																									
_ [20km 1 3 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71 71															4.9 4	.9 4.3	4.3	3.1	3.1																																									
₽		5	7.1 7.	.1 7.1	7.1	6.9 6	5.9 6.'	.9 6.9	6.7	6.7 6	.7 6.7	6.7	6.7 6	6.0 6.0	6.0	6.0	5.9 5.	9 5.7	7 5.7	9.6	9.6 9).4 9.	4 9.4	9.4	9.1	9.1 8	.8 8.8	8.8	8.8	8.6 8	3.6 8	.6 8.6	8.6	8.6 <mark>1</mark>	6.7 16.	7 16.7	16.7 1	6.1 16.1	1 15.9 1	5.9 15	5.9 15.9	<mark>15.4</mark> 1	5.4 15	.4 15.4	18.5 1	3.5 <mark>16.</mark> 4	4 16.4	16.4 16	5.4 14.9	5 14.5	14.5 1	<mark>4.5</mark> 12	.3 12.3	12.3 (6.1 4.	.9 4.9	4.9 4	.9 4.3	4.3	4.3	4.3
‡	10km↓	6	7.1 7.	.1 7.1	7.1	6.9 6	5.9 6.	.9 6.9	6.7	6.7 6	.7 6.7	6.7	6.7 6	5.0 6.0	6.0	6.0	5.9 5.	9 5.9	5.9	9.6	9.6 9	9.4 9.4	4 9.4	9.4	9.1	9.1 8	.8 8.8	8.8	8.8	8.8 8	3.8 8	.6 8.6	8.6	8.6 1	6.7 16.	7 16.7	16.7 1	6.1 16.	1 16.1 1	6.1 15	5.9 15.9	15.9 1	5.9 15	.4 15.4	<mark>18.5</mark> 1	3.5 <mark>18.</mark> 5	5 18.5	16.4 1e	5.4 16.4	4 16.4	14.5 1	<mark>4.5</mark> 14	.5 14.5	12.3 (6.1 6.	.1 6.1	4.9 4	.9 4.3	4.3	4.3	4.3
	10 km 1 km														4.3	4.3	4.3																																												
ļ	0km↓	8	7.1 7.	.1 7.1	7.1	6.9 6	5.9 6.	.9 6.9	6.9	6.9 6	.7 6.7	6.7	6.7 6	6.7 6.7	7 6.0	6.0	6.0 6.	0 5.9	5.9	9.9	9.9	9.6 9.	5 9.4	9.4	9.1	9.1 9	.1 9.1	9.1	9.1	8.8 8	3.8 8	.8 8.8	8.6	8.6 <mark>3</mark>	4.4 34.4	4 33.3	33.3 3	3.3 33.3	3 32.2 3	2.2 32	2.2 32.2	31.8	1.8 30	.7 30.7	30.7 3).7 37.0	37.0	37.0 37	.0 37.0	37.0	32.8 3	2.8 32	.8 32.8	<mark>28.9</mark> 3	7.2 6.	.1 6.1	4.9 4	.9 4.3	4.3	4.3	4.3
		- Nº K		左の	जर			≣⊐ tr	+いて-	`	° II 🔤	200	<u>ار ک</u>	1140	B	- ++	ı III	/Bil	50	吉/	311/-	- 川古	- 1 7	511+	100	207	511 +		几一 二	- *	7 51	1/+		1-2	石山		宝山	7先/	au - Sui	<u>></u> 注	い共市	ith /B1	1-1	7二十	<u> </u>	1/= -		几. 二	1			_							_	_	

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。各列はw,eに2列に分割。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10km の位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位言	成県の津波特性評価手法1に 置を西へ50kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
工中四11月	平均すべり量 (m)	7.8
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積** (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
四川ロズ	平均すべり量 (m)	14.3
	最大すべり量 (m)	37.0

検討波源モデル2



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
ļ	検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
ļ	(日本海海の呂城県の津波特 生評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.8
	大すべり域の位置を西へ60kmと 」たケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	37.0	14.2



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

										木	 	版》	原モ	テル	(2)	(日)	本泊	野 溝	の'呂	城	見の	津》	 安特	作生計	半価	手泛	51	によ	9£	テル)								
		西	\Diamond								のフ	たす	べり	域の	位置	置を	西へ	60	kma	とした	-ケ-	-7	の小	断層	層の	すべ	り量	分花	帀 (m)									東_
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.2	6.0	5.8	5.7	5.7	5.5	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.6	5.0	4.4	4.4	3.7	3.7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.6	2.6	1.9	1.9
	2	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.2	6.0	6.0	5.8	5.7	5.7	5.5	5.3	5.2	5.2	5.2	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.6	5.0	5.0	4.4	4.4	3.7	3.7	3.7	2.9	2.9	2.9	2.6	2.6	1.9
20km↓	3	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.2	6.2	6.0	5.8	5.8	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3	3.1
	4	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.2	6.2	6.0	6.0	5.8	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	8.3	16.7	16.1	<mark>16.1</mark>	15.9	<mark>15.9</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>18.5</mark>	<mark>16.4</mark>	16.4	<mark>14.5</mark>	12.3	12.3	<mark>12.3</mark>	6.1	4.9	4.9	4.3	3.1
	5	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.8	6.2	6.2	6.0	5.8	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	16.7	16.7	<mark>16.1</mark>	15.9	<mark>15.9</mark>	15.4	15.4	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	14.5	14.5	12.3	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3
10km↓	6	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.8	6.2	6.2	6.0	6.0	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	8.6	<mark>16.7</mark>	16.7	<mark>16.1</mark>	16.1	<mark>15.9</mark>	15.9	15.4	<mark>18.5</mark>	18.5	16.4	16.4	14.5	<mark>14.5</mark>	6.1	6.1	4.9	4.3	4.3
	7	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.8	6.2	6.2	6.2	6.0	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	17.2	16.7	<mark>16.1</mark>	16.1	<mark>15.9</mark>	<mark>15.9</mark>	15.4	15.4	18.5	<mark>18.5</mark>	16.4	16.4	<mark>14.5</mark>	7.2	6.1	4.9	4.3	4.3
0km↓	8	7.2	7.2	7.0	7.0	7.0	6.8	6.8	6.8	6.2	6.2	6.0	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	34.4	33.3	33.3	32.2	32.2	31.8	30.7	30.7	37.0	37.0	37.0	32.8	32.8	7.2	6.1	4.9	4.3	4.3

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位言	成県の津波特性評価手法1に 置を西へ60kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
土山四川昌	平均すべり量 (m)	7.8
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積** (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
1四1日文/	平均すべり量 (m)	14.2
	最大すべり量 (m)	37.0

検討波源モデル2



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.8
大すべり域の位置を西へ70kmと したケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	37.0	14.4



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケース

																			検	可	波	源	÷	テノ	12	2)	(E	12	に治	事清	角の)'돈	坜	识	<u>ි</u> ග	津	波1	哥们	生言	半伯	中于	法	1	129	5	£7	テル	,)													
				P	圯	\leftarrow	ו												Ø,)大	す	Т М	5	或(の1	立置	置を	r西	- -	.7(0k	m	EL	た	ケ-	-ス	ற	J\[新闻	層の) す ,	Ϋ́)量	分	伂	()	m)										Ę	> !	東		
Γ	深度	П	1		2	3	;	4	5		6	7	7	8		9	10)	11	1	2	1	3	14		15	1	6	17	1	18	19)	20	2	1	22	2	3	24	25	;	26	27	' j	28	29		30	31		32	33	3	34	35	3(6	37	38	8
γľ	40km↓		W	e w	v e	W	e١	w e	w	e v	v e	w	е	we	e w	е	W	e١	v e	w	е	w	e	we	e w	e	w	e	w e	e w	l e	w	e١	v e	w	e١	<i>w</i> e	W	е	w e	w	e v	v e	w	e w	e	w	e w	/ e	w	e w	e	w e	w	e	w e	W	e v	v e	w	е
<u></u> [30km↓	1	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9 6.9	9 6.7	6.7 6	6.7 6.7	7 6.1	6.1	5.9 5	.9 5.3	7 5.7	5.6	5.6	5.6 5.0	6 5.4	5.4	5.3	5.3	5.3 5	.3 5.	1 5.1	5.1	5.1	5.1 5	.1 5.	.0 5.0	5.0	5.0	5.0 5.0	4.8	4.8	4.8 4.	8 4.7	4.7	4.7 4.	4.6	4.6	1.9 4.9	4.3	4.3 4.	3 4.3	3.7	3.7 3.	.7 3.7	2.9	2.9 2.9	9 2.9	2.9 2	.9 2.9	9 2.9	2.6 2.	6 2.6	2.6 1	1.9 1.9) 1.9	1.9
Ĭ		2	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9 6.	9 6.7	6.7 6	5.7 6.7	7 6.1	6.1	5.9 5	.9 5.9	9 5.9	5.7	5.7	5.6 5.0	6 5.6	5.6	5.4	5.4	5.3 5	.3 5.	1 5.1	5.1	5.1	5.1 5	.1 5.	.0 5.0	5.0	5.0	5.0 5.0	4.8	4.8	4.8 4.	B 4.7	4.7	4.7 4.	4.6	4.6	1.9 4.9	4.9	4.9 4.	3 4.3	4.3	4.3 3.	.7 3.7	3.7 3	3.7 3.1	7 3.7	2.9 2	.9 2.9	9 2.9	2.9 2.9	9 2.6	2.6 2	2.6 2.6	5 1.9	1.9
	20km↓	3	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9 6.	9 6.7	6.7 6	5.7 6.7	7 6.1	6.1	6.1 6	i.1 5.9	9 5.9	5.7	5.7	5.7 5.	7 9.4	9.4	9.1	9.1	9.1 9	.1 8.	8 8.8	8.8	8.8	8.6 8	.6 8.	.6 8.6	8.3	8.3	8.3 8.3	8.3	8.3	8.1 8.	1 8.1	8.1	8.0 8.	7.7	7.7	7.7 7.7	8.2	8.2 8.	2 8.2	7.2	7.2 7.	2 7.2	6.1 6	5.1 6. ⁻	1 6.1	6.1 6	.1 4.9	9 4.9	4.9 4.9	9 4.3	4.3 4	4.3 4.3	3 3.1	3.1
_ [4	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9 6.	9 6.7	6.7 6	5.7 6.7	7 6.1	6.1	6.1 6	i.1 5.9	5.9	5.9	5.9	5.7 5.	7 9.4	9.4	9.4	9.4	9.1 9	.1 8.	8 8.8	8.8	8.8	8.6 8	.6 8.	.6 8.6	8.6	8.6	8.3 <mark>-16.</mark>	16.7	<mark>16.7</mark> 1	6.1 16.	1 16.1	16.1 1	5.9 15.	15.9 1	5.9 1 <u>5</u>	5.4 15.4	18.5 1	8.5 16.	4 16.4	<mark>16.4</mark> 1	6.4 14	.5 14.5	12.3 12	2.3 12.5	3 12.3	<mark>12.3</mark> 6	.1 6.1	1 6.1	4.9 4.9	9 4.9	4.9 4	4.3 4.3	3.1	3.1
計		5	7.1	7.1 7	.1 7.1	1 6.9	6.9	6.9 6.	9 6.7	6.7 6	5.7 6.7	7 6.7	6.7	6.1 6	i.1 6.'	1 6.1	5.9	5.9	5.7 5.	7 9.6	9.6	9.4	9.4	9.4 9	.4 9.	1 9.1	8.8	8.8	8.8 8	.8 8.	.6 8.6	8.6	8.6	8.6 <mark>17.2</mark>	16.7	16.7 1	6.7 16.	7 16.1	16.1 1	5.9 15.	15.9 1	5.9 15	5.4 15.4	15.4 1	5.4 18.	5 18.5	<mark>16.4</mark> 1	6.4 16	4 16.4	14.5 1 [,]	1.5 14. ¹	5 14.5	1 <mark>2.3</mark> 6	.1 6.1	1 6.1	4.9 4.9	9 4.9	4.9 4	4.3 4.3	3 4.3	4.3
₽ #	10km↓	6	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9 6.	9 6.7	6.7 6	5.7 6.7	7 6.7	6.7	6.1 6	i.1 6.'	1 6.1	5.9	5.9	5.9 5.9	9.6	9.6	9.4	9.4	9.4 9	.4 9.	1 9.1	8.8	8.8	8.8 8	.8 8.	.8 8.8	8.6	8.6	8.6 <mark>17.2</mark>	16.7	16.7 1	6.7 16.	7 16.1	16.1 1	6.1 16.	15.9 1	5.9 15	5.9 15.9	15.4 1	5.4 18.	5 18.5	<mark>18.5</mark> 1	8.5 16	4 16.4	16.4 1(5.4 14. ¹	5 14.5	<mark>14.5</mark> 7	.2 6.1	1 6.1	6.1 6.	1 4.9	4.9 4	4.3 4.3	4.3	4.3
		7	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9 6.	9 6.7	6.7 6	5.7 6.7	7 6.7	6.7	6.1 6	i.1 6. ⁻	1 6.1	6.1	6.1	5.9 5.9	9.9	9.9	9.6	9.6	9.4 9	.4 9.	1 9.1	9.1	9.1	8.8 8	.8 8.	.8 8.8	8.8	8.8	8.6 <mark>17.2</mark>	17.2	17.2 1	6.7 16.	7 16.1	16.1 1	6.1 16.	15.9 1	5.9 1 <u>5</u>	5.9 15.9	15.4 1	5.4 15.	4 15.4	18.5 1	8.5 18	5 18.5	16.4 1(5.4 16.4	4 16.4	1 <mark>4.5</mark> 7	.2 7.2	2 7.2	6.1 6.	1 4.9	4.9 4	4.3 4.3	3 4.3	4.3
}	0km↓	8	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9 6.	9 6.9	6.9 6	5.7 6.7	7 6.7	6.7	6.7 6	i.7 6.°	1 6.1	6.1	6.1	5.9 5.9	9.9	9.9	9.6	9.6	9.4 9	.4 9.	1 9.1	9.1	9.1	9.1 9	.1 8.	.8 8.8	8.8	8.8	8.6 <mark>34.4</mark>	34.4	34.4 3	3.3 33.	3 33.3	33.3 3	32.2 32.3	32.2 3	2.2 31	1.8 31.8	30.7 3	0.7 30.	7 30.7	37.0 3	7.0 37.	.0 37.0	37.0 31	1.0 32.1	8 32.8	3 <mark>2.8</mark> 8	.2 7.2	2 7.2	6.1 6.	1 4.9	4.9 4	4.3 4.3	3 4.3	4.3
	_		nЛ	+- /			+ L	.==>	कःत	— —	» н Б	20	10	1.140		1-4	+1 =		الله ال	\ =	/Bil	/—III	51-	1 70	145	200		+	= = ரு	<u> </u>	~	五山	+	-1-	25	11-	(八中)	1 17:	走 /回	1		Earth	/81/-	- 4 3-	- +> 1	0%	-+-	≂≡л	, <u> </u>								_		_		_

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。各列はw,eに2列に分割。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10km の位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮) の大すべり域の位	検討波源モデル② 城県の津波特性評価手法1に 置を西へ70kmとしたケースの断	よるモデル) 行層パラメータ
	項目	設定値
	面積* (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km ²)	109,725
<u>十</u> 如兆國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
上。中国/眉	平均すべり量 (m)	7.8
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積** (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
浅即町間	平均すべり量 (m)	14.4
	最大すべり量 (m)	37.0



主部断層:深さ10km以深の断層 浅部断層:深さ10km以浅の断層



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケース

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル②	(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル)
の大す	べり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル②	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	37.0	9.4
(日本海海の呂城県の津波特) 性評価手法1によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	18.5	7.8
大すべり域の位置を西へ80kmと したケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	37.0	14.4



検討波源モデル② (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

										木		波	原モ	デル	2	(日	本淮	事溝	の宮	城	県の	津派	支特	性評	平価	手泛	51	によ	るモ	デル	,)								
		西	$\langle \neg$								のフ	たす	べり	域の	位間	置を	西へ	80	kma	とした	こケ	-7	のリ	断層	鬙の	すべ	り量	分花	万 (m)	_								東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.0	7.0	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	5.8	5.6	5.5	5.5	5.3	5.2	5.2	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.8	4.2	4.2	3.6	3.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	1.8	1.8
	2	7.0	7.0	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	5.8	5.8	5.6	5.5	5.5	5.3	5.2	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.7	4.7	4.5	4.8	4.8	4.2	4.2	3.6	3.6	3.6	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	1.8
20km↓	3	7.0	7.0	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.6	5.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.3	8.3	8.3	8.1	8.1	8.0	7.7	7.7	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3	3.1
	4	7.0	7.0	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.8	5.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	8.6	16.7	16.7	16.1	<mark>16.1</mark>	15.9	<mark>15.9</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>18.5</mark>	<mark>16.4</mark>	16.4	14.5	12.3	<mark>12.3</mark>	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	3.1
	5	7.0	7.0	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.6	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.6	8.6	17.2	16.7	16.7	16.1	15.9	15.9	<mark>15.4</mark>	15.4	18.5	16.4	16.4	14.5	14.5	6.1	6.1	4.9	4.9	4.3	4.3
10km↓	6	7.0	7.0	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.8	9.6	9.4	9.4	9.1	8.8	8.8	8.8	8.6	17.2	16.7	16.7	<mark>16.1</mark>	16.1	<mark>15.9</mark>	<mark>15.9</mark>	15.4	<mark>18.5</mark>	18.5	16.4	16.4	<mark>14.5</mark>	7.2	6.1	6.1	4.9	4.3	4.3
	7	7.0	7.0	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	6.0	5.8	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	8.8	8.8	8.8	17.2	17.2	16.7	<mark>16.1</mark>	16.1	<mark>15.9</mark>	<mark>15.9</mark>	15.4	15.4	18.5	18.5	16.4	<mark>16.4</mark>	7.2	7.2	6.1	4.9	4.3	4.3
0km↓	8	7.0	7.0	6.8	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	9.9	9.6	9.4	9.1	9.1	9.1	8.8	8.8	34.4	34.4	33.3	33.3	32.2	32.2	31.8	30.7	30.7	37.0	37.0	37.0	32.8	8.2	7.2	6.1	4.9	4.3	4.3

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-3 検討波源モデル②のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位言	検討波源モデル② 成県の津波特性評価手法1に 置を西へ80kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	37.0
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
上司/约/眉	平均すべり量 (m)	7.8
	最大すべり量 (m)	18.5
	面積* (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
	平均すべり量 (m)	14.4
	最大すべり量 (m)	37.0



検討波源モデル②(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法1によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

主部断層:深さ10km以深の断層 浅部断層:深さ10km以浅の断層



1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特 性評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.4×10 ²²	9.0	2.9	17.7	8.0
大すべり域の位置を東へ40kmと したケース	浅部断層	34,655	2.4×10 ²²	-	-	35.3	13.6



										木) ()	波》	原モ	デル	3	(日	本淮	購	の宮	城	県の	津沢	皮特	性評	平価	手法	<u> </u>	によ	るモ	デル	,)								
		西	$\langle \neg$								のナ	トす	べり	域の	位置	置を	東へ	40	km	としけ	こケ-	-70	の小	断層	喜の	すべ	り量	分礼	〒(m)			_	_					東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	8.4	8.4	8.1	8.1	7.9	7.9	7.2	7.0	6.8	6.6	6.6	6.4	6.2	6.2	6.1	6.1	6.1	5.9	5.9	5.9	5.7	5.7	5.6	5.6	5.4	5.8	5.1	5.1	4.3	4.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.1	3.1	2.2	2.2
	2	8.4	8.4	8.1	8.1	7.9	7.9	7.2	7.0	7.0	6.8	6.6	6.6	6.4	6.2	6.1	6.1	6.1	5.9	5.9	5.9	5.7	5.7	5.6	5.6	5.4	5.8	5.8	5.1	5.1	4.3	4.3	4.3	3.4	3.4	3.4	3.1	3.1	2.2
20km↓	3	8.4	8.4	8.1	8.1	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	6.8	6.8	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	8.0	7.7	7.7	7.6	7.3	7.3	7.8	7.8	6.9	6.9	5.9	5.9	5.9	4.6	4.6	4.1	4.1	3.0
	4	8.4	8.4	8.1	8.1	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	7.0	6.8	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	7.7	7.6	<mark>15.2</mark>	<mark>14.7</mark>	17.7	15.7	15.7	<mark>13.8</mark>	<mark>11.7</mark>	11.7	11.7	11.7	9.3	<mark>9.3</mark>	<mark>8.3</mark>	<u>6.0</u>
	5	8.4	8.4	8.1	8.1	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	6.8	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	7.6	15.2	14.7	14.7	17.7	15.7	15.7	<mark>13.8</mark>	13.8	11.7	11.7	9.3	9.3	8.3	<mark>8.3</mark>
10km↓	6	8.4	8.4	8.1	8.1	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	7.0	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	7.7	<mark>15.2</mark>	15.2	14.7	17.7	17.7	15.7	15.7	13.8	<mark>13.8</mark>	11.7	11.7	9.3	8.3	<mark>8.3</mark>
	7	8.4	8.4	8.1	8.1	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.2	7.0	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	7.7	7.7	22.8	22.8	22.0	22.0	26.5	26.5	23.5	23.5	20.7	20.7	17.6	13.9	12.4	<mark>12.4</mark>
0km↓	8	8.4	8.4	8.1	8.1	8.1	7.9	7.9	7.9	7.2	7.2	7.0	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	30.8	30.4	29.3	29.3	35.3	35.3	35.3	31.3	31.3	27.6	23.4	18.5	16.6	16.6

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、

この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

109,725

 4.4×10^{22}

8.0

17.7

34,655

 2.4×10^{22}

13.6

35.3

(大すべり域の位置を東へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮地 の大すべり域の位	検討波源モデル③ 成県の津波特性評価手法2に 置を東へ40kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	วี่าวี่จาน (s)	150

面積[※] (km²)

地震モーメント (Nm)

平均すべり量 (m)

最大すべり量 (m)

地震モーメント (Nm)

平均すべり量 (m)

最大すべり量 (m)

面積[※] (km²)



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ40kmとしたケース

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

主部断層

浅部断層

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース 検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
柞	検討波源モデル③ (ロ本海港の宮城県の港連株	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
悜	(日本海海の呂城県の津波特 註評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.4×10 ²²	9.0	2.9	17.7	7.9
7 L	<すべり域の位置を東へ30kmと たケ−ス	浅部断層	34,655	2.4×10 ²²	-	-	35.3	13.9



																		検	討	波	源	モテ	ル	3	([ヨオ	日本	菲	ĵの'	[2]	城	県(刀津	≛波	特	惟	半伯	曲手	法	2	によ	:31	モデ	ル)												
				Z	Ъ	\triangleleft												0	のプ	৾৾ঀ	べり)垣	tの	位間	置を	を東	Ξ٨	30	lkr	nŁ	:11	こク	j	スの)/J\	断	畐(りす	Χŗ)量	分	伂	(m	า)									\Rightarrow	, <u></u>	耟	
	深度	Ξ	1		2	3	4	1	5	6	5	7		8	9		10	11		12	13	1	4	15	1	6	17	18	8	19	2	0	21	22	2	23	24	2!	5	26	27	2	8	29	30	13	31	32	33	, []	34	35	36	, 3	37	38
\land	40km↓		we	e w	е	we	w	еN	v e	w	е	w e	W	е	we	e w	e e	w	e w	е	we	e w	е	w e	W	еN	w e	w	eN	w e	w	еN	w e	w	e v	v e	we	w	e v	<i>v</i> e	we	w	e v	<i>v</i> e	we	<mark>a w</mark>	/ e	w e	w	e w	l e	w e	W	e w	e	<i>м</i> е
븗	30km↓	1	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0 7	.0 6.8	6.8	6.6	6.6 6.	4 6.4	6.4	6.4 6.	2 6.2	6.1 6	5.1 6.1	6.1	5.9 5.	9 5.9	5.9	5.9 5.9	9 5.7	5.7	5.7 5.	.7 5.7	5.7	5.5 5.5	5 5.5	5.5 5	.4 5.4	5.4 5	.4 5.3	5.3 5	5.6 5.6	5.0 5	.0 5.0	5.0 4	4.2 4.2	4.2	4.2 3.3	.3 3.3	3.3 3.	3 3.3	3.3 3.	.3 3.3	3.0 3.0	0 3.0	3.0 2.2	2 2.2	2.2 2.2
堕		2	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0 7	.0 6.8	6.8	6.8 6	6.8 6.	6 6.6	6.4	6.4 6.	4 6.4	6.2 6	5.2 6.1	6.1	5.9 5.	9 5.9	5.9	5.9 5.9	9 5.7	5.7	5.7 5.	.7 5.7	5.7	5.5 5.9	5 5.5	5.5 5	.4 5.4	5.4 5	.4 5.3	5.3 5	5.6 5.6	5.6 5	.6 5.0	5.0 5	5.0 5.0	4.2	4.2 4.3	.2 4.2	4.2 4.3	2 3.3	3.3 3.	.3 3.3	3.3 3.5	3 3.0	3.0 3.0	3.0	2.2 2.2
	20km↓	3	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0 7	.0 7.0	7.0	6.8 6	6.8 6.	6 6.6	6.6	6.6 9.	9.0	8.7 8	8.7 8.7	8.7	8.4 8.	4 8.4	8.4	8.2 8.	2 8.2	8.2	8.0 8.	.0 8.0	8.0	8.0 8.0	7.7	7.7 7	.7 7.7	7.6	.6 7.3	7.3	7.3 7.3	7.8 7	.8 7.8	7.8 6	6.9 6.9	6.9	5.9 5 .9	.9 5.9	5.9 5.9	5.9	5.9 4.	.6 4.6	4.6 4.f	6 4.1	4.1 4.1	1 4.1	3.0 3.0
_		4	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.0 7	.0 7.0	7.0	6.8 6	6.8 6.	8 6.8	6.6	6.6 9.	9.0	9.0 9	9.0 8.7	8.7	8.4 8.	4 8.4	8.4	8.2 8.	2 8.2	8.2	8.2 8.	.2 8.0	8.0	8.0 8.0	7.7	7.7 7	.7 7.7	7.6 <mark>19</mark>	.2 15.2	15.2 14	4.7 14.7	17.7 17	.7 15.7	15.7 1 <u>5</u>	5.7 15.7	13.8 13	3.8 <mark>11.</mark> 7	7 11.7	11.7 11.	7 11.7 1	<mark>1.7 11</mark> .	.7 11.7	9.3 9.3	3 9.3	9.3 8.3	3 8.3	<mark>6.0</mark> 3.0
曹		5	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.7 7	.7 7.0	7.0	7.0 7	7.0 6.	8 6.8	6.6	6.6 9.	2 9.2	9.0 9	9.0 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.4	8.4	8.4 8.4	4 8.2	8.2	8.2 8.	.2 8.2	8.2	8.0 8.0	8.0	8.0 7	.7 7.7	7.6 <mark>19</mark>	.2 15.2	15.2 14	4.7 14.7	14.7 14	.7 17.7	17.7 15	5.7 15.7	15.7 1	5.7 <mark>13.</mark> 8	.8 13.8	13.8 13./	3 11.7 1	1.7 11.	.7 11.7	9.3 9.3	3 9.3	9.3 8. 3	3 8.3	<mark>8.3</mark> 4.1
	10km↓	6	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.7 7	.7 7.0	7.0	7.0 7	7.0 6.	8 6.8	6.8	6.8 9.	2 9.2	9.0 9	9.0 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.4	8.4	8.4 8.4	4 8.4	8.4	8.2 8.	.2 8.2	8.2	8.0 8.0	8.0	8.0 7	.7 7.7	7.7 19	.4 15.2	15.2 15	5.2 15.2	14.7 14	.7 17.7	17.7 17	7.7 17.7	15.7 1	5.7 <mark>15.</mark> 1	7 15.7	13.8 13./	3 13.8 1	3.8 11.	.7 11.7 1	11.7 11.7	7 9.3	9.3 8. 3	3 8.3	<mark>8.3</mark> 4.1
~		7	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.7 7.	7 7.7	7.7	7.7 7	.7 7.0	7.0	7.0 7	7.0 7.	0 7.0	6.8	6.8 9.	4 9.4	9.2 9	9.2 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.7	8.7	8.4 8.4	4 8.4	8.4	8.4 8.	.4 8.2	8.2	8.2 8.2	2 8.0	8.0 7	.7 7.7	7.7 23	.1 22.8	22.8 22	2.8 22.8	22.0 22	.0 22.0	22.0 26	6.5 26.5	26.5 26	5.5 <mark>23.</mark> 5	5 23.5	23.5 23.	5 20.7 2	.0.7 20.	.7 20.7 1	17.6 17.6	5 13.9 1	3.9 12.4	4 12.4 1	<mark>2.4</mark> 4.1
\downarrow	0km↓	8	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	7.9 7	.9 7.9	7.9	7.9 7.	9 7.7	7.7	7.7 7	.7 7.7	7.7	7.0 7	7.0 7.	0 7.0	6.8	6.8 9.	4 9.4	9.2	9.2 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.7	8.7	8.7 8.	7 8.4	8.4	8.4 8.	.4 8.2	8.2	8.2 8.2	2 8.0	8.0 8	.0 8.0	7.7 30	.8 30.8	30.8 30	0.4 30.4	29.3 29	.3 29.3	29.3 35	5.3 35.3	35.3 39	5.3 35.1	3 35.3	31.3 31.	3 31.3 3	1.3 27	6 27.6 2	23.4 23.4	4 18.5 1	8.5 16.6	5 16.6 1	<mark>6.6</mark> 4.1
	• 0	すべ	り分	布の)番	号は	上言	己波	源Ŧ	デリ	し叉	の を	ふし	新属	国に	対	,两(則か	らす	间	に順	(- 1	列ナ	1163	8列	まて	≋i⊖r	定。	各列	川は	w.e	172	列(;	分	創。	陸個	1 mp	海清	軸	個(こ	1行	から	8行	まで	設定	2										

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮 の大すべり域の位	は 城県の津波特性評価手法2に 立置を東へ30kmとしたケースの断	よるモデル) 所層パラメータ
	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.4×10 ²²
土印如川眉	平均すべり量 (m)	7.9
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積* (km²)	34,655
洋如紙屋	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²
	平均すべり量 (m)	13.9
		35.3

検討波源モデル③



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ30kmとしたケース

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
1	検討波源モデル③ (ロ本海港の宮城県の港波林	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
ľ	(日本海溝の呂城県の津波特 生評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	17.7	7.9
ĺ	大すべり域の位置を東へ20kmと √たケース	浅部断層	34,655	2.4×10 ²²	-	-	35.3	14.1



	検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)																																						
	西																東																						
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.9	7.9	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.6	6.4	6.3	6.3	6.0	5.9	5.9	5.7	5.7	5.7	5.5	5.5	5.5	5.4	5.4	5.3	5.3	5.1	5.5	4.8	4.8	4.1	4.1	3.2	3.2	3.2	3.2	2.9	2.9	2.1	2.1
	2	7.9	7.9	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.6	6.6	6.4	6.3	6.3	6.0	5.9	5.7	5.7	5.7	5.5	5.5	5.5	5.4	5.4	5.3	5.3	5.1	5.5	5.5	4.8	4.8	4.1	4.1	4.1	3.2	3.2	3.2	2.9	2.9	2.1
20km↓	3	7.9	7.9	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.4	6.4	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	8.0	7.7	7.7	7.6	7.3	7.3	7.8	7.8	6.9	6.9	5.9	5.9	5.9	4.6	4.6	4.1	4.1	3.0
	4	7.9	7.9	7.7	7.7	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	7.7	<mark>15.2</mark>	<mark>15.2</mark>	14.7	<mark>17.7</mark>	<mark>15.7</mark>	15.7	<mark>13.8</mark>	11.7	11.7	11.7	11.7	<u>9.3</u>	<mark>9.3</mark>	<mark>8.3</mark>	3.0
	5	7.9	7.9	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.4	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	15.2	<u>15.2</u>	14.7	14.7	17.7	15.7	15.7	<mark>13.8</mark>	13.8	11.7	11.7	9.3	9.3	<mark>8.3</mark>	4.1
10km↓	6	7.9	7.9	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.6	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	15.4	15.2	15.2	14.7	17.7	17.7	15.7	15.7	13.8	13.8	11.7	11.7	9.3	<mark>8.3</mark>	4.1
	7	7.9	7.9	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.8	6.6	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	7.7	23.1	22.8	22.8	22.0	22.0	26.5	26.5	23.5	23.5	20.7	20.7	17.6	13.9	12.4	4.1
0km↓	8	7.9	7.9	7.7	7.7	7.7	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	30.8	30.8	30.4	29.3	29.3	35.3	35.3	35.3	31.3	31.3	27.6	23.4	18.5	16.6	4.1

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10km の位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、

一般内湾内のドラク軸内近の領域については、他の領域に比べ、フレード境外面の床さりが前の位置がドラク軸に近くなり、また、ドラク軸石もの洋波的層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル③	
(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2に	よるモデル)
の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケースの断	「層パラメータ

	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km²)	109,725
十刘新国	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
工印約17百	平均すべり量 (m)	7.9
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積 [※] (km²)	34,655
洋河新国	地震モーメント (Nm)	2.4×10 ²²
	平均すべり量 (m)	14.1
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ20kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル③ (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース

検討波源モデル③	(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)
の大す	べり域の位置を東へ10kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.3×10 ²²	9.0	2.9	17.7	7.8
大すべり域の位置を東へ10kmと したケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	35.3	14.3





1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を東へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城の大すべり域の位置)	検討波源モデル③ 成県の津波特性評価手法2に 置を東へ10kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²

	囬槓 [※] (KM ²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
宁 如將國	地震モーメント (Nm)	4.3×10 ²²
王即倒眉	平均すべり量 (m)	7.8
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積* (km²)	34,655
洋动胀圈	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
同時に	平均すべり量 (m)	14.3
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を東へ10kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を基準位置としたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



の大すべり域の位置を基準位置としたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.2×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.7
大すべり域の位置を基準位置と したケース	浅部断層	34,655	2.5×10 ²²	-	-	35.3	14.6



										材	倹 討	波》	原モ	デル	3	(日	本淮	蔪溝	の宮	城	県の	津派	皮特	性評	平価	手法	<u> </u>	によ	るモ	デル	,)								
		西	\triangleleft								の	大す	べり	域(D位i	置を	基	単位	置と	した	-ケ-	-スの	기시	断層	のす	すべり)量;	分有	<u></u> (ı	m)								\Rightarrow	東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.5	7.5	7.3	7.3	7.1	7.1	6.4	6.2	6.1	5.9	5.9	5.7	5.6	5.6	5.4	5.4	5.4	5.3	5.3	5.3	5.1	5.1	5.0	5.0	4.8	5.2	4.6	4.6	3.9	3.9	3.1	3.1	3.1	3.1	2.7	2.7	2.0	2.0
	2	7.5	7.5	7.3	7.3	7.1	7.1	6.4	6.2	6.2	6.1	5.9	5.9	5.7	5.6	5.4	5.4	5.4	5.3	5.3	5.3	5.1	5.1	5.0	5.0	4.8	5.2	5.2	4.6	4.6	3.9	3.9	3.9	3.1	3.1	3.1	2.7	2.7	2.0
20km↓	3	7.5	7.5	7.3	7.3	7.1	7.1	6.4	6.4	6.2	6.1	6.1	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	8.0	7.7	7.7	7.6	7.3	7.3	7.8	7.8	6.9	6.9	5.9	5.9	5.9	4.6	4.6	4.1	4.1	3.0
	4	7.5	7.5	7.3	7.3	7.1	7.1	6.4	6.4	6.2	6.2	6.1	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	8.0	7.7	<mark>15.4</mark>	15.2	<mark>15.2</mark>	14.7	17.7	15.7	15.7	13.8	11.7	11.7	11.7	11.7	9.3	<mark>9.3</mark>	4.1	3.0
	5	7.5	7.5	7.3	7.3	7.1	7.1	7.1	6.4	6.4	6.2	6.1	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	8.0	<mark>15.4</mark>	15.2	15.2	14.7	14.7	17.7	15.7	15.7	13.8	13.8	11.7	11.7	9.3	9.3	4.1	4.1
10km↓	6	7.5	7.5	7.3	7.3	7.1	7.1	7.1	6.4	6.4	6.2	6.2	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	<mark>15.4</mark>	15.4	15.2	15.2	14.7	17.7	17.7	15.7	15.7	13.8	13.8	11.7	11.7	9.3	4.1	4.1
	7	7.5	7.5	7.3	7.3	7.1	7.1	7.1	6.4	6.4	6.4	6.2	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	23.1	23.1	22.8	22.8	22.0	22.0	26.5	26.5	23.5	23.5	20.7	20.7	17.6	13.9	4.1	4.1
0km↓	8	7.5	7.5	7.3	7.3	7.3	7.1	7.1	7.1	6.4	6.4	6.2	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	31.8														4.1	4.1

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル③ (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケースの断層パラメータ

	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.2×10 ²²
土山四))冒	平均すべり量 (m)	7.7
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積** (km²)	34,655
半到新聞	地震モーメント (Nm)	2.5×10 ²²
高川四川の大	平均すべり量 (m)	14.6
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を基準位置としたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
(日本海海の呂城県の津波特 生評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.2×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.7
大すべり域の位置を西へ10kmと 」たケース	浅部断層	34,655	2.6×10 ²²	-	-	35.3	14.8



(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース

																			- 1	火	ע ני	X	/尔 7	ニノ	\mathcal{N}	S	(Ч'	4\/	丏/	再0	ワビ	54	以片	₹U,	ハキ	ıΧ.	[1]	エ声	11	ЩЭ	-17	<u>,</u> Z	ICO	5	C)	1)												
				Ī	西	Ś														の	大	す	Χľ)坷	ίΟ	位	置	<u>ح</u>	₼	<u>\1</u>	0k	m	ISI	た	ケ	-7	ての	小	断	畐(りす	Х,	り量	分	布	(r	n)									ſ	\Rightarrow	東	Į	
]	深度	Π	1	Т	2	Т	3	4		5		6	7	Т	8	9	9	10	—	11	12	2	13	1	4	15		16	17	T	18	1	9	20	Ĩ	21	22	2	23	24	2	5	26	27	1	28	29	3	0	31	32		33	34	3	5	36	37	1 1	38
\wedge	40km↓		W	e١	w e	W	/ e	W	e v	v e	w	е	w	e v	v e	w	е	we	e w	e e	w	e١	we	w	е	w	e w	e e	w	e I	v e	w	е	we	e w	e e	we	w	е	we	w	е	w e	w	e w	e	we	w	e	w e	w	e w	e	w e	W	el	v e	w	e w	/ e
"≓	30km↓	1	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 6	5.9 6.	9 6.9	6.9	6.3	6.3 6	5.1 6.	1 5.9	5.9	5.8 5	.8 5.	8 5.8	5.6	5.6	5.4 5	4 5.4	5.4	5.3	5.3 5.	3 5.3	5.3	5.3	5.1 5.1	1 5.1	5.1	5.1 5	6.1 4.1	9 4.9	4.9 4	.9 4.9	4.9	4.9 4	.9 4.7	4.7	5.0 5.	4.4	4.4 4	4 4.4	3.8 3	.8 3.8	3.8	3.0 3.0	3.0	3.0 3.	0 3.0	3.0 3.	0 2.7	2.7	2.7 2.7	1.9	1.9 1.	.9 1.9
) []		2	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 6	5.9 6.	9 6.9	6.9	6.3	6.3 6	5.1 6.	1 6.1	6.1	5.9 5	.9 5.	8 5.8	5.8	5.8	5.6 5	6 5.4	5.4	5.3	5.3 5.	3 5.3	5.3	5.3	5.1 5.1	1 5.1	5.1	5.1 5	6.1 4.1	9 4.9	4.9 4	.9 4.9	4.9	4.9 4	.9 4.7	4.7	5.0 5.	5.0	5.0 4	4 4.4	4.4 4	.4 3.8	3.8	3.8 3.8	3.8	3.8 3.	0 3.0	3.0 3.	0 3.0	3.0	2.7 2.7	2.7	2.7 1.	.9 1.9
_	20km↓	3	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 6	5.9 6.	9 6.9	6.9	6.3	6.3 6	5.3 6.	3 6.1	6.1	5.9 5	.9 5.	9 5.9	9.0	9.0	8.7 8	7 8.7	8.7	8.4	3.4 8.	4 8.4	8.2	8.2	8.2 8.2	2 8.0	8.0	8.0 8	8.0 8.	0 8.0	7.7 7	.7 7.7	7.7	7.6 7	.6 7.3	7.3	7.3 7.	3 7.8	7.8 7.	8 7.8	6.9 6	.9 6.9	6.9	5.9 5.9	5.9	5.9 5.	9 5.9	4.6 4.	6 4.6	4.6	4.1 4.1	4.1	4.1 3.	0 3.0
		4	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 6	5.9 6.	9 6.9	6.9	6.3	6.3 6	5.3 6.	3 6.1	6.1	6.1 6	.1 5.	9 5.9	9.0	9.0	9.0 9	.0 8.7	8.7	8.4	3.4 8.	4 8.4	8.2	8.2	8.2 8.2	2 8.2	8.2	8.0 8	8.0 8.	0 8.0	7.7 <mark>15</mark>	.4 15.4	4 15.4 ⁻	15.2 15	.2 15.2	15.2 1	4.7 14.	7 17.7	7.7 15	7 15.7	15.7 15	.7 13.8	<mark>13.8</mark> 1	<mark>1.7</mark> 11.7	/ 11.7 1	1.7 <mark>11.</mark>	7 11.7	11.7 11.	7 9.3	9.3	<mark>9.3</mark> 4.6	4.1	4.1 3.0	0 3.0
曹		5	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 6	5.9 6.	9 6.9	6.9	6.9	6.9 6	5.3 6.	3 6.3	6.3	6.1 6	.1 5.	9 5.9	9.2	9.2	9.0 9	0 9.0	9.0	8.7	3.7 8.	4 8.4	8.4	8.4	8.2 8.2	2 8.2	8.2	8.2 8	1.2 8.	0 8.0	8.0 <mark>15</mark>	.9 15.4	15.4	15.2 15	.2 15.2	15.2 1	4.7 14.	7 14.7 1	4.7 17.	7 17.7	15.7 15	.7 15.7	15.7 1	3.8 13.8	3 13.8 1	3.8 11. ⁻	7 11.7	11.7 11.	7 9.3	9.3	<mark>9.3</mark> 4.6	4.1	4.1 4.	.1 4.1
き (1) 第二	10km↓	6	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 6	5.9 6.	9 6.9	6.9	6.9	6.9 6	5.3 6.	3 6.3	6.3	6.1 6	6.1 6.	1 6.1	9.2	9.2	9.0 9	0 9.0	9.0	8.7	3.7 8.	4 8.4	8.4	8.4	8.4 8.4	4 8.2	8.2	8.2 8	1.2 8.	0 8.0	8.0 <mark>15</mark>	.9 15.4	4 15.4 ⁻	15.4 15	.4 15.2	15.2 1	5.2 15.	2 14.7 1	4.7 17.	7 17.7	17.7 17	.7 15.7	15.7 1	<mark>5.7</mark> 15.7	/ 13.8 1	3.8 <mark>13.</mark>	8 13.8	11.7 11.	7 11.7	11.7	<mark>9.3</mark> 4.6	4.1	4.1 4.	.1 4.1
~		7	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 6	i.9 6.	9 6.9	6.9	6.9	6.9 6	5.3 6.	3 6.3	6.3	6.3 6	i.3 6.	1 6.1	9.4	9.4	9.2 9	2 9.0	9.0	8.7	3.7 8.	7 8.7	8.4	8.4	8.4 8.4	4 8.4	8.4	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	8.0 <mark>-23</mark>	.9 23.1	23.1	23.1 23	.1 22.8	22.8 2	2.8 22.	3 22.0 2	2.0 22	0 22.0	26.5 26	.5 26.5	26.5 2	3.5 23.9	23.5 2	3.5 20.	7 20.7	20.7 20.	7 17.6	17.6 1.	3.9 4.6	4.1	4.1 4.	.1 4.1
\downarrow	0km↓	8	7.3	7.3	7.3 7	.3 7.	.1 7.1	7.1	7.1 7	.1 7.	1 6.9	6.9	6.9	6.9 6	5.9 6.9	9 6.3	6.3	6.3 6	i.3 6.	1 6.1	9.4	9.4	9.2 9	2 9.0	9.0	8.7	3.7 8.	7 8.7	8.7	8.7	8.4 8.4	4 8.4	8.4	8.2 8	8.2 8.	2 8.2	8.0 <mark>31</mark>	.8 31.8	3 31.8	3 0.8 30	.8 30.8	30.8	80.4 30.	4 29.3 2	9.3 29	3 29.3	35.3 35	.3 35.3		5.3 35.3	31.3 3	1.3 31.	8 31.3	27.6 27.	6 23.4	23.4 1	3.5 4. C	4.1	4.1 4.	.1 4.1
	• す	え	り分	布	の霍	釫	けた	上記	波	源Ŧ	デ	ル図]のí	各小	、断	層(こ対	し団	鲖	から	康	側(こ順	(21)	列力	163	383	利ま	で影	婝	。各	列	(tv	,el	22	列(こ	分割	IJ.ß	陸側	から	海	睛軸	.侧(1行	から	58行		設	宦。											

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ10kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城の大すべり域の位)	成県の津波特性評価手法2に 置を西へ10kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10^{10}
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.2×10 ²²
土山(町))冒	平均すべり量 (m)	7.7
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積* (km²)	34,655
洋河形网	地震モーメント (Nm)	2.6×10 ²²
四小口文/	平均すべり量 (m)	14.8
	最大すべり量 (m)	35.3

検討波源モデル③



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ10kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
7	検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
,	(日本海海の呂城県の津波特生評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.2×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.6
	大すべり域の位置を西へ20kmと Jたケース	浅部断層	34,655	2.6×10 ²²	-	-	35.3	15.0



										木	() () ()	波	原モ	デル	3	(日	本淮	靕	の宮	城	県の	津派	支特	性評	平価	手泛	<u> 북</u> 2	によ	るモ	デル	,)								
		西	$\langle \Box$								のフ	たす	べり	域の	位置	置を	西へ	20	kma	としり	こケ-	-7	の小	断層	層の	すべ	り量	分科) 可	m)			_					\Rightarrow	東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.1	7.1	6.9	6.9	6.7	6.7	6.1	5.9	5.7	5.6	5.6	5.4	5.3	5.3	5.1	5.1	5.1	5.0	5.0	5.0	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.9	4.3	4.3	3.7	3.7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.6	2.6	1.9	1.9
	2	7.1	7.1	6.9	6.9	6.7	6.7	6.1	5.9	5.9	5.7	5.6	5.6	5.4	5.3	5.1	5.1	5.1	5.0	5.0	5.0	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.9	4.9	4.3	4.3	3.7	3.7	3.7	2.9	2.9	2.9	2.6	2.6	1.9
20km↓	3	7.1	7.1	6.9	6.9	6.7	6.7	6.1	6.1	5.9	5.7	5.7	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	8.0	7.7	7.7	7.6	7.3	7.3	7.8	7.8	6.9	6.9	5.9	5.9	5.9	4.6	4.6	4.1	4.1	3.0
	4	7.1	7.1	6.9	6.9	6.7	6.7	6.1	6.1	5.9	5.9	5.7	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	8.0	<mark>15.4</mark>	<mark>15.4</mark>	15.2	<mark>15.2</mark>	<mark>14.7</mark>	<mark>17.7</mark>	15.7	15.7	13.8	11.7	11.7	11.7	11.7	9.3	4.6	4.1	3.0
	5	7.1	7.1	6.9	6.9	6.7	6.7	6.7	6.1	6.1	5.9	5.7	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	15.9	15.4	15.2	<u>15.2</u>	14.7	14.7	17.7	15.7	15.7	<mark>13.8</mark>	13.8	11.7	11.7	9.3	4.6	4.1	4.1
10km↓	6	7.1	7.1	6.9	6.9	6.7	6.7	6.7	6.1	6.1	5.9	5.9	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	<mark>15.9</mark>	15.4	15.4	15.2	15.2	14.7	17.7	17.7	15.7	15.7	13.8	13.8	11.7	11.7	4.6	4.1	4.1
	7	7.1	7.1	6.9	6.9	6.7	6.7	6.7	6.1	6.1	6.1	5.9	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	23.9	23.1	23.1	22.8	22.8	22.0	22.0	26.5	26.5	23.5	23.5	20.7	20.7	17.6	4.6	4.1	4.1
0km↓	8	7.1	7.1	6.9	6.9	6.9	6.7	6.7	6.7	6.1	6.1	5.9	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	31.8	31.8	30.8	30.8	30.4	29.3	29.3	35.3	35.3	35.3	31.3	31.3	27.6	23.4	4.6	4.1	4.1

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。
1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ20kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位置	検討波源モデル③ 成県の津波特性評価手法2に 置を西へ20kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km²)	109,725
<u>十</u> 如將國	地震モーメント (Nm)	4.2×10 ²²
上司/约//冒	平均すべり量 (m)	7.6
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積** (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.6×10 ²²
	平均すべり量 (m)	15.0
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ20kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース

検討波源モデル③	(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)
の大す	べり域の位置を西へ30kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.1×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.5
大すべり域の位置を西へ30kmと したケース	浅部断層	34,655	2.6×10 ²²	-	-	35.3	15.2



																	,	険	可え	反》	泉モ	ティ	11(3)	(E	亅本	「汨	湄	jの)呂	城	県(刀泪	単沢	狩	作生	副半1	[曲=	手沒	문 2	212	5	5Ŧ	テノ	レ)													
				九	i ¢													σ,)大	đ	κŋ)域	の(立是	置を	西	ī٨	30	lkr	nと	:11	たク	r—	Z0	[ינ	断	層	$\mathcal{D}\overline{g}$	すべ	り	量ク	行	<u></u> 5 (m)										>	東		
ſ	深度	П	1	2		3	4	5	;	6	7	7	8	Τ	9	10		11	17	2	13	14	ł	15	16	5	17	18	8	19	2	0	21	2	2	23	24	1	25	26		27	28	2	29	30		31	32	3	3	34	35	3	6	37	38	8
\wedge	40km↓		we	w	e w	e e	we	w	e	w e	W	е	we	e w	e e	W	e v	/ e	w	еN	<i>w</i> e	W	e v	v e	W	e v	v e	w	e	w e	W	е	we	w	e١	<i>w</i> e	w	e v	v e	W	e w	e	we	e w	е	we	<mark>e w</mark>	e	wε	w	e	w e	W	e w	e	w e	w	е
"≣[30km↓	1	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.7 5	5.7 5.9	6 5.6	5.5	5.5 5	.5 5.5	5.3	5.3	5.1 5.1	5.1	5.1 5	.0 5.0	5.0	5.0 5	.0 5.0	3 4.8	4.8	4.8 4.	.8 4.8	4.8	4.7 4	.7 4.7	4.7	4.6 4.6	4.6	4.6 4	4.5 4.5	4.8	4.8 4.	2 4.2	4.2 4	4.2 3.0	3.6	3.6	3.6 2.	8 2.8	2.8 2	.8 2.8	2.8	2.8 2.8	2.5	2.5 2.5	2.5	1.8 1.	8 1.8	1.8
][]		2	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.7 5	5.7 5.	7 5.7	5.6	5.6 5	.5 5.5	5.5	5.5	5.3 5.3	5.1	5.1 5	.0 5.0	5.0	5.0 5	.0 5.0	3 4.8	4.8	4.8 4.	.8 4.8	4.8	4.7 4	.7 4.7	4.7	4.6 4.6	4.6	4.6 4	1.5 4.5	4.8	4.8 4.	8 4.8	4.2 4	1.2 4.2	2 4.2	3.6	3.6 3.	6 3.6	3.6 3	.6 2.8	2.8	2.8 2.8	2.8	2.8 2.5	2.5	2.5 2.	5 1.8	1.8
	20km↓	3	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.9 5	5.9 5.	7 5.7	5.6	5.6 5	.6 5.6	9.0	9.0	8.7 8.7	8.7	8.7 8	.4 8.4	8.4	8.4 8	.2 8.2	2 8.2	8.2	8.0 8.	.0 8.0	8.0	8.0 8	.0 7.7	7.7	7.7 7.7	7.6	7.6 7	7.3 7.3	7.3	7.3 7.	8 7.8	7.8 7	7.8 6.9	6.9	6.9 6	5.9 5.	9 5.9	5.9 5	.9 5.9	5.9	4.6 4.6	4.6	4.6 4.1	4.1	4.1 4.	1 3.0	3.0
		4	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.9 5	5.9 5.1	7 5.7	5.7	5.7 5	.6 5.6	9.0	9.0	9.0 9.0	8.7	8.7 8	.4 8.4	8.4	8.4 8	1.2 8.2	2 8.2	8.2	8.2 8.	.2 8.0	8.0	8.0 <mark>-15</mark>	.9 15.4	15.4 1	5.4 15.4	15.2 1	15.2 15	5.2 15.2	14.7 1	4.7 <mark>17.</mark>	7 17.7	15.7 15	5.7 15.1	7 15.7	13.8 13	3.8 11.	7 11.7	<mark>11.7</mark> 11	.7 11.7	11.7 1	1.7 11.7	<mark>9.3</mark> /	4.6 4.6	4.6	4.1 4.	1 3.0	3.0
曹		5	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 6.5	6.5	5.9 5	5.9 5.9	9 5.9	5.7	5.7 5	.6 5.6	9.2	9.2	9.0 9.0	9.0	9.0 8	.7 8.7	8.4	8.4 8	.4 8.4	4 8.2	8.2	8.2 8.	.2 8.2	8.2	8.0 <mark>.15</mark>	.9 15.9	15.9 1	5.4 15.4	15.2 1	15.2 15	5.2 15.2	14.7 1	4.7 14.	7 14.7	17.7 17	7.7 15.3	7 15.7	15.7 19	5.7 13.	8 13.8	13.8 13	.8 11.7	11.7 1	1.7 11.7	<mark>9.3</mark> /	4.6 4.6	4.6	4.1 4.	1 4.1	4.1
無	10km↓	6	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 6.5	6.5	5.9 5	5.9 5.9	9 5.9	5.7	5.7 5	.7 5.7	9.2	9.2	9.0 9.0	9.0	9.0 8	.7 8.7	8.4	8.4 8	.4 8.4	4 8.4	8.4	8.2 8.	.2 8.2	8.2	8.0 15	.9 15.9	15.9 1	5.4 15.4	15.4 1	15.4 15	5.2 15.2	15.2 1	5.2 14.	7 14.7	17.7 17	7.7 17.3	7 17.7	15.7 1	5.7 <mark>15.</mark>	7 15.7	13.8 13	.8 13.8	13.8 1	1.7 11.7	<mark>11.7</mark>	5.9 4.6	4.6	4.1 4.	1 4.1	4.1
~		7	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 6.5	6.5	5.9 5	5.9 5.9	9 5.9	5.9	5.9 5	.7 5.7	9.4	9.4	9.2 9.2	9.0	9.0 8	.7 8.7	8.7	8.7 8	.4 8.4	4 8.4	8.4	8.4 8.	.4 8.2	8.2	8.2 <mark>24</mark>	.6 23.9	23.9 2	3.1 23.1	23.1 2	23.1 22	2.8 22.8	22.8 2	2.8 22.	0 22.0	22.0 22	2.0 26.	5 26.5	26.5 26	5.5 23.	5 23.5	23.5 23	.5 20.7	20.7 2	0.7 20.7	17.6	5.9 4.6	4.6	4.1 4.	1 4.1	4.1
$\left \uparrow \right $	0km↓	8	6.9 6.	9 6.9	6.9 6.	7 6.7	6.7 6	.7 6.7	6.7	6.5 6.	5 6.5	6.5	6.5 6	5.5 5.9	9 5.9	5.9	5.9 5	.7 5.7	9.4	9.4	9.2 9.2	9.0	9.0 8	.7 8.7	8.7	8.7 8	.7 8.7	7 8.4	8.4	8.4 8.	.4 8.2	8.2	8.2 <mark>32</mark>	.8 31.8	31.8 3	1.8 31.8	30.8	80. <mark>8</mark> 30).8 30.8	30.4 3	0.4 29.	3 29.3	29.3 29	9.3 35.3	3 35.3	35.3 39	5.3 35.	3 35.3	31.3 31	3 31.3	31.3 2	7.6 27.6	23.4	5.9 4.6	4.6	4.1 4.	1 4.1	4.1
-	• 0	オベト	n分a	市の	来日	- 	누들구	波源	ī∓=	சீய	<u>図</u> の)么/	小米	屆	にす	tı, it	石伯	lti	す	個川に	-順(71万	间か	638	マクリ	まで	· 訳 :	定。	么	列(士	W F	-1-7) 万川	-分	創	陸偏	111	ら海	: 諸由	由個日	(-1)	行力	168	行言	-7	公定	2											_

・サイリカルの留号は上記波線モデル図の各小的層に対し四側から来側に順に19から36列まで設定。各列はW,Eに29がに力割。陸側から海溝軸側に11から61まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ30kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位言	検討波源モデル③ 成県の津波特性評価手法2に 置を西へ30kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [※] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積 [※] (km²)	109,725
<u></u> 	地震モーメント (Nm)	4.1×10 ²²
土印町眉	平均すべり量 (m)	7.5
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積** (km²)	34,655
法如將國	地震モーメント (Nm)	2.6×10 ²²
	平均すべり量 (m)	15.2
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ30kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
7	検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
,	(日本海海の呂城県の津波特生評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.1×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.5
	大すべり域の位置を西へ40kmと Jたケース	浅部断層	34,655	2.7×10 ²²	-	-	35.3	15.3



										木	倹討	波》	原モ	デル	3	(日	本治	購	の宮	城	県の	津沢	皮特	性評	平価	手法	52(こよ	るモ	デル	,)								
		西	\triangleleft								のフ	トす	べり	域の	位間	置を	西へ	40	kma	としけ	こケ-	-70	の小	断層	層の	すべ	り量	分衣	<u></u>	m)	_						ſ	\Rightarrow	東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	6.4	5.8	5.6	5.5	5.4	5.4	5.2	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.7	4.1	4.1	3.5	3.5	2.8	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	1.8	1.8
	2	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	6.4	5.8	5.6	5.6	5.5	5.4	5.4	5.2	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.7	4.7	4.1	4.1	3.5	3.5	3.5	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	1.8
20km↓	3	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	6.4	5.8	5.8	5.6	5.5	5.5	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	8.0	7.7	7.7	7.6	7.3	7.3	7.8	7.8	6.9	6.9	5.9	5.9	5.9	4.6	4.6	4.1	4.1	3.0
	4	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	6.4	5.8	5.8	5.6	5.6	5.5	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	<mark>15.9</mark>	15.4	<mark>15.4</mark>	<mark>15.2</mark>	<mark>15.2</mark>	<mark>14.7</mark>	<mark>17.7</mark>	15.7	15.7	<mark>13.8</mark>	11.7	11.7	11.7	11.7	4.6	4.6	4.1	3.0
	5	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	6.4	6.4	5.8	5.8	5.6	5.5	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	<mark>15.9</mark>	15.9	<mark>15.4</mark>	15.2	<u>15.2</u>	14.7	14.7	17.7	15.7	15.7	<mark>13.8</mark>	<mark>13.8</mark>	11.7	11.7	4.6	4.6	4.1	4.1
10km↓	6	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	6.4	6.4	5.8	5.8	5.6	5.6	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	<mark>15.9</mark>	15.9	15.4	15.4	15.2	15.2	14.7	17.7	17.7	15.7	15.7	13.8	13.8	11.7	5.9	4.6	4.1	4.1
	7	6.8	6.8	6.6	6.6	6.4	6.4	6.4	5.8	5.8	5.8	5.6	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	24.6	23.9	23.1	23.1	22.8	22.8	22.0	22.0	26.5	26.5	23.5	23.5	20.7	20.7	5.9	4.6	4.1	4.1
0km↓	8	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.4	6.4	6.4	5.8	5.8	5.6	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	32.8	31.8	31.8	30.8	30.8	30.4	29.3	29.3	35.3	35.3	35.3	31.3	31.3	27.6	5.9	4.6	4.1	4.1

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル③	
(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2に	よるモデル)
の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケースの断	「層パラメータ

	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.1×10 ²²
工中四11月	平均すべり量 (m)	7.5
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積 [※] (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.7×10 ²²
「「「」」の「「」」「「」」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」」「」」「	平均すべり量 (m)	15.3
	最大すべり量 (m)	35.3
※津波断層域のうちすべりが発	生している波源域の面積	



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ40kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
(日本海溝の呂城県の津波特) 性評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.1×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.5
大すべり域の位置を西へ50kmと したケース	浅部断層	34,655	2.6×10 ²²	-	-	35.3	15.2



(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース

																		[円 ē	i۷λ	又们	よて	ニナ)V	3)		コイ	ア油	ナルト	身り、	ろ	i切	い宗	0)	/手/	仅1	4.1E	上戸日	÷1Ш	1-	広	۲ ۷	CG	ຈະ	テ	<i>IV</i>)												
				西	<u> </u>	$\langle \neg$												の	大	す	Ϋ́)域	<i></i> С	位記	置る	を西	ΞΛ	.5(Jkı	m۲	Ľυ	た	ד-ל	-ス	<u>שי</u>	∖⊮	僱	副の	র্চ ⁄	じり	量	分7	Ţ	(m	ı)									\Rightarrow	· す	Į	
	深度	Π	1	2	2	3	4	[5	6	7	7	8	(9	10		11	12	2	13	14	4	15	1	6	17	1	8	19)	20	2'	1	22	23		24	25	2	6	27	28	3	29	30	3	1	32	33	:	34	35	36	3	7	38
\land	40km↓		w e	w	e	w e	we	w	е	w e	w	е	w e	W	е	we	e v	/ e	W	e١	v e	W	e١	n e	W	e	w e	W	е	W	e v	v e	w	e١	<i>w</i> e	W	e w	e	we	w	е	w e	W	e w	/ e	w e	w	eN	<i>N</i> e	w e	e w	e	w e	w e	e w	еv	v e
<u></u> " 	30km↓	1	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.7 5.	7 5.6	5.6	5.5	5.5 5	.5 5.5	5.3	5.3	5.1 5.	1 5.1	5.1	5.0 5.0	0 5.0	5.0	5.0 5.	.0 4.8	3 4.8	4.8	4.8 4	4.8 4.8	4.7	4.7	4.7 4.7	4.6	4.6 4.	6 4.6	4.5 4	.5 4.8	4.8	4.2 4.	2 4.2	4.2 3	.6 3.6	3.6 3.	.6 2.8	2.8	2.8 2.8	3 2.8 2	2.8 2.1	8 2.8	2.5 2.5	5 2.5 2	2.5 1.8	1.8 1	1.8 1.8
ĔЩ (2	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.7 5.	7 5.7	5.7	5.6 5	5.6 5	.5 5.5	5.5	5.5	5.3 5.	3 5.1	5.1	5.0 5./	0 5.0	5.0	5.0 5.	.0 4.8	8 4.8	4.8	4.8 4	4.8 4.8	4.7	4.7	4.7 4.7	4.6	4.6 4.	6 4.6	4.5 4	.5 4.8	4.8	4.8 4.	3 4.2	4.2 4	.2 4.2	3.6 3.	.6 3.6	3.6	3.6 3.6	5 2.8 2	2.8 2.8	8 2.8	2.8 2.8	3 2.5 2	2.5 2.5	2.5 1	1.8 1.8
_	20km↓	3	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.9 5.	9 5.7	5.7	5.6	5.6 5	.6 5.6	9.0	9.0	3.7 8.	7 8.7	8.7	8.4 8./	4 8.4	8.4	8.2 8.	.2 8.2	2 8.2	8.0	8.0 8	8.0 8.0	8.0	8.0	7.7 7.7	7.7	7.7 7.	6 7.6	7.3 7	.3 7.3	7.3	7.8 7.	3 7.8	7.8 6	.9 6.9	6.9 6.	.9 5.9	5.9	5.9 5.9	5.9 5	5.9 4.6	5 4.6	4.6 4.6	5 4.1 4	4.1 4.1	4.1 3	3.0 3.0
_ [4	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.9 5.	9 5.7	5.7	5.7 5	5.7 5	.6 5.6	9.0	9.0	9.0 9.	0 8.7	8.7	3.4 8.⁄	4 8.4	8.4	8.2 8.	.2 8.2	2 8.2	8.2	8.2 8	8.0 8.0	<mark>15.9</mark>	15.9 1	5.4 15.4	15.4 1	5.4 15.	2 15.2	15.2 15	.2 14.7	14.7	7.7 17.	15.7	5.7 15	.7 15.7	<mark>13.8</mark> 13.	.8 <mark>11.7</mark>	<mark>11.7</mark> 1	1.7 11.7	/ <mark>11.7</mark> 11	1.7 11.	7 5.9	4.6 4.6	5 4.6 4	4.6 4.1	4.1 3	3.0 3.0
副目		5	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 6.5	6.5	5.9 5.	9 5.9	5.9	5.7 5	5.7 5	.6 5.6	9.2	9.2	9.0 9.	0 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.4	8.4	8.4 8.	.4 8.2	2 8.2	8.2	8.2 8	3.2 8.2	<mark>15.9</mark>	15.9 1	5.9 15.9	15.4 1	5.4 15.	2 15.2	15.2 15	.2 14.7	14.7	4.7 14.	17.7	7.7 15	.7 15.7	15.7 15.	.7 13.8	13.8 1	3.8 13.8	s <mark>11.7</mark> 11	l.7 11. ⁻	7 5.9	4.6 4.6	5 4.6 4	4.6 4.1	4.1 4	4.1 4.1
ほう (明)	10km↓	6	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 6.5	6.5	5.9 5.	9 5.9	5.9	5.7 5	5.7 5	.7 5.7	9.2	9.2	9.0 9.	0 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.4	8.4	8.4 8.	.4 8.4	4 8.4	8.2	8.2 8	8.2 8.2	<mark>15.9</mark>	15.9 1	5.9 15.9	15.4 1	5.4 15.	4 15.4	15.2 15	.2 15.2	15.2	4.7 14.	7 17.7 1	7.7 17.	.7 17.7	15.7 15.	.7 15.7	15.7 1	3.8 13.8	3 <mark>13.8</mark> 13	3.8 <mark>11.</mark> '	7 5.9	5.9 5.9	4.6	4.6 4.1	4.1 4	4.1 4.1
<u> </u>		7	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.5	6.5	6.5 6.	5 6.5	6.5	5.9 5.	9 5.9	5.9	5.9 5	5.9 5	.7 5.7	9.4	9.4	9.2 9.	2 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.7	8.7	8.4 8.	.4 8.4	4 8.4	8.4	8.4 8	3.2 8.2	24.6	24.6 2	3.9 23.9	23.1 2	3.1 23.	1 23.1	22.8 22	.8 22.8	22.8	22.0 22.	22.0	2.0 26	.5 26.5	26.5 26.	.5 23.5	23.5 2	3.5 23.5	6 20.7 20).7 20.1	6.9	5.9 5.9	4.6	4.6 4.1	4.1 4	4.1 4.1
₽	0km↓	8	6.9 6	.9 6.9	6.9	6.7 6.7	6.7 6	6.7 6.7	6.7	6.5 6.	5 6.5	6.5	6.5 6.	5 5.9	5.9	5.9	5.9 5	.7 5.7	9.4	9.4	9.2 9.	2 9.0	9.0	8.7 8.	7 8.7	8.7	8.7 8.	.7 8.4	4 8.4	8.4	8.4 8	8.2 8.2	32.8	32.8 3	1.8 31.8	31.8 3	1.8 30.	8 30.8	30.8 30	.8 30.4	30.4	29.3 29.	3 29.3 2	9.3 35	.3 35.3	35.3 35.	.3 35.3	35.3 3	1.3 31.3	31.3 31	.3 27.	6.9	5.9 5.9	4.6	4.6 4.1	4.1 4	4.1 4.1
	• (ホ	ን分	布の	番	号は	上記	波派	₹ ∓ -	デルほ	খ্রত	各/	こま	層(こす	tL)开	后個	INF	康	個(;	旧	717	利か	53	8列	lŧ7	"設"	定。	各	列に	tw	elī	2列	117	宇治	。陸	個け	16	毎澅	軸個	11(-	1行	からる	沿于	まで	設定											

・9へり方布の留号は上記波源モデル図の各小的層に対し四側から果側に順に19から38列まで設定。各列はW,Eに29に方割。陸側から海海軸側に11から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ50kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城 の大すべり域の位置	検討波源モデル③ 成県の津波特性評価手法2に 置を西へ50kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.1×10 ²²
上可加加层	平均すべり量 (m)	7.5
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積* (km²)	34,655
洋河形网	地震モーメント (Nm)	2.6×10 ²²
	平均すべり量 (m)	15.2
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ50kmとしたケース

| 主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース

陸側ひ

海溝軸

Û

検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
杚	検討波源モデル③ (ロ本海港の宮城県の港連株	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
性	(日本海海の呂城県の津波特 註評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.1×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.5
ナし	<すべり域の位置を西へ60kmと たケ−ス	浅部断層	34,655	2.6×10 ²²	-	-	35.3	15.1



										木	() () ()	波》	原モ	デル	3	(日	本淮	購	の宮	城	県の	津》	皮特	性評	平価	手法	52(によ	3E	デル	,)								
	-	西	\Diamond	-						-	のフ	たす	べり	域の	位置	置を	西へ	60	km	としき	シケー	-7	の小	断層	喜の	すべ	り量	分花	帀 (m)				-			1		東
深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
30km↓	1	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	5.8	5.7	5.6	5.6	5.4	5.2	5.2	5.1	5.1	5.1	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.5	4.9	4.3	4.3	3.6	3.6	2.9	2.9	2.9	2.9	2.6	2.6	1.9	1.9
	2	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	5.8	5.8	5.7	5.6	5.6	5.4	5.2	5.1	5.1	5.1	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.5	4.9	4.9	4.3	4.3	3.6	3.6	3.6	2.9	2.9	2.9	2.6	2.6	1.9
20km↓	3	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.7	5.7	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.0	8.0	8.0	7.7	7.7	7.6	7.3	7.3	7.8	7.8	6.9	6.9	5.9	5.9	5.9	4.6	4.6	4.1	4.1	3.0
	4	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.8	5.7	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	8.0	<mark>15.9</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>15.4</mark>	<mark>15.2</mark>	<mark>15.2</mark>	<mark>14.7</mark>	17.7	<mark>15.7</mark>	15.7	<mark>13.8</mark>	11.7	11.7	11.7	5.9	4.6	4.6	4.1	3.0
	5	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.7	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.2	8.2	8.2	15.9	15.9	15.4	15.2	15.2	14.7	14.7	17.7	15.7	15.7	13.8	13.8	11.7	5.9	4.6	4.6	4.1	4.1
10km↓	6	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	5.8	9.2	9.0	9.0	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	8.2	<mark>15.9</mark>	15.9	<mark>15.4</mark>	15.4	15.2	15.2	14.7	17.7	17.7	15.7	15.7	13.8	<mark>13.8</mark>	5.9	5.9	4.6	4.1	4.1
	7	7.1	7.1	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	6.0	5.8	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.4	8.4	8.4	8.2	24.6	23.9	23.1	23.1	22.8	22.8	22.0	22.0	26.5	26.5	23.5	23.5	20.7	6.9	5.9	4.6	4.1	4.1
0km↓	8	7.1	7.1	6.8	6.8	6.8	6.6	6.6	6.6	6.0	6.0	5.8	9.4	9.2	9.0	8.7	8.7	8.7	8.4	8.4	8.2	32.8	31.8	31.8	30.8	30.8	30.4	29.3	29.3	35.3	35.3	35.3	31.3	31.3	6.9	5.9	4.6	4.1	4.1

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ60kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮坊 の大すべり域の位)	検討波源モデル③ 成県の津波特性評価手法2に 置を西へ60kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積 [*] (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積** (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.1×10 ²²
	平均すべり量 (m)	7.5
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積** (km²)	34,655
洋如將國	地震モーメント (Nm)	2.6×10 ²²
	平均すべり量 (m)	15.1
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ60kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースのすべり量

断層モデル		面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
検討波源モデル③	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
(日本海海の呂城県の岸波将) 性評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.1×10 ²²	9.0	2.8	17.7	7.5
大すべり域の位置を西へ70kmと したケース	浅部断層	34,655	2.6×10 ²²	-	-	35.3	15.2



(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケース

																			化火	<u>ر</u> ם .	ЛX	小小		ノハ	NO	シ		14	~/戸	护冉	10)	白	小以	示	0)1=	≠ ∥	X1	L L	こう十	ſЩ		$\overline{\Delta}$	۱ ک	CQ	21	ニノ	JV)	/													
				Ī	九	\leftarrow													0	ワナ	२ व	けべ	5	或0	の位	之置	量を	西	ĪЛ	70)kr	nł	1	たり	テー	マ	<u>שי</u>	\迷	僱	の	す^	<i>"</i> р	量	分	行	(n	ר)										\Rightarrow	Ē	耟		
[深度		1		2	3	3	4	5	;	6	T ·	7	8		9	1	0	11		12	1	3	14	1	5	16		17	1	8	19	Ĩ	20	21		22	23	2	4	25	2	6	27	2	8	29	3(5	31	31	2	33	34	. []	35	36		37	38	3
$\wedge $	40km	,	W	e v	v e	W	е	w e	w	e	w e	W	е	W	e v	v e	W	е	we	e w	e e	w	е	w e	W	е	W	e v	v e	w	e	w e	e w	e e	w	e v	/ e	W	e w	е	w e	W	е	w e	W	еN	<i>м</i> е	W	eN	<mark>м е</mark>	w	eN	v e	w	e v	v e	w	e w	/ e	W	е
	30km	1	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.5	6.5	6.5 6.	.5 5.9	5.9	5.7	5.7 5	5.6	6 5.5	5.5	5.5 5	5.5 5.	3 5.3	5.1	5.1	5.1 5.	.1 5.0	5.0	5.0	5.0 5	5.0 5.0	4.8	4.8	4.8 4	4.8 4.8	8 4.8	4.7	4.7 4	.7 4.7	4.6	4.6 4.6	4.6	4.5 4.	5 4.8	4.8	4.2 4	2 4.2	4.2	3.6 3.6	5 3.6	3.6	2.8 2.1	8 2.8	2.8	2.8 2.8	2.8	2.8 2	.5 2.5	2.5	2.5 1.	.8 1.8	1.8	1.8
<u>ښ</u>		2	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.5	6.5	6.5 6.	.5 5.9	5.9	5.7	5.7 5	5.7 5.	7 5.6	5.6	5.5 5	5.5 5.	5 5.5	5.3	5.3	5.1 5.	.1 5.0	5.0	5.0	5.0 5	5.0 5.0	4.8	4.8	4.8 4	4.8 4.1	8 4.8	4.7	4.7 4	.7 4.7	4.6	4.6 4.6	4.6	4.5 4.	5 4.8	4.8	4.8 4	.8 4.2	4.2	4.2 4.2	2 3.6	3.6	3.6 3.0	6 3.6	3.6	2.8 2.8	2.8	2.8 2	.8 2.8	2.5	2.5 2.	.5 2.5	1.8	1.8
_	20km	3	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.5	6.5	6.5 6.	.5 5.9	5.9	5.9	5.9 5	5.7 5.	7 5.6	5.6	5.6 5	5.6 9.	0 9.0	8.7	8.7	8.7 8.	.7 8.4	8.4	8.4	8.4 8	3.2 8.2	8.2	8.2	8.0 8	8.0 8.0	0 8.0	8.0	8.0 7	.7 7.7	7.7	7.7 7.6	7.6	7.3 7.	3 7.3	7.3	7.8 7	.8 7.8	7.8	6.9 6.9	9 6.9	6.9	5.9 5.9	9 5.9	5.9 !	5.9 5.9	4.6	4.6 4	.6 4.6	4.1	4.1 4.	.1 4.1	3.0	3.0
_[4	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.5	6.5	6.5 6.	.5 5.9	5.9	5.9	5.9 5	5.7 5.	7 5.7	5.7	5.6 5	5.6 9.	0 9.0	9.0	9.0	8.7 8.	.7 8.4	8.4	8.4	8.4 8	3.2 8.2	8.2	8.2	8.2 8	8.2 8.0	0- <mark>15.9</mark>	15.9 1	5.9 <mark>15</mark>	.4 <mark>15.4</mark>	<mark>15.4</mark> 1.	5.4 15.2	15.2	15.2 15.	2 14.7	14.7	17.7 17.	7 15.7	15.7 <mark>1</mark>	5.7 <mark>15.7</mark>	7 13.8	13.8 1 [.]	1.7 11. ⁻	7 11.7	<mark>11.7</mark> 1 [,]	<mark>.7</mark> 5.9	5.9	5.9 4	.6 4.6	4.6	4.6 4.	.1 4.1	3.0	3.0
計		5	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.5	6.5	6.5 6.	.5 6.5	6.5	5.9	5.9 5	.9 5.	9 5.7	5.7	5.6 5	5.6 9.	2 9.2	9.0	9.0	9.0 9.	.0 8.7	8.7	8.4	8.4 8	3.4 8.4	8.2	8.2	8.2 8	8.2 8.2	2 <mark>16.4</mark>	15.9 1	5.9 15	.9 15.9	15.4 1	5.4 15.2	15.2	15.2 15.	2 14.7	14.7	14.7 14.	7 17.7	17.7 1	5.7 15.7	7 15.7	15.7 1 [.]	3.8 13. ⁾	8 13.8	13.8 1 [,]	1 <mark>.7</mark> 5.9	5.9	5.9 4	.6 4.6	4.6	4.6 4.	.1 4.1	4.1	4.1
県	10km	6	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.5	6.5	6.5 6.	.5 6.5	6.5	5.9	5.9 5	.9 5.	9 5.7	5.7	5.7 5	5.7 9.	2 9.2	9.0	9.0	9.0 9.	.0 8.7	8.7	8.4	8.4 8	3.4 8.4	8.4	8.4	8.2 E	8.2 8.3	2 <mark>16.4</mark>	15.9 1	5.9 15	.9 15.9	15.4 1	5.4 15.4	15.4	15.2 15.	2 15.2	15.2	14.7 14	7 17.7	17.7 1	7.7 17.7	7 15.7	15.7 1 [.]	5.7 15. ⁻	7 13.8	13.8 1. [°]	<mark>3.8</mark> 6.9	5.9	5.9 5	.9 5.9	4.6	4.6 4.	.1 4.1	4.1	4.1
*		7	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.5	6.5	6.5 6.	.5 6.5	6.5	5.9	5.9 5	i.9 5.	9 5.9	5.9	5.7 5	5.7 9.	4 9.4	9.2	9.2	9.0 9.	.0 8.7	8.7	8.7	8.7 8	3.4 8.4	8.4	8.4	8.4 8	8.4 8.3	2 <mark>-24.6</mark>	24.6 24	4.6 23	.9 23.9	23.1 2	3.1 23.1	23.1	22.8 22.	8 22.8	22.8	22.0 22	.0 22.0	22.0 2	6.5 26.9	5 26.5	26.5 2	3.5 23.	5 23.5	23.5 21	<mark>).7</mark> 6.9	6.9	6.9 5	.9 5.9	4.6	4.6 4.	.1 4.1	4.1	4.1
₽	0km	8	6.9	6.9 6	5.9 6.	9 6.7	6.7	6.7 6.	7 6.7	6.7	6.5 6.	.5 6.5	6.5	6.5	6.5 5	5.9 5.	9 5.9	5.9	5.7 5	5.7 9.	4 9.4	9.2	9.2	9.0 9.	.0 8.7	8.7	8.7	8.7 8	3.7 8.7	8.4	8.4	8.4 8	8.4 8.3	2 32.8	32.8 33	2.8 31	.8 31.8	31.8 3	1.8 30.8	30.8	30. <mark>8</mark> 30.	8 30.4	30.4	29.3 29.	3 29.3	29.3 3	5.3 35.3	3 35.3	35.3 3	5.3 35.	3 31.3	31.3 3	.3 7.8	6.9	6.9 5	.9 5.9	4.6	4.6 4.	.1 4.1	4.1	4.1
-		<u>+ ^</u>	n	布	лж	い	+ +	- = 7 :	中。但	iII-	Ë IL E	হ্যা ৫	々	小米	F F	1-3	5.0	一一 一	ヨーナン	に言	ゴルロ		百一	1 万川	1 thiê	:20	石川:	±7	;=几-;	÷	夂F	511/-1	-	01-	っ石川	1-4	ノ主川	吃売	加け	163	気法	新山 /E		1/=	1	2/7	+7	≣∿∵	÷											_	_

・すべり分布の番号は上記波源モテル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。各列はw,eに2列に分割。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。 ・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10km の位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの断層パラメータの設定)

検討波源モデル③	
(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2に	よるモデル)
の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケースの断	宿パラメータ
та с	现实体

	項目	設定値
	面積* (km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2
	平均応力降下量 (MPa)	3.0
全体	平均すべり量 (m)	9.4
	最大すべり量 (m)	35.3
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	150
	面積* (km²)	109,725
十如將國	地震モーメント (Nm)	4.1×10 ²²
土印印印	平均すべり量 (m)	7.5
	最大すべり量 (m)	17.7
	面積** (km²)	34,655
注剑胀屑	地震モーメント (Nm)	2.6×10 ²²
高小四小四大/	平均すべり量 (m)	15.2
	最大すべり量 (m)	35.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ70kmとしたケース

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積

主部断層: 深さ10km以深の断層 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

1 その他の検討波源モデルの詳細 1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定 (大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量分布の設定)

■「検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル)」の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの各小断層のすべり量分布は以下のとおり。



検討波源モデル③ (日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースのすべり量

	断層モデル		面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
村	検討波源モデル③ (日本海港の宮城県の港湾は	全体	144,379	6.8×10 ²²	9.2	3.0	35.3	9.4
性	(日本海海の呂城県の津波特 註評価手法2によるモデル)	主部断層	109,725	4.1×10 ²²	9.0	2.7	17.7	7.5
ノし	<すべり域の位置を西へ80kmと たケ−ス	浅部断層	34,655	2.7×10 ²²	-	-	35.3	15.3



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの小断層のすべり量分布(m) 西 🗇 □> 東 1 2 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 37 38 12 13 17 28 29 30 31 32 9 10 14 15 16 33 34 35 36 6.4 6.4 5.8 5.7 5.5 5.4 5.4 5.2 5.1 5.1 6.8 6.8 6.6 6.6 4.9 4.9 4.9 4.8 4.8 4.8 4.6 4.6 4.6 4.6 4.4 4.7 4.1 4.1 3.5 3.5 2.8 2.8 2.8 2.8 2.5 2.5 1.8 1.8 4.6 4.6 4.1 3.5 6.8 6.8 6.6 6.6 6.4 6.4 5.8 5.7 5.7 5.5 5.4 5.4 5.2 5.1 4.9 4.9 4.9 4.8 4.8 4.8 4.6 4.6 4.4 4.7 4.7 4.1 3.5 3.5 2.8 2.8 2.8 2.5 2.5 1.8 8.0 8.0 8.0 7.7 7.7 7.6 7.3 7.3 6.9 6.9 7.8 5.9 6.6 6.6 5.8 5.7 5.5 5.5 9.0 8.7 8.7 8.4 8.2 8.2 7.8 5.9 5.9 6.8 6.8 6.4 6.4 5.8 8.4 4.6 4.1 3.0 5.5 8.2 8.2 8.2 15.9 15.9 15.4 15.4 15.2 15.2 14.7 17.7 15.7 15.7 13.8 11.7 11.7 5.9 6.8 6.8 6.6 5.8 5.8 5.7 5.7 9.0 9.0 8.7 8.4 8.4 5.9 Λ 6.6 6.4 6.4 4.6 4.1 3.0 5.9 4.6 4.1 46 4.1

① 海溝軸

陸側口

深度40km↓

30km↓

20km↓

6.8 6.8 6.6 6.6 6.4 6.4 6.4 5.8 5.8 5.7 5.5 9.2 9.0 9.0 8.7 8.4 8.4 8.2 8.2 16.4 15.9 15.9 15.4 15.2 15.2 14.7 14.7 17.7 15.7 15.7 13.8 13.8 5.9 6.8 6.8 6.6 9.2 9.0 9.0 8.4 8.4 8.4 8.2 16.4 15.9 15.9 15.4 15.4 15.2 15.2 14.7 17.7 17.7 15.7 6.9 6.6 6.4 6.4 6.4 5.8 5.8 5.7 5.7 8.7 10km↓ 6 6.8 6.6 9.2 8.7 8.4 6.9 68 6.6 64 64 5.8 5.8 5.8 5.7 9.4 9.0 8.7 8.4 8.4 64 7.8 6.8 6.6 6.6 5.8 5.8 5.7 9.4 92 9.0 8.7 8.7 8.7 0kmJ

・すべり量分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

・駿河湾内のトラフ軸付近の領域については、他の領域に比べ、プレート境界面の深さ10kmの位置がトラフ軸に近くなり、また、トラフ軸沿いの津波断層モデルの面積も狭くなることから、 この領域は分岐断層的な運動をする領域とみなせる(内閣府2012)とされるが、敷地への影響の観点から大すべり域のすべり量ではなく超大すべり域のすべり量を設定。 5.9 5.9

6.9

6.9

5.9

5.9

4.1 4.1

4.1 4.1

1-4 検討波源モデル③のパラメータスタディモデルの設定

(大すべり域の位置を西へ80kmとしたケースの断層パラメータの設定)

(日本海溝の宮城の大すべり域の位言)	検討波源モデル③ 成県の津波特性評価手法2に 置を西へ80kmとしたケースの断	よるモデル) 「層パラメータ
	項目	設定値
	面積*(km²)	144,379
	地震モーメント (Nm)	6.8×10 ²²
	Mw	9.2

			1
	平均応力降下量 (MPa)	3.0	
全体	平均すべり量 (m)	9.4	1 Contraction of the second se
	最大すべり量 (m)	35.3	5
	剛性率 (N/m ²)	5.0×10 ²²	5
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0	5
	ライズタイム (s)	150	S and a second se
	面積* (km²)	109,725	検討波源モデル
之 如火 屋	地震モーメント (Nm)	4.1×10 ²²	
土即町眉	平均すべり量 (m)	7.5	
	最大すべり量 (m)	17.7	
	面積 [※] (km²)	34,655	
法如此民	地震モーメント (Nm)	2.7×10 ²²	
	平均すべり量 (m)	15.3	
		35.3	



検討波源モデル③(日本海溝の宮城県の津波特性評価手法2によるモデル) の大すべり域の位置を西へ80kmとしたケース

主部断層: 深さ10km以深の断層
 浅部断層: 深さ10km以浅の断層

※津波断層域のうちすべりが発生している波源域の面積



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (すべり量分布の設定)



■プレートの沈み込み速度を考慮したモデルのすべり分布の設定の詳細は以下のとおり。



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (すべり量分布の設定)

■各小断層の沈み込み速度に比例したすべり量設定方法を以下に示す。

【STEP1】最初に沈み込み速度に比例させた各小断層の地震モーメントM_{0i}の総和が主部断層のスケーリング則から求められる地震モーメントM₀ になるように 各小断層の平均すべり量を設定する。



第920回資料1-2

p.475再揭

2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定(すべり量分布の設定)

【STEP2】各小断層の平均すべり量に基づき、主部断層に大すべり域等を設定し各小断層のすべり量を以下のとおり設定する。



第920回資料1-2 p.476再掲

2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (すべり量分布の設定)



【STEP3】調整前の各小断層のすべり量に基づく各小断層の地震モーメントの総和がスケーリング則から算出した地震モーメントと一致するよう背景領域のすべり量の 係数aを算定し、各小断層のすべり量を決定する。



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

■「プレートの沈み込み速度を考慮したモデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.5MPa)

プレートの沈み込み速度を考慮したモデル(応力降下量:1.5MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.5MPa)	82,604	1.5×10 ²²	8.7	1.5	9.3	4.4

波源域(津波断層域)	
──── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	: 両者の中間のすべり量
背景領域	
(二) 深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

			西	\Diamond				パレ-	- 1-0	D沈。	み込	み	速度	を老	慮	った?	Eデノ	し (応け	り降	下量		1.5	MP	a)	のリ	、断	層の)す^	いった	'n	(n	า)					1	⇒	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Î	30km↓	1																																						
盟		2				2.6	2.5	2.5	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.8	1.8	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	0.7
Ε <u>Γ</u>	20km↓	3				5.1	5.0	5.0	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	4.9	4.9	4.9	4.7	4.7	5.0	5.0	4.4	4.4	3.8	3.8	3.8	3.0	3.0	2.9	2.9	1.4
		4				5.1	5.0	5.0	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	5.9	8.1	8.0	8.0	7.7	9.3	8.2	8.2	7.2	6.1	6.1	<u>6.1</u>	<mark>6.1</mark>	4.9	<mark>4.9</mark>	3.1	1.4
詛		5				5.1	5.0	5.0	5.0	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	5.9	8.1	8.0	8.0	7.7	7.7	9.3	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	<mark>6.1</mark>	4.9	<mark>4.9</mark>	3.4	1.9
灩	<u>10km</u> ↓	6				5.1	5.0	5.0	5.0	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	5.9	8.1	8.1	8.0	8.0	7.7	9.3	9.3	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	4.9	3.4	1.9
魚		7																																						
П	0km↓	8																																						
V	・すべり分布	の来	是(+	ト들고:	(古)	⊑ ,≕"Ш	図 の	夕小!	新国(- 571	而但	INGE	有加川:	- 川百/一	1万日	11639	2万川士	ਡ≣ਹ	÷ R	先伯日	こう	います		1 ⁄ 示 ተ	1602	テキブ	記士	,												

NJ万印の街亏は上記波源モナル凶の合小町層に刈し四側かり来側に順に1列かり38列まで設足。 怪側かり海海軸側に1行から8行まで設定。

第920回資料1-2

p.478再揭

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値			
	面積(km²)	82,604			
	地震モーメント (Nm)	1.5×10 ²²			
	Mw	8.7			
	平均応力降下量 (MPa)	1.5			
全体	平均すべり量 (m)	4.4			
	最大すべり量 (m)	9.3			
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10^{10}			
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0			
	ライズタイム (s)	60			



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.5MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

第920回資料1-2 p.480再揭

■「プレートの沈み込み速度を考慮したモデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル(応力降下量:1.6MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.6MPa)	82,604	1.6×10 ²²	8.7	1.6	9.9	4.7

波源域(津波断層域)	
大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	:両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量 : 1.6MPa)

			西	\triangleleft			-	プレ-		D沈	み辽	み	速度	を考	濾	ったう	Eデノ	ル (応フ	力降	下量	⊒: 里:	1.6	5MP	a)	のリ	、断	層の	す^	いった	'n	(n	(ו					1		東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
$\hat{\underline{1}}$	30km↓	1																																						
副		2				2.7	2.7	2.7	2.4	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	1.7	1.7	1.5	1.5	1.5	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	0.7
<u>M</u>		3				5.5	5.3	5.3	4.8	4.8	4.7	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	3.9	3.9	3.9	5.3	5.2	5.2	5.0	5.0	5.4	5.4	4.7	4.7	4.0	4.0	4.0	3.2	3.2	3.1	3.1	1.5
		4				5.5	5.3	5.3	4.8	4.8	4.7	4.7	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	3.9	3.9	6.3	8.6	8.5	<mark>8.5</mark>	8.2	9.9	8.8	8.8	7.7	<mark>6.6</mark>	<mark>6.6</mark>	6.6	<mark>6.6</mark>	<mark>5.2</mark>	<mark>5.2</mark>	3.3	1.5
圕		5				5.5	5.3	5.3	5.3	4.8	4.8	4.7	4.5	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	3.9	6.3	8.6	8.5	8.5	8.2	8.2	9.9	8.8	8.8	7.7	7.7	6.6	<mark>6.6</mark>	<mark>5.2</mark>	<mark>5.2</mark>	3.6	2.1
澌	<u>10km</u> ↓	6				5.5	5.3	5.3	5.3	4.8	4.8	4.7	4.7	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	3.9	6.3	8.6	8.6	8.5	8.5	8.2	9.9	9.9	8.8	8.8	7.7	7.7	<u>6.6</u>	6.6	<u>5.2</u>	3.6	2.1
魚		7			<u> </u>																																			
Л	0km↓	8																																						
\checkmark	・すべり分布	の番	号け		皮 源 :	⊢ ≓"ய	<u>、</u> 図の	各小国	新國	1. 41	,而伯	ING	重相じ	「順に	1页	1063	え列ま	で設	定。	远间	から海	諸事	相応	1 行	1684	テまで	設定													

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値			
	面積(km²)	82,604			
	地震モーメント (Nm)	1.6×10 ²²			
	Mw	8.7			
	平均応力降下量 (MPa)	1.6			
全体	平均すべり量 (m)	4.7			
	最大すべり量 (m)	9.9			
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰			
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0			
	ライズタイム (s)	60			



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量 : 1.6MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

■「プレートの沈み込み速度を考慮したモデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



(応力降下量:1.7MPa)

プレートの沈み込み速度を考慮したモデル(応力降下量:1.7MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量 : 1.7MPa)	82,604	1.7×10 ²²	8.8	1.7	10.4	5.0

□□□ 波源域(津波断層域)	
大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	:両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

プレートの沈み込み速度を考慮したモデル(応力降下量:1.7MPa)の小断層のすべり分布(m) 西 🗇 ⇒東 1 2 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 37 38 13 14 16 17 18 19 20 31 32 33 34 36 2 6 8 9 10 11 12 15 35 深度40km↓ 陸側ひ 30km↓ 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2 2.9 2.8 2.8 2.5 2.5 2.5 2.4 2.3 2.3 2.2 2.1 2.0 2.0 2.0 2.0 1.9 2.0 2.0 1.8 1.8 1.5 1.5 1.5 1.2 1.1 0.8 2.3 1.2 1.2 1.1 56 5.8 45 45 4.2 5.5 55 5.5 53 5.6 5.0 5.0 42 33 33 3.3 3 56 5 5 48 47 4.4 4.3 43 42 4.2 53 4.2 42 3.3 44 20km1 4.7 4.2 3.5 5.6 5.1 4.9 4.9 4.8 4.7 4.5 4.4 4.4 4.3 4.3 4.3 4.2 6.6 9.1 9.0 8.6 10.4 9.2 92 8.1 6.9 6.9 5.5 5.5 4 5.8 5.6 5.1 90 6.9 6.9 1.6 海溝軸 5 5.8 5.6 5.6 5.6 5.1 5.1 4.9 4.8 4.8 4.7 4.7 4.5 4.4 4.4 4.3 4.3 4.3 4.2 6.6 9.1 9.0 9.0 8.6 8.6 9.2 9.2 8.1 8. 6.9 6.9 5.5 5.5 3.8 2.2 5.8 5.6 4.7 9.0 9.2 92 8.1 8. 5. 3.8 6 5.6 5.6 5.1 5.1 4.9 4.9 4.7 4.5 4.4 4.3 4.2 6.6 9.1 9. 9(8.6 10 104 6.9 6.9 2.2 4.8 4.4 4.4 4.3 <u>10km↓</u> 7 8 Û 0km↓

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

第920回資料1-2

p.482再揭

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値			
	面積(km²)	82,604			
	地震モーメント (Nm)	1.7×10 ²²			
	Mw	8.8			
	平均応力降下量 (MPa)	1.7			
全体	平均すべり量 (m)	5.0			
	最大すべり量 (m)	10.4			
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰			
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0			
	ライズタイム (s)	60			



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.7MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

第920回資料1-2 p.484再掲

■「プレートの沈み込み速度を考慮したモデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.8MPa)

	プレートの沈み込み速度を考慮したモデル	(応力降下量:1.8MPa)	のすべり量
--	---------------------	----------------	-------

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.8MPa)	82,604	1.8×10 ²²	8.8	1.8	11.1	5.3

□□□ 波源域(津波断層域)	
┌─── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	:両者の中間のすべり量
背景領域	
(二) 深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

			西	\Diamond			7	パレ-	- Þ0	D沈。	み込	み	東度	を老	濾	した	モデノ	ル (応フ	り降	下量	≞ : ₿ :	1.8	MP	a)	のリ	、断	層の	すべ	いりケ	'n	(m	(ו					[⇒ :	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
<u>î</u>	30km↓	1																																						
副		2				3.1	3.0	3.0	2.7	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.2	2.2	1.9	1.9	1.6	1.6	1.6	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	0.8
<u>M</u>		3		L_		6.1	6.0	6.0	5.4	5.4	5.2	5.1	5.1	5.0	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.4	4.4	4.4	5.9	5.8	5.8	5.6	5.6	6.0	6.0	5.3	5.3	4.5	4.5	4.5	3.6	3.6	3.5	3.5	1.7
		4				6.1	6.0	6.0	5.4	5.4	5.2	5.2	5.1	5.0	5.0	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	4.4	7.1	9.7	9.6	9.6	9.2	11.1	9.9	9.9	8.7	7.4	7.4	7.4	7.4	5.8	<mark>5.8</mark>	3.8	1.7
盅		5				6.1	6.0	6.0	6.0	5.4	5.4	5.2	5.1	5.1	5.0	5.0	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.4	7.1	9.7	9.6	9.6	9.2	9.2	11.1	9.9	9.9	8.7	8.7	7.4	7.4	5.8	<u>5.8</u>	4.1	2.3
灩	10km↓	6				6.1	6.0	6.0	6.0	5.4	5.4	5.2	5.2	5.1	5.0	5.0	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.4	7.1	9.7	9.7	9.6	9.6	9.2	11.1	11.1	9.9	9.9	8.7	8.7	7.4	7.4	<mark>5.8</mark>	4.1	2.3
魚		7																																						
л	0km↓	8																																						
V	すべり公左	 ∧∓			ति र ति र ति	с <i>=</i> "и	<u>Μ</u> M	2		- ++1	王 /印	1	±/₽Ш/•	- 川古ノ-	- 1 701	500	0.201+	=л	÷ 1	ま 伯田		: 井井井	/Bil/	1 1	100	=+-	:=ru-≑													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.8×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.8
全体	平均すべり量 (m)	5.3
	最大すべり量 (m)	11.1
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



(応力降下量:1.8MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

第920回資料1-2 p.486再揭

■「プレートの沈み込み速度を考慮したモデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.9MPa)

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量 : 1.9MPa)	82,604	1.9×10 ²²	8.8	1.9	11.7	5.6

□□□ 波源域(津波断層域)	
大すべり域(平均すべり量の2倍)	: 津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	:両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

			西	\Diamond			-	プレ-	- 1-0	D沈。	み込	み	速度	を老	慮	った	モデノ	ル (応け	り降	下量	≞ :	1.9	MP	a)	のリ	、断	層の	す^	、りケ	'n	(n	(ו					ſ	\Rightarrow	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1																																						
副		2				3.2	3.2	3.2	2.9	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3	2.3	2.0	2.0	1.7	1.7	1.7	1.4	1.4	1.4	1.2	1.2	0.9
<u>F</u>	<u>20km</u> ↓	3				6.5	6.3	6.3	5.7	5.7	5.5	5.4	5.4	5.3	5.1	5.1	5.0	5.0	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	6.2	6.2	6.2	5.9	5.9	6.4	6.4	5.6	5.6	4.8	4.8	4.8	3.8	3.8	3.7	3.7	1.8
		4				6.5	6.3	6.3	5.7	5.7	5.5	5.5	5.4	5.3	5.3	5.1	5.0	5.0	4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	7.4	10.2	10.1	10.1	9.7	11.7	10.4	10.4	9.2	7.8	7.8	7.8	7.8	6.2	6.2	4.0	1.8
圕		5				6.5	6.3	6.3	6.3	5.7	5.7	5.5	5.4	5.4	5.3	5.3	5.1	5.0	5.0	4.8	4.8	4.8	4.7	7.4	10.2	10.1	10.1	9.7	9.7	11.7	10.4	10.4	9.2	9.2	7.8	7.8	6.2	6.2	4.3	2.4
灩	<u>10km</u> ↓	6				6.5	6.3	6.3	6.3	5.7	5.7	5.5	5.5	5.4	5.3	5.3	5.1	5.0	5.0	5.0	4.8	4.8	4.7	7.4	10.2	10.2	10.1	10.1	9.7	11.7	11.7	10.4	10.4	9.2	9.2	7.8	7.8	6.2	4.3	2.4
魚		7																																						
л	0km↓	8																																						
V																																								

9ハリガ印の街亏は上記波源モナル凶の合小研増に刈し四側かり巣側に順に1列かり38列まで設正。 座側かり海海軸側に1行かり8行まで設正。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.9×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.9
全体	平均すべり量 (m)	5.6
	最大すべり量 (m)	11.7
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	วารังาน (s)	60



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (応力降下量:1.9MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (大すべり域の位置を南海地域としたモデルのすべり量分布の設定)

■「プレートの沈み込み速度を考慮したモデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (大すべり域の位置を南海地域としたモデル) プレートの沈み込み速度を考慮したモデル(大すべり域の位置を南海地域としたモデル)のすべり量

断層モデル	面積 (km ²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (大すべり域の位置を南海地域としたモデル)	82,604	1.7×10 ²²	8.8	1.7	13.0	5.0

┌─── 波源域(津波断層域)	
─── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	: 両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

		P	튭ぐ			プレ	∠—ŀ	~の)	たみ	込み	速	度を	考慮	賞し け	2 7 5	デル	(大	す^	いり垣	或の	位置	を P	 海海	地垣	或とし	たモ	デノ	レ) (の小	断層	鬙の	すべ	り分	市	(m)		C	⇒ :	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Û	30km↓	1																																						
影		2	Γ-			2.2	2.1	2.1	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.6
<u>M</u>	20km↓	3				7.6	7.4	7.4	6.7	6.7	6.5	6.3	6.3	6.2	6.2	6.1	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	3.1	3.1	2.7	2.7	2.3	2.3	2.3	1.8	1.8	1.6	1.6	1.2
		4				13.0	12.7	12.7	11.5	11.5	11.1	11.1	10.8	10.6	10.6	7.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	3.5	3.1	3.1	2.7	2.3	2.3	2.3	2.3	1.8	1.8	1.6	1.2
毘		5				13.0	12.7	12.7	12.7	11.5	11.5	11.1	10.8	10.8	10.6	7.0	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	3.5	3.1	3.1	2.7	2.7	2.3	2.3	1.8	1.8	1.6	1.6
澌	<u>10km</u> ↓	6				13.0	12.7	12.7	12.7	11.5	11.5	11.1	11.1	10.8	10.6	7.0	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	3.5	3.5	3.1	3.1	2.7	2.7	2.3	2.3	1.8	1.6	1.6
庚		7	Γ-																									Ċ.												
Л	0km↓	8																																						
\sim	+**•••	<u>л</u> ш		1 = 7 1	ੇ ਜੋ ਪੋਲ -	» II	μ.			1	/Du	1.0-	= /0.1./-	- 1117/-	a Til-	1.0.0		=n.	<u> </u>			>## ##	/01/-	4 / T +	1004	-+-	=													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

第920回資料1-2

p.488再揭



2-1 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (大すべり域の位置を南海地域としたモデルの断層パラメータの設定)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.7×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.7
全体	平均すべり量 (m)	5.0
	最大すべり量 (m)	13.0
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



プレートの沈み込み速度を考慮したモデル (大すべり域の位置を南海地域としたモデル)



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル (プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (すべり量分布の設定)

■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルのすべり分布の設定については、各小断層のすべり量をフィリピン海プレートの沈み込み速度を考慮せず設定し、 大すべり域には平均すべり量の2倍のすべり量を設定した。

■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルのすべり分布の設定の詳細は以下のとおり。

主 ····································	
本	【主部断層のすべり量の設定】 まず、各小断層の平均すべり量D _i を以下の領域ごとに設定し、各小断層の地震モーメントM _{oi} の総和が主部断層のスケーリング則から 求められる地震モーメントM _o になるように設定。
	M ₀ =Σ M _{0i} =Σ µD _i S _i → 小断層毎のすべり量は以下の領域ごとに設定。
	次に、各小断層の平均すべり量D _i に対して、以下の関係を与えて各小断層のすべり量を設定。
 ③遷移領域 ②背景領域 ④深い背景領域 津波断層域の 全面積の約20% 	D _i : 各小断層の平均すべり量 D _b : 各背景領域のすべり量(=aD _i 、aは定数) S _i : 各小断層の面積 M ₀ : スケーリングから算定される主部断層の地震モーメント M _{0i} : 各小断層の地震モーメント
プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル のすべり分布概念図	・今回実施した5ケース(応力降下量1.5MPa、1.6MPa、1.7MPa、1.8MPa、1.9MPa)とも、同様の考え方で すべり量設定を行っている。 ・詳細な設定方法は、以降応力降下量1.5MPaのケースについて例示する。

2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (すべり量分布の設定)

【STEP1】各小断層の平均すべり量に基づき、主部断層に大すべり域等を設定し各小断層のすべり量を以下のとおり設定する。



第920回資料1-2 p.492再掲



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (すべり量分布の設定)

【STEP2】調整前の各小断層のすべり量に基づく各小断層の地震モーメントの総和がスケーリング則から算出した地震モーメントと一致するよう背景領域のすべり量の 係数aを算定し、各小断層のすべり量を決定する。



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルの各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.5MPa)

ノレートのルの区の座反	でう思しないしノル		「里	. 1.3		ヘリ里
断層モデル	面積 (km ²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量()

82,604 1.5×10²²

8.7

1.5

8.6

プレートの沈み込み演使を考慮したいエデル(広力欧大昌・1 EMDa)のすべん号

波源域(津波断層域)	
大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	: 両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル

(応力降下量:1.5MPa)

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

第920回資料1-2

p.494再揭

4.4
2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.5×10 ²²
	Mw	8.7
	平均応力降下量 (MPa)	1.5
全体	平均すべり量 (m)	4.4
	最大すべり量 (m)	8.6
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.5MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

第920回資料1-2 p.496再揭

2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルの各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.6MPa)

プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル(応力降下量: 1.6MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量 : 1.6MPa)	82,604	1.6×10 ²²	8.7	1.6	9.2	4.7

□□□ 波源域(津波断層域)	
───── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	: 両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

			西	\Diamond			プ	レー	トの	沈み	沁	み速	度を	考	慮し	なし	モテ	ール	(応	力陸	锋 下	量:	: 1.	6M	Pa)	D	小断	層(Dす	べり	分有	5 (I	m)					ſ	⇒ .	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Î	30km↓	1																																						
駺	Г -Т	2				1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
<u>M</u>	<u>20km</u> ↓	3				3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	3.8
		4				3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	6.5	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	<mark>9.2</mark>	9.2	9.2	9.2	6.5	3.8
盅		5				3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	6.5	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	6.5	3.8
灩	<u>10km</u> ↓	6				3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	6.5	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	9.2	6.5	3.8
漁		7																																						
Л	0km↓	8																																						
\vee	、すべり分布の	の 来 」	二(+	⊢≡⊐∶	山 (石)	т= "П	図 の	夕小川	新國	- 5:51	西御	1	有加小	- 川百/-	1 7511-	5	0 <i>T</i> il±	-⊼≣л	÷ R	売/日川+	シの谷	注書	1811/-	1/=+	160%	テキブ	: En÷													

・9へり分巾の番号は上記波源セナル図の各小断層に対し西側から果側に順に1列から38列まで設正。陸側から海海軸側に1行から8行まで設正。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.6×10 ²²
	Mw	8.7
	平均応力降下量 (MPa)	1.6
全体	平均すべり量 (m)	4.7
	最大すべり量 (m)	9.2
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.6MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

第920回資料1-2 p.498再揭

2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルの各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.7MPa)

プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル(応力降下量:1.7MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量 : 1.7MPa)	82,604	1.7×10 ²²	8.8	1.7	9.8	5.0

□□□ 波源域(津波断層域)	
┌─── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	:両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

			西	\Diamond			プ	レー	トの	沈み	沁	み速	度を	を考)	慮し	なし	モテ	ル	(応	力陷	¥下	量	1.	7M	Pa)	ወ/	小断	層	Dす,	べり	分布	1) ī	m)					[⇒ :	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
<u>î</u>	30km↓	1																																						
副		2				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
<u>E</u>	20km↓	3				4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	4.1
		4				4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	6.9	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	<mark>9.8</mark>	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	6.9	4.1
圕	[5				4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	6.9	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	<mark>9.8</mark>	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	6.9	4.1
灩	<u>10km</u> ↓	6				4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	6.9	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	6.9	4.1
魚		7																																						
Л	0km↓	8																																						
\sim	ナットハナー			L=72	പാലം	— —» п	M	<u>ل</u> م م		- ++1		まして	= /BU/	- 川古ノー	- 도니-		ってu+	⊸≡л	÷ 7	±/□□+	 	いままよ		1/	2024	-+	=ಗಿ∸													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.7×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.7
全体	平均すべり量 (m)	5.0
	最大すべり量 (m)	9.8
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.7MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

第920回資料1-2 2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルの各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.8MPa)

プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル(応力降下量:1.8MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量 : 1.8MPa)	82,604	1.8×10 ²²	8.8	1.8	10.4	5.3

□□□ 波源域(津波断層域)	
───── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	:両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

	Public														東																									
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Î	30km↓	1																																						
副		2				2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
<u>F</u>	<u>20km</u> ↓	3				4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	4.3
		4				4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	7.3	10.4	10.4	<mark>10.4</mark>	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	<mark>10.4</mark>	<mark>10.4</mark>	<mark>10.4</mark>	7.3	4.3
圕		5				4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	7.3	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	<mark>10.4</mark>	<u>10.4</u>	<mark>10.4</mark>	7.3	4.3
灩	10km↓	6				4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	7.3	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	<mark>10.4</mark>	<mark>10.4</mark>	10.4	<mark>10.4</mark>	10.4	<mark>10.4</mark>	7.3	4.3
漁		7																																·						·
Л	0km↓	8																																						
\sim	ナックハナ	小田		L = 7.5		*'u	ω σ	A		-++1	/Du	1-1-2-2			a Eile	500	251+		<u> </u>	土 /미니 ـ	N 2 X	****	/01/-	4 /	1004	-+-	-=n													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

p.500再揭

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.8×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.8
全体	平均すべり量 (m)	5.3
	最大すべり量 (m)	10.4
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.8MPa)



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルの各小断層のすべり分布は以下のとおり。



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.9MPa)

ブレートの沈み込み速度を考慮しないモデル(応力降下量:1.9MPa)のす	「べり量
--------------------------------------	------

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量 : 1.9MPa)	82,604	1.9×10 ²²	8.8	1.9	10.9	5.6

波源域(津波断層域)	
────────────────────────────────────	:津波断層域の全面積の約20%
大すべり域と背景領域の遷移領域	: 両者の中間のすべり量
背景領域	
深い背景領域	:背景領域の1/2のすべり量

			西	\Diamond			プ	レー	トの	沈み	沁	み速	度を	考	慮し	ない	モデ	ル	(応	力陸	备下	量:	1.	9M	Pa)	ወ	小断	層 (のす	べり	分有	<u>,</u> (1	n)					ſ	⇒	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Î	30km↓	1																																						
間		2				2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
<u>E</u>	20km↓	3				4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	4.5
		4				4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	7.7	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<mark>10.9</mark>	10.9	10.9	<u>10.9</u>	7.7	4.5
盄		5				4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	7.7	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<u>10.9</u>	10.9	10.9	10.9	7.7	4.5
灩	<u>10km</u> ↓	6				4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	7.7	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<u>10.9</u>	7.7	4.5
魚		7																																[]						
Л	0km↓	8																																						
\vee	すべり八左			LET	- بهارينها م	<u>г – " и</u>	<u>Μ</u>	友 小J	业日日	- ++1	王王 /回	しまいです	±/01/.	-1115/-	4 7511-1	200	51+	∽≂≡л	- r	未加け		いままよ	/01/-	₄ ∕ ─ +	NC 04	-+	=n													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

第920回資料1-2

p.502再揭

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細



2-2 遠州灘沿岸域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.9×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.9
全体	平均すべり量 (m)	5.6
	最大すべり量 (m)	10.9
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル (応力降下量:1.9MPa)

大すべり域
大すべり域と背景領域の遷移領域
──── 背景領域
深い背景 深い背景

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 すべり分布の設定

- ■プレートの沈み込み速度を考慮したモデルのすべり分布の設定については、各小断層のすべり量をフィリピン海プレートの沈み込み速度に比例するよう設定し、 大すべり域には平均すべり量の2倍のすべり量を設定した。
- ■プレートの沈み込み速度を考慮したモデルのすべり分布の設定の詳細は以下のとおり。



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.5MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.5MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.5MPa)	82,604	1.5×10 ²²	8.7	1.5	11.2	4.4

┌──── 波源域(津波断層域)	
┌── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約40%
背景領域	

	西 <															⇒	東																						
	深度40km↓		1 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1																																					
副		2			1.9	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.5
<u>FU</u>	20km↓	3			1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.5
		4			1.9	<mark>11.2</mark>	11.2	10.2	10.2	9.9	9.9	9.6	9.4	9.4	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	8.1	8.0	8.0	7.7	9.3	8.2	8.2	7.2	6.1	6.1	6.1	6.1	4.9	<mark>4.9</mark>	0.7	0.5
圕		5			1.9	9 <mark>11.2</mark>	11.2	11.2	10.2	10.2	9.9	9.6	9.6	9.4	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	8.1	8.0	8.0	7.7	7.7	9.3	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	4.9	<mark>4.9</mark>	0.7	0.7
灩	<u>10km</u> ↓	6			1.9	9 <mark>11.2</mark>	11.2	11.2	10.2	10.2	9.9	9.9	9.6	9.4	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	8.1	8.1	8.0	8.0	7.7	9.3	9.3	8.2	8.2	7.2	7.2	6.1	6.1	<mark>4.9</mark>	0.7	0.7
漁		7																																					
Л	0km↓	8																																					
\sim	、すべり分布の	来旦	(+ ⊢=;	1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:	エニッ	M	夕小	医副	- 5:51	西個	からす	声/回川-	- 順百/一	1 511-	5	5万川士		÷ R	売/回け	シンで、	: 幸中	1811/-	1 /二十	1601	テキブ	: 小+	,												

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.5×10 ²²
	Mw	8.7
	平均応力降下量 (MPa)	1.5
全体	平均すべり量 (m)	4.4
	最大すべり量 (m)	11.2
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.5MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.6MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.6MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.6MPa)	82,604	1.6×10 ²²	8.7	1.6	12.0	4.7

□□□ 波源域(津波断層域)	
大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約40%
背景領域	

			西	\triangleleft				F	南海	トラ	フ広	域0)痕	跡再	現	モデ	ル(応フ	り降	下量	≞ : ≞ :	1.6	MP	a)	のリ	、断	層の)す^	いりケ	} 布	(m	า)						I		東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Û	30km↓	1																																						
E H		2				2.0	2.0	2.0	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5
<u>FL</u>	20km↓	3				2.0	2.0	2.0	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	_1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5
		4				2.0	12.0	12.0	10.9	10.9	10.5	<u>10.5</u>	<u>10.3</u>	10.0	10.0	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	<mark>8.</mark> 6	8.5	8.5	8.2	9.9	8.8	8.8	7.7	6.6	6.6	6.6	6.6	5.2	<mark>5.2</mark>	0.8	0.5
毘	[5				2.0	12.0	12.0	12.0	10.9	10.9	10.5	10.3	10.3	10.0	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	8.6	8.5	8.5	8.2	8.2	9.9	8.8	8.8	7.7	7.7	6.6	6.6	5.2	<u>5.2</u>	0.8	0.8
麗	10km↓	6				2.0	12.0	12.0	12.0	10.9	10.9	10.5	10.5	<u>10.3</u>	10.0	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	8.6	8.6	8.5	8.5	8.2	9.9	9.9	8.8	8.8	7.7	7.7	6.6	6.6	<u>5.2</u>	0.8	0.8
庾		7																																						
П	0km↓	8																																						
∇	オベトム左(つ 来 」	\Box_{l+}	⊢≣⊐:	中 (百一	с <i>=</i> "и	図 の	夕小い	系図	- 5:51	开 /印	1	5/AU/	- 川石/-	1 711-	5	0 <i>5</i> 11±	-∞=л	÷ R	±/□□+	シルン省	(车里中	/Aul /	1/=+		=±7	:=∿+													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.6×10 ²²
	Mw	8.7
	平均応力降下量 (MPa)	1.6
全体	平均すべり量 (m)	4.7
	最大すべり量 (m)	12.0
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	วารังาน (s)	60



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.6MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.7MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.7MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.7MPa)	82,604	1.7×10 ²²	8.8	1.7	12.7	5.0

□□□□ 波源域(津波断層域)
┌─── 大すべり域(平均すべり量の2倍):津波断層域の全面積の約40%
背景領域

		西	ā <>				5	 有海	トラ	フ広	域0	D痕	跡再	現	Eデノ	ル (応フ	り降	下量	豊 :	1.7	MP	a)	のリ	、断	層の	すべ	いった	'n	(n	า)						ſ	⇒ :	東
	深度40km↓	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1																																					
副		2			2.1	2.1	2.1	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.6
<u>E</u>	20km↓	3			2.1	2.1	2.1	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.3	1.1	1.1	1.1	0.9	0.9	0.8	0.8	0.6
		4			2.1	12.7	12.7	11.5	11.5	11.1	11.1	10.8	10.6	10.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	9.1	9.0	9.0	8.6	10.4	9.2	9.2	8.1	6.9	6.9	6.9	6.9	5.5	<mark>5.5</mark>	0.8	0.6
詛		5			2.1	12.7	12.7	12.7	11.5	11.5	11.1	10.8	<u>10.8</u>	10.6	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	9.1	9.0	9.0	8.6	8.6	10.4	9.2	9.2	8.1	8.1	6.9	6.9	5.5	<u>5.5</u>	0.8	0.8
灩	<u>10</u> km↓	6			2.1	12.7	12.7	12.7	11.5	11.5	11.1	11.1	10.8	10.6	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	9.1	9.1	9.0	9.0	8.6	10.4	10.4	9.2	9.2	8.1	8.1	6.9	6.9	<u>5.5</u>	0.8	0.8
魚		7																																					
Л	0km↓	8																																					
V	、すべり分布の		+ ⊢=⊐	(1)	<u>с=</u> "п	図 の	夕小川	新国(- 5:51	西御	INGE	有加川/	- 川百/-	1 7511-1	1620	5万川士	-⊼≣л	÷ R	売/日川+	シの谷	: 幸 中	/Bil/ = 1	レイテカ	60%	- - - -	: En÷													

・9へり分仲の番号は上記波源モナル図の各小断層に対し西側から果側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.7×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.7
全体	平均すべり量 (m)	5.0
	最大すべり量 (m)	12.7
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.7MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.8MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.8MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.8MPa)	82,604	1.8×10 ²²	8.8	1.8	13.5	5.3

┏━━━ 波源域(津波断層域)
一一 大すべり域(平均すべり量の2倍):津波断層域の全面積の約40%
背景領域

			西	\Diamond				F	南海	トラ	フ広	域0	D痕	跡再	現	モデ	ル (応フ	り降	下量	⊒ : ∎ :	1.8	8MP	a)	のリ	、断	層の)す^	いりケ	} 布	(n	ר)								東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
<u>î</u>	30km↓	1																																						
Ē,		2				2.3	2.2	2.2	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.6	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.6
<u>F</u>	<u>20km</u> ↓	3				2.3	2.2	2.2	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.4	1.4	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	0.9	0.9	0.6
		4				2.3	<mark>13.5</mark>	13.5	12.2	12.2	<mark>11.9</mark>	<mark>11.9</mark>	11.5	<mark>11.3</mark>	11.3	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	9.7	9.6	9.6	9.2	11.1	9.9	9.9	8.7	7.4	7.4	7.4	7.4	<mark>5.8</mark>	<mark>5.8</mark>	0.9	0.6
毘		5				2.3	13.5	13.5	13.5	12.2	12.2	11.9	11.5	11.5	11.3	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	9.7	9.6	9.6	9.2	9.2	11.1	9.9	9.9	8.7	8.7	7.4	7.4	<mark>5.8</mark>	<mark>5.8</mark>	0.9	0.9
灩	<u>10km</u> ↓	6				2.3	13.5	13.5	13.5	12.2	12.2	11.9	11.9	11.5	11.3	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	9.7	9.7	9.6	9.6	9.2	11.1	11.1	9.9	9.9	8.7	8.7	7.4	7.4	<mark>5.8</mark>	0.9	0.9
魚		7																																						
Л	0km↓	8																																						
\vee	、すべり分布の	D R I	2(+)	⊢≡⊐≀	山、「」	″⊔	図 の	夕小	彩函(- 5:51	西御	1	吉/ 回川/	- 川百/-	1 7511-	5	0 <i>T</i> il ±	-⊼≣л	÷ R	売/日川+	こう	いますけ	./811/	1 公元 わ	160%	テキブ	:≣∿÷	,												

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.8×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.8
全体	平均すべり量 (m)	5.3
	最大すべり量 (m)	13.5
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.8MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.9MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.9MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.9MPa)	82,604	1.9×10 ²²	8.8	1.9	14.2	5.6

□□□□ 波源域(津波断層域)
大すべり域(平均すべり量の2倍):津波断層域の全面積の約40%

			西	\Diamond				F	南海	トラ	フ広	域0)痕	跡再	現	モデ	ル(「応う	力降	下量	≣ :	1.9)MP	a)	のリ	、断	層の)す^	、りケ	} 布	(n	า)								東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1																																						
甌		2				2.4	2.3	2.3	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.7
<u>F</u>		3				2.4	2.3	2.3	2.1	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	_1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	_1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	_1.6	1.6	1.7	1.7	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	0.9	0.9	0.7
		4				2.4	14.2	14.2	12.9	12.9	<mark>12.5</mark>	<mark>12.5</mark>	12.2	<mark>11.9</mark>	11.9	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	10.2	<u>10.1</u>	<u>10.1</u>	9.7	11.7	10.4	10.4	<mark>9.2</mark>	7.8	7.8	7.8	7.8	6.2	6.2	0.9	0.7
圕		5				2.4	14.2	14.2	14.2	12.9	12.9	12.5	12.2	12.2	11.9	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	10.2 ⁻	10.1	10.1	9.7	9.7	11.7	10.4	<mark>10.4</mark>	9.2	9.2	7.8	7.8	6.2	6.2	0.9	0.9
灩	<u>10km</u> ↓	6				2.4	14.2	14.2	14.2	12.9	12.9	12.5	12.5	12.2	11.9	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	10.2	10.2	10.1	10.1	9.7	11.7	11.7	10.4	10.4	9.2	9.2	7.8	7.8	6.2	0.9	0.9
魚		7																																						
Л	0km↓	8																																						
\checkmark	・すべり分布	の番	 号は_	上記》	波源7	Eデル	図の	各小	断層(こ対し	,西側	からす	東側(こ順に	1列	から3	8列ま	で設	定。『	陸側が	から海	溝軸	側に	1行た	から8行	うまで	設定	.0												

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-3 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮したモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

断層パラメータ

	項目						
	面積(km²)	82,604					
	地震モーメント (Nm)	1.9×10 ²²					
	Mw	8.8					
	平均応力降下量 (MPa)	1.9					
全体	平均すべり量 (m)	5.6					
	最大すべり量 (m)	14.2					
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰					
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0					
	ライズタイム (s)	60					



(応力降下量:1.9MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル (プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (すべり量分布の設定)

- ■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルのすべり分布の設定については、各小断層のすべり量をフィリピン海プレートの沈み込み速度を考慮せず設定し、 大すべり域には平均すべり量の2倍のすべり量を設定した。
- ■プレートの沈み込み速度を考慮しないモデルのすべり分布の設定の詳細は以下のとおり。



2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.5MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.5MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.5MPa)	82,604	1.5×10 ²²	8.7	1.5	8.6	4.4

□□□ 波源域(津波断層域)	
┌── 大すべり域(平均すべり量の2倍)	:津波断層域の全面積の約40%
背景領域	

		Ē	西 <				Ę	有海	トラ	フ広	域の)痕	跡再	現	Eデノ	し (応り	り降	下量		1.5	MP	a)	のリ	、断	層の	すべ	いりケ	'n	(m	ר)						ſ	⇒	東
	深度40km↓		1 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
	30km↓	1																																					
影		2			1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
<u>FU</u>	20km↓	3			1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
		4			1.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	<mark>8.6</mark>	8.6	<mark>8.6</mark>	1.5	1.5
盅		5			1.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	<mark>8.6</mark>	1.5	1.5
灩	<u>10km</u> ↓	6			1.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	<mark>8.6</mark>	1.5	1.5
魚		7																																					
л	0km↓	8																																					
V	すべり公左の		/+ ∟=:	1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:1:	<u>т=</u> "и	M	夕山山		- ++1	王 田	ちたさ	5/AU/-	- 111百/一	1 711	20	2년(十	∽≣л	÷ R	去/回니+	シンが	: 井井井		1 / = +	100	=+-	=ru-≑													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.5MPa)

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.5×10 ²²
	Mw	8.7
	平均応力降下量 (MPa)	1.5
全体	平均すべり量 (m)	4.4
	最大すべり量 (m)	8.6
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60





南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.5MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.6MPa)

南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.6MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.6MPa)	82,604	1.6×10 ²²	8.7	1.6	9.2	4.7

□□□ 波源域(津波断層域)
┌─── 大すべり域(平均すべり量の2倍):津波断層域の全面積の約40%
背景領域

南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.6MPa)の小断層のすべり分布(m) 西 🗇 ⇒東 2 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 37 38 1 13 14 15 16 17 18 19 30 31 32 33 34 36 2 10 11 12 35 深度40km↓ 陸側ひ 30km↓ 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 2 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 3 1.6 1.6 20km1 9.2 1.6 1.6 1.6 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 4 9.2 海溝軸 5 1.6 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 1.6 1.6 9.2 9.2 9.2 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 9.2 1.6 1.6 6 1.6 9.2 9.2 9.2 9. 9.2 9.2 1.6 1.6 9.2 9.2 9.2 9. <u>10km↓</u> 7 8 Û 0km↓ ・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.6MPa)

断層パラメータ

	設定値	
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.6×10 ²²
	Mw	8.7
	平均応力降下量 (MPa)	1.6
全体	平均すべり量 (m)	4.7
	最大すべり量 (m)	9.2
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	วารังาน (s)	60



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.6MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.7MPa)

南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.7MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.7MPa)	82,604	1.7×10 ²²	8.8	1.7	9.8	5.0

□□□ 波源域(津波断層域)
┌─── 大すべり域(平均すべり量の2倍):津波断層域の全面積の約40%
背景領域

			西	\triangleleft				리	有海	トラ	フ広	域₫)痕	跡再	現	モデ	ル(応フ	り降	下量	≣ :	1.7	'MP	a)	のリ	、断	層の	すべ	いりケ	} 布	(n	ר)						ſ	\Rightarrow	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Û	30km↓	1																																						
影		2				1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
<u>БЛ</u>	<u>20km</u> ↓	3				1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
		4				1.7	9.8	9.8	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	9.8	9.8	9.8	9.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	9.8	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	1.7	1.7
盅		5				1.7	9.8	<mark>9.8</mark>	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	1.7	1.7
澌	<u>10km</u> ↓	6				1.7	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	<mark>9.8</mark>	1.7	1.7
魚		7																																						
П	0km↓	8																																						
V	・すべり分布	の来	是(+	トョン	広い 「日」	<u>с=</u> ти.	図 の	夂小川	新國	- 441	一一一一	INGE	有加小:	-11百/-	1万川·	5	2万川士	-⊼≣л	÷ R	売加け	こう	() 基前		1/=+	1682	テキブ	: 記 守	1												

NJ万印の街亏は上記波源モナル凶の合小町層に刈し四側かり来側に順に1列かり38列まで設足。 怪側かり海海軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.7MPa)

断層パラメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.7×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.7
全体	平均すべり量 (m)	5.0
	最大すべり量 (m)	9.8
	剛性率 (N/m ²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.7MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.8MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.8MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.8MPa)	82,604	1.8×10 ²²	8.8	1.8	10.4	5.3

	波源域(津波断層域)	
	大すべり域(平均すべり量の2倍)	: 津波断層域の全面積の約40%
	背景領域	

		西	ā <>				F	南海	トラ	フ広	域Œ)痕	跡再	現	モデノ	し (応フ	り降	下量	豊 :	1.8	MP	a)	のリ	、断	層の	すべ	いった	'n	(n	า)						I		東
	深度40km↓	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Î	30km↓	1																																					
副		2			1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
<u>E</u>	20km↓	3			1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
	4	4			1.8	<mark>10.4</mark>	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	<mark>10.4</mark>	<mark>10.4</mark>	1.8	1.8
昷		5			1.8	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	<mark>10.4</mark>	<mark>10.4</mark>	1.8	1.8
灩	10km↓	6			1.8	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	<mark>10.4</mark>	<mark>10.4</mark>	1.8	1.8
魚		7																																					
Л	0km↓ ⁸	8																																					
V	、すべり分布の	来므(-	+ ⊢=⊐	(1)	エニッ	図 の	复小	作困(- 5:51	一一一一	1	有加小	- 川百/-	1 7511-1	5	っ <u>万</u> 川士	-⊼≣л	÷ R	売加け	シルンド	: 幸中	/Bil/	「行ち	160%	テキズ	: 小÷													

・すべり分布の番号は上記波源モデル図の各小断層に対し西側から東側に順に1列から38列まで設定。陸側から海溝軸側に1行から8行まで設定。

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.8MPa)

	の間にノメータ	
	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.8×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.8
全体	平均すべり量 (m)	5.3
	最大すべり量 (m)	10.4
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
	ライズタイム (s)	60





南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.8MPa)

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細 2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

■「南海トラフ広域の痕跡再現モデル」の各小断層のすべり分布は以下のとおり。



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.9MPa) 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(応力降下量:1.9MPa)のすべり量

断層モデル	面積 (km²)	M ₀ (Nm)	Mw	Δσ (MPa)	最大 すべり量(m)	平均 すべり量(m)
南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量 : 1.9MPa)	82,604	1.9×10 ²²	8.8	1.9	10.9	5.6

┏━━┓ 波源域(津波断層域)
─── 大すべり域(平均すべり量の2倍):津波断層域の全面積の約40%
背景領域

			西	\Diamond				F	南海	トラ	フ広	域0)痕	跡再	現	Eデノ	ル (応フ	り降	下輩		1.9	MP	a)	のリ	、断	層の)す^	、りケ	} 布	(n	ר)						ļ	⇒	東
	深度40km↓		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
Û	30km↓	1																																						
Ē	\square	2				1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
<u>Ε</u> Γ		3				1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	_1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
		4				1.9	10.9	10.9	10.9	<mark>10.9</mark>	<u>10.9</u>	<u>10.9</u>	10.9	<u>10.9</u>	<u>10.9</u>	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<mark>10.9</mark>	10.9	<u>10.9</u>	10.9	<u>10.9</u>	<u>10.9</u>	<u>10.9</u>	<u>10.9</u>	<mark>10.9</mark>	1.9	1.9
圕		5				1.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	<mark>10.9</mark>	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<mark>10.9</mark>	1.9	1.9
灩	10km↓	6				1.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<u>10.9</u>	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<u>10.9</u>	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	10.9	<mark>10.9</mark>	1.9	1.9
魚		7										Ċ.																												_
л	0km↓	8																																						
\vee	・すべり分布の	の番 [.]	 号は_	上記》	皮源3	ミデル	図の	各小	断層(こ対し	,西側	からす	東側(こ順に	1列	53	8列ま	で設	定。『	査側が	から海	溝軸	側に	1行力	から8行	テまで	設定	20												_

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.

2 痕跡再現モデルの波源モデルの詳細

2-4 南海トラフ広域の痕跡再現モデル(プレートの沈み込み速度を考慮しないモデル)の設定 (応力降下量:1.9MPa)

断層ハフメータ

	項目	設定値
	面積(km²)	82,604
	地震モーメント (Nm)	1.9×10 ²²
	Mw	8.8
	平均応力降下量 (MPa)	1.9
全体	平均すべり量 (m)	5.6
	最大すべり量 (m)	10.9
	剛性率 (N/m²)	4.1×10 ¹⁰
	破壊伝播速度 (km/s)	2.0
		60



南海トラフ広域の痕跡再現モデル (応力降下量:1.9MPa)

